

市立宇和島病院災害対策マニュアル

市立宇和島病院

平成 22 年 7 月 1 日作成

平成 24 年 2 月 1 日改定

平成 25 年 10 月 1 日改定

平成 26 年 1 月 1 日改定

平成 27 年 8 月 28 日改定

平成 28 年 5 月 12 日改定

平成 29 年 9 月 1 日改定

平成 30 年 9 月 28 日改定

令和 6 年 11 月 5 日改定

令和 7 年 1 月 30 日改定

令和 7 年 12 月 2 日改定

市立宇和島病院防火防災管理委員会

目 次

1	共通事項	P. 3
2	災害診療マニュアル	P. 13
3	参考資料・避難手順	P. 52
4	設備一覧	P. 53
5	資料一覧	

分類	資料番号	対象	資料名	ページ数
組織図	1	共通、本部	災害時組織図、本部検討事項	P. 60
	2	共通	病院対策班の構成員及び任務	P. 61
	3	本部	災害時組織図（作成用）	P. 63
	4	外来班	外来班組織図（作成用）	P. 64
エリア図	5	本部	災害対策本部レイアウト図	P. 65
	6	外来班	トリアージエリア図（立駐使用）	P. 66
	7	外来班	トリアージエリア図（立駐不使用）	P. 68
	8	外来班	トリアージ赤・黒エリア図	P. 73
参集関連	9	共通	災害レベル別参集職員一覧等	P. 74
	10	共通	職員参集後の流れ等（掲示用）	P. 75
	11	入院・外来班長	医師振分け表	P. 79
	12	医事課長	医事課職員振分け表	P. 80
情報通信班関連	13	情報通信班	関係機関の電話番号等	P. 81
	14	情報通信班	放送原稿	P. 86
	15	本部、情報通信班	災害診療準備命令原稿例	P. 89
	16	情報通信班	診療内容掲示例	P. 90
クロノロ	17	共通	クロノロフォーマット	P. 91
	18	記録班	「現状分析と課題」記録用紙	P. 98
	19	入院班	空床確認表（入院班長用）等	P. 99
その他	20	調達班、外来班	災害診療物品一覧	P. 101
	21	共通	災害時報告様式・チェックリスト	P. 117
	22	共通	ハザードマップ	P. 184
	23	共通	発電機作動方法	P. 186
	24	外来班	災害発生時外来対応者情報記載様式	P. 191
	25	共通	ローテーション勤務表	P. 192

共通事項

(目的)

このマニュアルは、地震及び津波災害発災時に市立宇和島病院（以下「病院」という。）の機能を最大限に活用し、被災者に対し可能な限りの医療を提供することを目的とする。

(災害への対応)

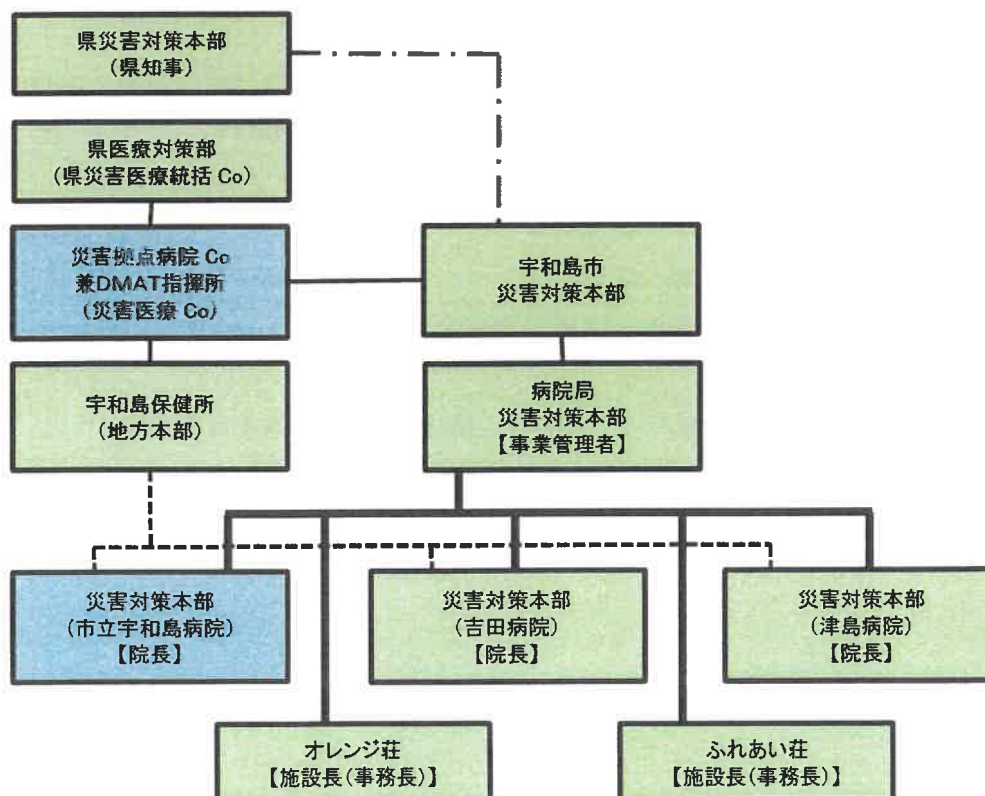
次の災害、事故等が発生したとき又は発生する恐れがあるときの被害防止対策及びこれらの災害、事故等に対する平素の被害防止のための対策について、このマニュアルにより実施するものとする。

- 1 震災、津波等による集団災害
- 2 その他、防火・防災管理委員会（病院災害対策本部）が必要と認めたとき

(病院災害対策本部及び防火・防災管理委員会)

被災時には、防火・防災管理委員会の委員を中心とする病院災害対策本部（以下「病院本部」という。）を設置し、該当委員は病院災害対策本部員（以下「病院本部員」という。）として行動する。なお、災害拠点病院 Co 兼 DMAT 指揮所で活動する DMAT 隊員については、DMAT 活動要領及び愛媛県との協定に基づいて活動するほか、病院局災害対策本部（以下「局本部」という。）と連携し、局本部が所管する 3 病院 2 老健の被害状況等に係る情報の収集等に協力するものとする。

なお、関係機関との組織図は以下による。



防火防災管理 委員会職名	平時の職名	災害対策本部 (市立宇和島病院)	【参考】 災害対策本部 (病院局) ※
委員長	院長	本部長	
副委員長	副院長 (診療部長)	副本部長 (入院班長)	
委 員	病院事業管理者		本部長
	副院長	本部員 (外来班長)	
	看護部長	本部員 (入院班副班長)	
	医療行政管理部長兼事務局長		副本部長
	医局長	本部員 (外来班副班長)	
	救命救急センター長		災害医療 Co 統括 DMAT
	副看護部長	本部員 (入院班副班長)	
	副看護部長	本部員 (外来班副班長)	
	臨床検査科科長		
	放射線科科長		
	食養科科長		
	薬局長	本部員 (調達班長)	
	総務管理課課長	本部員 (情報通信班長)	
	医事課課長	本部員 (記録班長)	
	総務管理課課長補佐	本部調整員	本部調整員
	総務管理課施設用度係長	本部員 (施設整備班長)	
	防災センター代表者 (警備、ビル管理)		
その他委員長が必要と認める者			

※災害対策本部 (病院局) 欄には、災害拠点病院 Co 本部の構成員も記載。

(災害レベルの設定および診療体制)

当院における災害対応のレベルを以下の通りとし、災害レベルの決定は病院本部長（以下本部長）が行うものとする。

1 レベル0（地震震度4以下）

救命救急センター内で対応可能

診療体制 外来診療は続行

予定手術 続行

入院患者 入院継続

2 レベル1（地震震度5弱）

救命救急センターの許容範囲を超える災害

診療体制 外来診療は続行。ただし被災者優先で行う。

予定手術 延期

入院患者 入院継続

3 レベル2（地震震度5強）

多くの関連職員の対応を要する災害

診療体制 外来診療を中止し、搬送された患者は救急および外来エリアで対応する。受付は時間外受付とする。

予定手術 延期

入院患者 入院継続

4 レベル3（地震震度6弱以上）

診療体制 外来診療を中止し、災害診療体制に移行（P11「災害レベル3時の初動体制フロー図」のとおり）。

予定手術 延期

入院患者 退院いただくことを検討する。

災害レベルとその対応

災害レベル	診療体制	予定手術	入院患者
0（地震震度4以下）	外来診療続行	続行	入院継続
1（地震震度5弱）	外来診療続行	延期	入院継続
2（地震震度5強）	外来診療中止	延期	入院継続
3（地震震度6弱以上 又は大津波警報発表）	外来診療中止 【災害診療体制】	延期	退院を検討

(緊急時の体制及び任務)

緊急時の体制及び任務は次のとおりとする。

1 病院本部

地震発生により宇和島市地域防災計画（以下「地域防災計画」という。）に基づく宇和島市災害対策本部（以下「市本部」という。）が設置されたときは、院長は直ちに、次により病院本部を設置する。（このマニュアルにおいて「緊急時」とは、病院本部が設置されたときをいう。）本部の体制は、資料 3のとおりとする。

- (1) 本部長は院長とし、副本部長は診療部長とする。本部長に事故があるとき又は本部長が欠けたときは、副本部長がその職務を代理する。
- (2) 病院本部の設置場所は、エネルギーセンター2階災害対策本部室とする。本部の配置は資料 5のとおりとする。
- (3) 病院本部員は、本部長を補佐し、資料 1に定める重要な事項について協議するとともに、情報の収集・分析を行う。
- (4) 勤務時間外で本部長の指揮命令が困難又は指揮命令を受けるいとまのない場合に限り、次の各号に掲げる院内患者等の安全確保に関する措置については、救命救急センター当直医師の判断により実施する。
 - ア 出火防止のための措置
 - イ 危険物設備の停止
 - ウ 出火したときの消防署への通報、消火及び患者の避難誘導
 - エ 手術中及び分娩中の患者並びに重症患者の安全対策
 - オ 患者への被害に関する情報収集及び提供
 - カ 病院の被害状況、患者の避難状況等の調査掌握並びに本部長への報告
- (5) 本部長の指揮命令を受けて、資料 2の各班は災害対策を実行する。
- (6) 病院本部員は、災害対策を実施するにあたっては、資料 21「災害時報告様式・チェックリスト」により確認しながら実施する。

2 緊急時の連絡体制

緊急時における連絡はトランシーバーを用いることとする。ただし、通話する相手にのみ伝わればよい内容であり、かつ固定電話、スマートフォンおよびPHSが使用できる場合は、固定電話、スマートフォンおよびPHSを用いることとする。トランシーバーのチャンネルは、10とする。

3 人員の確保

人員の確保は、災害レベルに応じて以下の通りとする。

(1) 災害レベル1（震度5弱）

参集職員 病院本部員、総務管理課（正規）職員、医事課（正規）職員

参集方法 上記職員はエネルギーセンター2階災害対策本部室に自主参集すること。在宅時は、自己及び家族の安全を第一とし、出勤することが、危険と判断した場合各所属長に連絡し自宅で待機を行い、出勤可能となった時点で、速やかに出勤すること。未参集の職員について、日勤帯は館内放送、時間外の場合災害参集した職員が電話連絡にて招集する。

(2) 災害レベル2（震度5強）

参集職員 病院本部員、各科科長、全看護師長、総務管理課（正規）職員、医事課（正規）職員

参集方法 上記職員はエネルギーセンター2階災害対策本部室に自主参集すること。在宅時は、自己及び家族の安全を第一とし、出勤することが、危険と判断した場合各所属長に連絡し自宅で待機を行い、出勤可能となった時点で、速やかに出勤すること。未参集の職員について、日勤帯は館内放送、時間外の場合災害参集した職員が電話連絡にて招集する。

(3) 災害レベル3（震度6弱以上又は大津波警報発表）

参集職員 委託職員含む全職員

参集方法 全ての病院職員が参集命令を待たずに直ちに出勤し、北棟講堂に参集する。

※ただし、自己及び家族の安全を第一とし、出勤することが、危険と判断した場合各所属長に連絡し自宅で待機を行い、出勤可能となった時点で、速やかに出勤すること。

○災害レベル別参集職員一覧

災害レベル	参集職員	参集方法	参集場所
1 (震度5弱)	病院本部員 総務管理課（正規）職員 医事課（正規）職員	自主参集 時間内…館内放送 時間外…連絡網	エネルギーセン ター2階災害対 策本部室
2 (震度5強)	病院本部員 各科科長 全看護師長 総務管理課（正規）職員 医事課（正規）職員		
3 (震度6弱以上又は 大津波警報発表)	委託職員含む全職員	自主参集	北棟講堂

4 支援要請

本部長は、患者の移送等で必要があると認められるときは、情報通信班に関係機
関等（資料13）等への支援を要請する。

(災害情報)

災害情報の収集と発信は、次により行う。

1 災害情報の収集

病院本部は、局本部との連携を密にし、災害情報の収集に努めるものとする。

2 災害情報の発信

次に掲げる災害に関する情報は定期的に局本部へ報告するものとする。

- (1) 病院施設の被災状況に関する情報及び今後の診療体制の見直しに関する情
報
- (2) 入院患者の被災又は診療状況に関する情報
- (3) 救護班の派遣及び活動状況に関する情報
- (4) その他本部長が重要であるとして指定した情報

(発災時の初動体制)

1 発災時の初動体制は、以下の通りとする。

- (1) 大津波警報発令時において、津波被害を防ぐため本部長は病棟職員以外の職
員に対し、全職員、来院者、患者を本館2階以上に避難させることとする。
放射線エリアの患者誘導は放射線科職員、地下1階の患者誘導は食養科職
員、清掃委託職員が行うこととし、その他患者誘導が必要なエリアにおいて
は、周囲の職員に声をかけ応援を要請すること。本部長は情報通信班長に指

示し、避難命令にかかる院内放送（資料 14）を行わせるものとする。

- (2) 大津波警報等の情報により津波の到達が予想される場合、本部長は施設整備班長に指示し、防潮堤を設置する。
- (3) 発災後、情報通信班の視認確認で宇和海沿岸部への津波到達が確認されるまで、外来班員、調達班員は調達班長の指示により 1 階から 2 階へ薬品、診療材料等の搬送を行うものとする。ただし搬送中に津波到達が予想された時点で、本部長は施設整備班長および調達班長に避難命令を行い、各班長は活動中の班員に避難指示を行うものとする。
内科の一般外来患者がいなくなった時点で内科外来担当職員は周辺の職員に声をかけ、内科外来のイスを整形外科外来と脳神経外科外来の間のエリアに移動させることとする。
- (4) 火災が発生した場合は「市立宇和島病院消防マニュアル」に沿った消火活動、避難行動を取ること。
- (5) 情報通信班員、本部員、局本部員は病院本部及び局本部の設置準備を始める一方で、至急災害情報（地震震度、津波情報）の収集を行うものとする。
- (6) 大津波警報発生時において情報通信班員は収集した情報（津波到達予想時刻等）を本部長に伝えるものとする。また、情報通信班員は津波到達予定時刻前には屋上から双眼鏡で観測し、異常があれば直ちに情報通信班長に報告すること。時間外に発災した場合、安全確認は防災センター職員によって行うものとする。
- (7) 情報通信班の視認確認で宇和海沿岸部への津波到達が確認された場合、本部長は情報通信班長に、複数回の避難放送（資料 14）を指示することとする。避難放送はエネルギーセンター4 階防災センターの放送設備から情報通信班員が行うものとする。
- (8) 避難後、本部長は地震震度等を情報通信班長に確認し、災害レベルを決定。物資搬送終了後、レベルに応じて職員参集を行うものとする。参集場所は、災害レベル 1 及び 2 のときはエネルギーセンター2 階災害対策本部室、レベル 3 のときは北棟講堂とする。資料 9 参照
- (9) 災害レベル 3 の場合、医事課職員は職員参集場所（北棟講堂）の机、椅子の撤去を行うものとする。
- (10) 外来班班長、入院班班長、看護部長、臨床検査科科長、放射線科科長、医事課長は参集人員を確認後、各部門の職員の配置を決定する。
- (11) 講堂に参集した職員は、各代表より配属先を聞き、自分のネームプレートを配属班が記載されたホワイトボードに貼り付けること。本部長は参集した職員に災害レベルおよび診療体制を宣言すること。レベル 3 の災害診療を行う場合、本部長は災害診療に係る準備命令を発令すること。資料 15 参照
- (12) 各班長は災害診療準備命令を受け、各班で行うべき災害診療に係る諸準備を

行うこと。外来班長は、患者受入にかかる初期準備が完了した時点で本部長に報告すること。

(13) 本部長は各外来班の準備完了の確認を行った後、災害診療開始を宣言すること。

(14) 初動体制完了後参集した職員については、本部を訪問し、配属先を聞いて行動すること。

(15) エレベーター稼働までの間、院内上下階の移動は非常階段を利用するものとする。患者搬送についてはエアーストレッチャー及び階段昇降機を用いる。

2 緊急体制時、災害レベルに応じて本部長が決定すべき内容は次のとおりとする。

(1) 外来患者の受入、他の医療機関からの転送患者の受入

(2) 通常外来の閉鎖、予定手術の中止

(3) 退院可能な在院患者の退院指示・他の医療機関への転送依頼

(4) 緊急避難

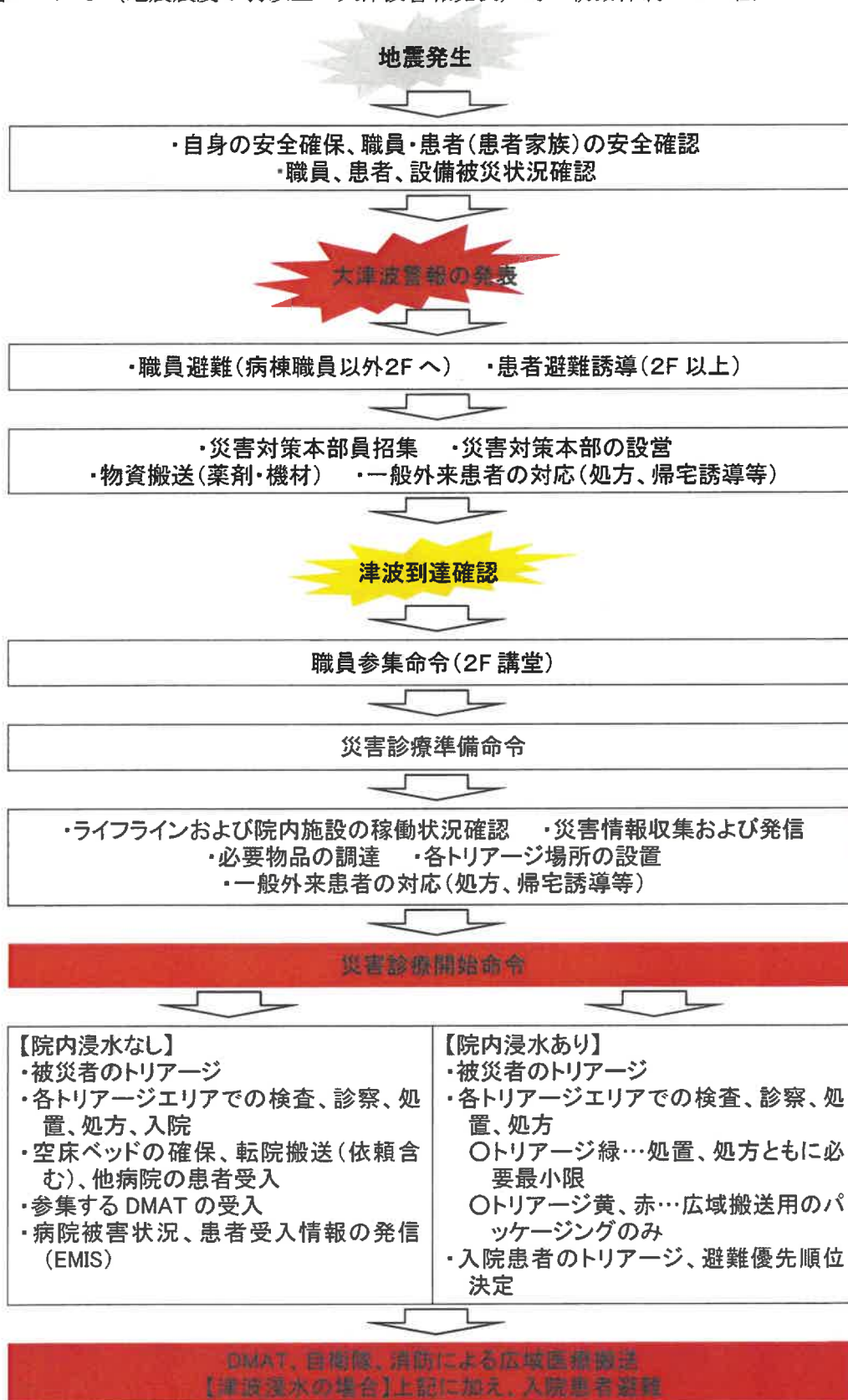
3 緊急時の診療内容を決定した場合には、情報通信班は患者を含む院内全員に周知すると共に、病院入口にその旨を掲示（資料 16）し、資料 13 の情報提供先に連絡すること。

4 初動体制完了後の災害医療体制については、津波の浸水状況によって以下の通りとする。

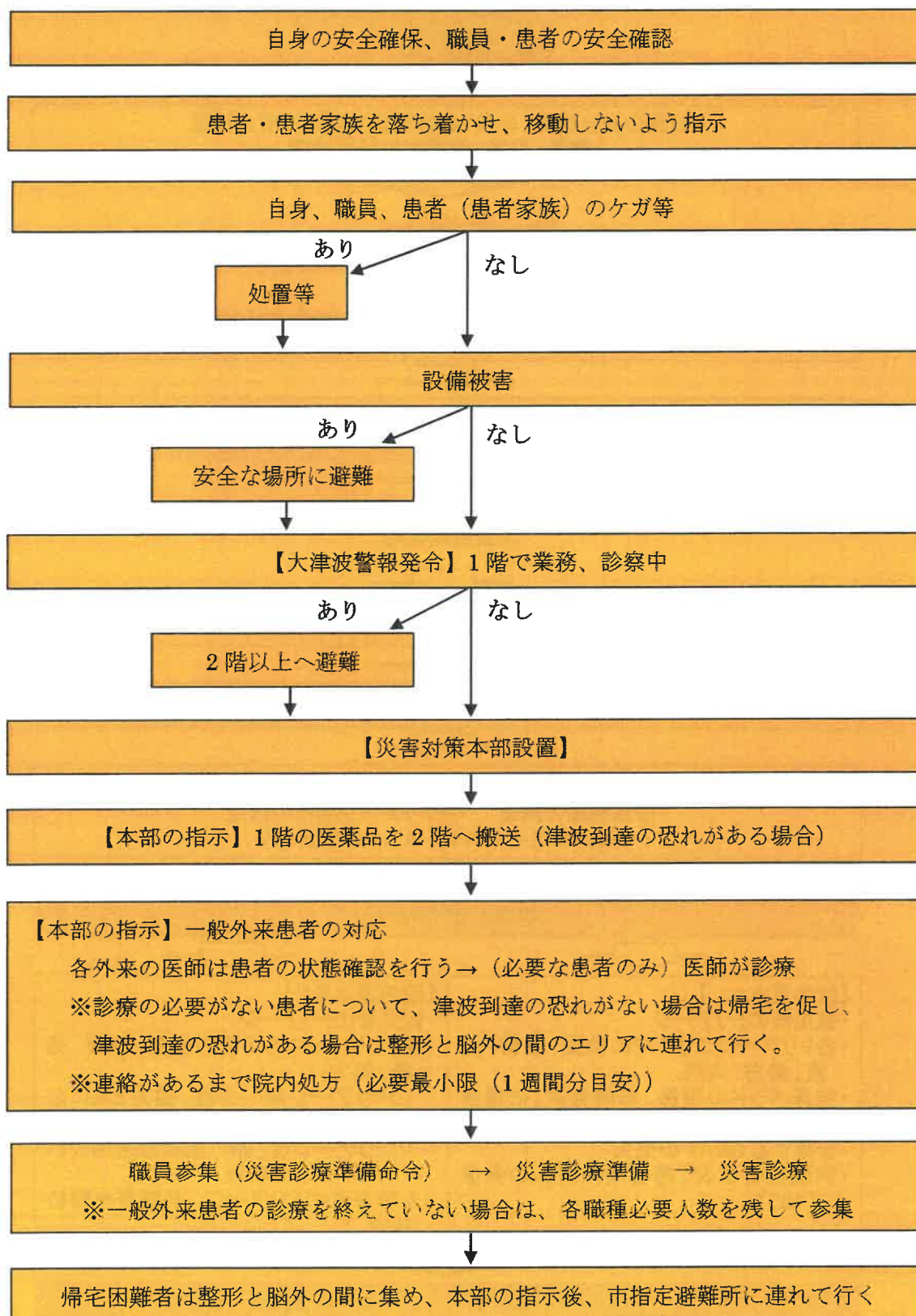
(1) 1 階及び地下室への津波浸水なし…災害対応マニュアル・災害診療編へ。

(2) 1 階及び地下室に津波が浸水し、ライフラインが停止した場合…災害対応マニュアル・津波浸水編へ。

災害レベル3（地震震度6弱以上・大津波警報発表）時の初動体制フロー図



一般外来患者の対応 (震度 6 以上災害時各科外来初動フロー図)



災害診療マニュアル

(各班における任務の流れ)

災害レベル3における各班の任務は、次のとおりとする。

1 病院本部

院内浸水なし【病院本部】	院内浸水あり【病院本部】
<p>(1) 従事場所：エネルギーセンター2階災害対策本部室</p> <p>(2) 本部が指示する事項は以下の通りとする。</p> <p>ア 病院本部組織の把握及び総括に関すること</p> <p>イ 救護班の派遣に関すること</p> <p>ウ 局本部との連絡調整に関すること</p> <p>エ 病院の被害状況の調査及び応急措置並びに病院運営の確保に関すること</p> <p>オ 入院患者の安全、治療、給食等の確保に関すること</p> <p>カ 患者搬送、医療資源の要望など局本部への各種依頼に関すること</p> <p>キ 来院患者に対する対応と記録に関すること</p> <p>ク 外来患者の帰宅に関すること</p> <p>ケ 患者への情報提供に関すること</p> <p>コ ボランティアの派遣依頼及び業務分担に関すること</p>	<p>(1) 従事場所：エネルギーセンター2階災害対策本部室</p> <p>(2) 本部が指示する事項は以下の通りとする。</p> <p>ア 病院本部組織の把握及び総括に関すること</p> <p>イ 局本部との連絡調整に関すること</p> <p>ウ 病院の被害状況の調査及び応急措置並びに病院運営の確保に関すること</p> <p>エ 入院患者の安全確保および避難に関すること</p> <p>オ 患者搬送、医療資源の要望など局本部への各種依頼に関すること</p> <p>カ 来院患者に対する対応と記録に関すること</p> <p>キ 外来患者の帰宅に関すること</p>

院内浸水なし【病院本部】	院内浸水あり【病院本部】
<p>サ 備蓄機器及び物品等の使用状況の把握及び不足品の確保に関すること</p> <p>(3) 本部長による災害診療開始命令を発令後、情報通信班に指示し受入患者情報、職員安否情報、職員配置情報を収集させるものとする。</p> <p>(4) 入院班に指示し、入院患者情報を収集させ、退院可能な患者については入院班班長に退院決定させるものとする。また安全確認後退院いただくものとする。</p> <p>(5) 外来診療中止に伴い、外来班に指示を出し、津波到達の恐れがない場合は外来患者に帰宅いただくものとする。津波到達の恐れがある場合は診察不要の患者について帰宅困難者待機エリア（整形外科と脳神経外科の間のエリア）に移動いただくものとする。なお、診療が必要な患者については必要最小限の診療を行うよう指示を出す。</p>	<p>ク 備蓄機器及び物品等の使用状況の把握及び不足品の確保に関すること</p> <p>(3) 本部長は地下1階及び1階部分の浸水を確認後、ライフライン停止により医療活動が制限される中、入院患者は避難、外来患者は可能な限り診療を行う旨を全職員に周知し、災害診療準備命令および入院患者避難準備命令を発令するものとする。</p> <p>(4) 本部長による災害診療開始命令を発令後、情報通信班に指示し受入患者情報、職員安否情報、職員配置情報を収集させるものとする。</p> <p>(5) 入院班に指示を出し、入院患者情報を収集させ、避難に係る優先順位を決定させるものとする。</p> <p>(6) 外来診療中止に伴い、外来班に指示を出し、津波到達の恐れがない場合は外来患者に帰宅いただくものとする。津波到達の恐れがある場合は診察不要の患者について帰宅困難者待機エリア（整形外科と脳神経外科の間のエリア）に移動いただくものとする。なお、診療が必要な患者については必要最小限の診療を行うよう指示を出す。</p>

院内浸水なし【病院本部】	院内浸水あり【病院本部】
<p>(6) 外来班（赤エリア、黄エリア）の要請を受け、情報通信班を通じて域外搬送にかかる支援を求めるとする。また入院・手術の場合、受入可能な病室・手術室について指示を出すものとする。</p> <p>(7) ベッドが満床の状態が入院要請を受けた場合、臨時病棟を6階西病棟等に設置し、調達班に必要物品搬送の指示を出すものとする。</p> <p>(8) 局本部に対し被害状況や被災者受入状況等に係る正確な情報を提示するものとする。</p> <p>(9) 受入患者情報を確認し、トリアージカラー黒の患者数を見たと上で情報通信班に（情報通信班は病院局本部や市災害対策本部に相談し）遺体搬送依頼を行うものとする。</p> <p>(10) 愛媛県DMAT調整本部から活動拠点設置の依頼があった場合、災害拠点病院の責務から建物被害がない限りその要請を受け入れるものとする。</p> <p>(11) マスコミ関係者の訪問があった場合、局本部の指示を仰ぐものとする。</p>	<p>(7) 必要に応じて情報通信班を通じてDMATの派遣依頼を行い、併せて入院患者の移送先についても情報収集を行うものとする。</p> <p>(8) 局本部に対し被害状況や被災者受入状況等に係る正確な情報を提示するものとする。</p> <p>(9) 病院機能状況を確認し、限られた機能で可能な医療活動を行うものとする。</p>

院内浸水なし【病院本部】	院内浸水あり【病院本部】
(12) 現状、課題、指示事項の情報共有のため、本部長指示により、本部署内におけるブリーフィングを随時実施する（資料 18 を使用）。	(10) 現状、課題、指示事項の情報共有のため、本部長指示により、本部署内におけるブリーフィングを随時実施する（資料 18 を使用）。

2 情報通信班

院内浸水なし【情報通信班】	院内浸水あり【情報通信班】
<p>(1) 従事場所：病院本部（エネルギーセンター2階災害対策本部室）</p> <p>(2) 班長：総務管理課課長</p> <p>(3) 班長は発災後の以下の情報収集について班員に指示し、集まった時点で全て病院本部に報告するものとする。</p> <p>ア 災害規模（局本部と連絡を密にする）</p> <p>イ 救急外来患者基本情報</p> <p>ウ 職員の安否情報</p> <p>エ 職員の参集状況、各班の配置人員</p> <p>オ 各施設の稼働状況</p> <p>カ その他本部長の指示する情報</p>	<p>(1) 従事場所：病院本部（エネルギーセンター2階災害対策本部室）</p> <p>(2) 班長：総務管理課課長</p> <p>(3) 班長は発災後の以下の情報収集について班員に指示し、集まった時点で全て病院本部に報告するものとする。</p> <p>ア 災害規模（局本部と連絡を密にする）</p> <p>イ 救急外来患者基本情報</p> <p>ウ 入院患者情報および避難順位</p> <p>エ 職員の安否情報</p> <p>オ 職員の参集状況、各班の配置人員</p> <p>カ 各施設の稼働状況</p> <p>キ その他本部長の指示する情報</p>

院内浸水なし【情報通信班】	院内浸水あり【情報通信班】
<p>(4) 情報通信班長は発災後、第一報を本部長に行い、その後は局本部長と連携し災害の種類、規模等の情報収集を行い、随時本部長に報告するものとする。地震災害の場合、本部参集後に局本部長と連携し、震度、津波到達予想時間、津波の規模等の情報収集を行うものとする。</p> <p>(5) 本部参集後は通信機器を優先して設置し、情報収集を最優先事項とする。通信機器の設置方法については班別詳細マニュアルを参照するものとする。</p> <p>(6) 講堂にホワイトボード等（資料 10）を設置し、職員参集命令に備えるものとする。</p> <p>(7) 初動時における津波状況調査については、安全確認が出来るまで行うものとする。</p> <p>(8) 津波到達前に施設整備班が災害対策本部に参集するので、班長は施設整備班長からトランシーバーを受け取るものとする。受け取ったトランシーバーは職員参集時に各班長に配布すること。</p> <p>(9) 参集した職員について所属及び氏名確認を行うこととする。名札の貼付を指示し、ホワイトボードを病院本部に移動した後、班別参集状況をパソコンに入力するものとする。</p> <p>(10) 入力には各班代表者から行い、終了した時点で代表者名簿を出力するものとする。</p>	<p>(4) 情報通信班長は発災後、第一報を本部長に行い、その後は局本部長と連携し災害の種類、規模等の情報収集を行い、随時本部長に報告するものとする。地震災害の場合、本部参集後に局本部長と連携し、震度、津波到達予想時間、津波の規模等の情報収集を行うものとする。</p> <p>(5) 本部参集後は通信機器を優先して設置し、情報収集を最優先事項とする。通信機器の設置方法については班別詳細マニュアルを参照するものとする。</p> <p>(6) 講堂にホワイトボード等（資料 10）を設置し、職員参集命令に備えるものとする。</p> <p>(7) 初動時における津波状況調査については、安全確認が出来るまで行うものとする。</p> <p>(8) 津波到達前に施設整備班が災害対策本部に参集するので、班長は施設整備班長からトランシーバーを受け取るものとする。受け取ったトランシーバーを職員参集時に各班長に配布すること。</p> <p>(9) 参集した職員について所属及び氏名確認を行うこととする。名札の貼付を指示し、ホワイトボードを病院本部に移動した後、班別参集状況をパソコンに入力するものとする。</p> <p>(10) 入力には各班代表者から行い、終了した時点で代表者名簿を出力するものとする。</p>

院内浸水なし【情報通信班】	院内浸水あり【情報通信班】
<p>(11) 初動体制完了後参集した職員については、各班への割り振りが決定した後、所属班に入力すること。</p> <p>(12) 各班代表者名簿の作成および施設整備班から可能検査リストを受け取った後、各班に連絡の上、担当者を本部に招集し手渡すものとする。</p> <p>(13) 災害診療開始後は局本部に、災害診療開始の旨を報告すること。その後は、局本部の要請に応じて随時情報を提供するものとする。</p> <p>(14) 施設の稼働状況、受入患者可能情報等にかかる情報収集後、広域災害医療情報システム (EMIS) に情報を入力するものとする。入力方法については班別詳細マニュアルを参照するものとする。</p> <p>(15) 災害診療開始後、定期的に各トリアージェリアを回り、トリアージポストから災害時受付患者リストを受け取るものとする。受け取った後、各班に巡回し、ボードに貼られたトリアージタグ (写し) からトリアージカラーを取得しリストに記載するものとする。確認後のリストは本部に提出するものとする。</p>	<p>(11) 初動体制完了後参集した職員については、各班への割り振りが決定した後、所属班に入力するものとする。</p> <p>(12) 設備の被害状況を確認後、EMIS で被害状況を入力し、本部長の命令により情報通信班長に対し市本部への入院患者の救援要請を、愛媛県災害対策本部に DMAT の派遣要請を行うものとする。</p> <p>(13) 各班代表者名簿の作成および施設整備班から可能検査リストを受け取った後、各班に連絡の上、担当者を本部に招集し手渡すものとする。</p> <p>(14) 災害診療開始後は局本部に、災害診療開始の旨を報告すること。その後は、局本部の要請に応じて随時情報を提供するものとする。</p> <p>(15) 施設の稼働状況、受入患者可能情報等にかかる情報収集後、広域災害医療情報システム (EMIS) に情報を入力するものとする。入力方法については班別詳細マニュアルを参照するものとする。</p> <p>(16) 災害診療開始後、定期的に各トリアージェリアを回り、トリアージポストから災害時受付患者リストを受け取るものとする。受け取った後、各班に巡回し、ボードに貼られたトリアージタグ (写し) からトリアージカラーを取得しリストに記載するものとする。確認後のリストは本部に提出するものとする。</p>

<p>院内浸水なし【情報通信班】</p> <p>(16) その他病院本部の要請に応じ、必要な情報を収集し報告するものとする。</p>	<p>院内浸水あり【情報通信班】</p> <p>(17) その他病院本部の要請に応じ、必要な情報を収集し報告するものとする。</p>
<p>3 外来班</p> <p>院内浸水なし【外来班】</p> <p>(1) 班長：副院長、副班長：医局長、副看護部長</p> <p>【一般外来患者の対応（発災当日のみ）】</p> <p>代表職員：医局長、副看護部長、外来統括看護師長 対象職員：医師、外来看護師、医師事務作業補助者、 医事業務委託職員</p> <p>(2) 自身の安全確保、職員及び患者（患者家族）の安全確認を行う。</p> <p>(3) 外来職員は、患者（患者家族）に安全な場所待機するよう説明を行う。地震被害により危険な箇所がある場合は、余震に備え患者等を安全な場所に誘導する。</p> <p>(4) 看護師は災害により治療が必要な職員・患者等がいる場合は、必要に応じ外来診療中の医師に連絡し、治療を依頼する。</p> <p>(5) 1階で診療をしている場合に大津波警報が発令された場合は、患者や患者家族を連れて2階以上に避難する。</p>	<p>院内浸水あり【外来班】</p> <p>(1) 班長：副院長、副班長：医局長、副看護部長</p> <p>【一般外来患者の対応（発災当日のみ）】</p> <p>代表職員：医局長、副看護部長、外来統括看護師長 対象職員：医師、外来看護師、医師事務作業補助者、 医事業務委託職員</p> <p>(2) 自身の安全確保、職員及び患者（患者家族）の安全確認を行う。</p> <p>(3) 外来職員は、患者（患者家族）に安全な場所待機するよう説明を行う。地震被害により危険な箇所がある場合は、余震に備え患者等を安全な場所に誘導する。</p> <p>(4) 看護師は災害により治療が必要な職員・患者等がいる場合は、必要に応じ外来診療中の医師に連絡し、治療を依頼する。</p> <p>(5) 1階で診療をしている場合に大津波警報が発令された場合は、患者や患者家族を連れて2階以上に避難する。</p>

院内浸水なし【外来班】	院内浸水あり【外来班】
<p>(6) 診療中に震度 6 以上の地震が発生した場合、診療を中断し付近の患者等を落ち着かせ、各科外来待合から移動しないよう指示する。震度 5 以下の地震が発生した場合は、診療を継続し、処方制限（院外処方不可、数量制限等）の連絡があるままでは通常通り院外処方を行う。なお院内処方の際は、必要最小限（1週間分目安）の処方とすることとする。</p> <p>(7) 看護師は、患者（状態、酸素等接続機器）、施設（建物、避難経路、ライフライン）の被災状況を確認のうえ、各科外来責任看護師に報告する。各科外来責任看護師は看護師からの被災状況報告をもとに様式 22（災害時情報収集メモ）の作成を行う。各科外来責任看護師は様式 22（災害時情報収集メモ）の内容を外来統括看護師長に連絡する。外来統括看護師長は各科の様式 22（災害時情報収集メモ）をとりまとめ、本部の外来班長（外来班長から施設整備班長）に提出する。</p> <p>(8) 医事業務委託職員は、受付一覧表を印刷し、患者の在院（トイレ等も）確認を行う。なお、基本スケジュール・受付票・会計受付票未所持者については、「災害発生時外来対応者情報（資料 24）」を作成し、在院患者等の確認を行う。</p>	<p>(6) 診療中に震度 6 以上の地震が発生した場合、診療を中断し付近の患者等を落ち着かせ、各科外来待合から移動しないよう指示する。震度 5 以下の地震が発生した場合は、診療を継続し、処方制限（院外処方不可、数量制限等）の連絡があるままでは通常通り院外処方を行う。なお院内処方の際は、必要最小限（1週間分目安）の処方とすることとする。</p> <p>(7) 看護師は、患者（状態、酸素等接続機器）、施設（建物、避難経路、ライフライン）の被災状況を確認のうえ、各科外来責任看護師に報告する。各科外来責任看護師は看護師からの被災状況報告をもとに様式 22（災害時情報収集メモ）の作成を行う。各科外来責任看護師は様式 22（災害時情報収集メモ）の内容を外来統括看護師長に連絡する。外来統括看護師長は各科の様式 22（災害時情報収集メモ）をとりまとめ、本部の外来班長（外来班長から施設整備班長）に提出する。</p> <p>(8) 医事業務委託職員は、受付一覧表を印刷し、患者の在院（トイレ等も）確認を行う。なお、基本スケジュール・受付票・会計受付票未所持者については、「災害発生時外来対応者情報（資料 24）」を作成し、在院患者等の確認を行う。</p>
<p>(6) 診療中に震度 6 以上の地震が発生した場合、診療を中断し付近の患者等を落ち着かせ、各科外来待合から移動しないよう指示する。震度 5 以下の地震が発生した場合は、診療を継続し、処方制限（院外処方不可、数量制限等）の連絡があるままでは通常通り院外処方を行う。なお院内処方の際は、必要最小限（1週間分目安）の処方とすることとする。</p> <p>(7) 看護師は、患者（状態、酸素等接続機器）、施設（建物、避難経路、ライフライン）の被災状況を確認のうえ、各科外来責任看護師に報告する。各科外来責任看護師は看護師からの被災状況報告をもとに様式 22（災害時情報収集メモ）の作成を行う。各科外来責任看護師は様式 22（災害時情報収集メモ）の内容を外来統括看護師長に連絡する。外来統括看護師長は各科の様式 22（災害時情報収集メモ）をとりまとめ、本部の外来班長（外来班長から施設整備班長）に提出する。</p> <p>(8) 医事業務委託職員は、受付一覧表を印刷し、患者の在院（トイレ等も）確認を行う。なお、基本スケジュール・受付票・会計受付票未所持者については、「災害発生時外来対応者情報（資料 24）」を作成し、在院患者等の確認を行う。</p>	<p>(6) 診療中に震度 6 以上の地震が発生した場合、診療を中断し付近の患者等を落ち着かせ、各科外来待合から移動しないよう指示する。震度 5 以下の地震が発生した場合は、診療を継続し、処方制限（院外処方不可、数量制限等）の連絡があるままでは通常通り院外処方を行う。なお院内処方の際は、必要最小限（1週間分目安）の処方とすることとする。</p> <p>(7) 看護師は、患者（状態、酸素等接続機器）、施設（建物、避難経路、ライフライン）の被災状況を確認のうえ、各科外来責任看護師に報告する。各科外来責任看護師は看護師からの被災状況報告をもとに様式 22（災害時情報収集メモ）の作成を行う。各科外来責任看護師は様式 22（災害時情報収集メモ）の内容を外来統括看護師長に連絡する。外来統括看護師長は各科の様式 22（災害時情報収集メモ）をとりまとめ、本部の外来班長（外来班長から施設整備班長）に提出する。</p> <p>(8) 医事業務委託職員は、受付一覧表を印刷し、患者の在院（トイレ等も）確認を行う。なお、基本スケジュール・受付票・会計受付票未所持者については、「災害発生時外来対応者情報（資料 24）」を作成し、在院患者等の確認を行う。</p>

院内浸水なし【外来班】	院内浸水あり【外来班】
<p>(9) 大津波警報発令時、本部より1階の医薬品を2階以上に搬送するよう指示があった場合は、(診療を中断し)医薬品の搬送を行う。このとき内科の患者が多く残っている場合は、内科のイス及び患者の移動は、患者がいなくなってしまうこと。</p> <p>(10) 各外来職員は、本部の指示で患者等に「災害診療に移行するため、通常の診察や検査はできない」旨を伝え、患者の状態で確認を行う。診察不要の患者について、津波の恐れがない場合は帰宅を促し、津波到達の恐れがある場合は帰宅困難者待機エリア(整形外科と脳神経外科の間のエリア)に連れて行く(①明らかに帰宅させることができず診察が必要な患者、②どうしても薬が必要な患者のみ各外来に残っていた場合)。</p> <p>(11) 職員参集の院内放送があった場合に一般外来患者の診療を終えていない場合は、各職種必要人数を残して参集すること。</p> <p>(12) 医事業務委託職員は各外来で、帰宅する患者の基本スケジュールの入ったファイルを回収し、受付一覧表に「帰宅」した旨記載する。診療不要の帰宅困難者については、整形外科と脳神経外科の間のエリアに移動させる。このエリアに職員を配置し、患者が帰宅する場合は、基本スケジュールの入ったファイルを回収し、各外来に返却する。</p>	<p>(9) 大津波警報発令時、本部より1階の医薬品を2階以上に搬送するよう指示があった場合は、(診療を中断し)医薬品の搬送を行う。このとき内科の患者が多く残っている場合は、内科のイス及び患者の移動は、患者がいなくなってしまうこと。</p> <p>(10) 各外来職員は、本部の指示で患者等に「災害診療に移行するため、通常の診察や検査はできない」旨を伝え、患者の状態で確認を行う。診察不要の患者について、津波の恐れがない場合は帰宅を促し、津波到達の恐れがある場合は帰宅困難者待機エリア(整形外科と脳神経外科の間のエリア)に連れて行く(①明らかに帰宅させることができず診察が必要な患者、②どうしても薬が必要な患者のみ各外来に残っていた場合)。</p> <p>(11) 職員参集の院内放送があった場合に一般外来患者の診療を終えていない場合は、各職種必要人数を残して参集すること。</p> <p>(12) 医事業務委託職員は各外来で、帰宅する患者の基本スケジュールの入ったファイルを回収し、受付一覧表に「帰宅」した旨記載する。診療不要の帰宅困難者については、整形外科と脳神経外科の間のエリアに移動させる。このエリアに職員を配置し、患者が帰宅する場合は、基本スケジュールの入ったファイルを回収し、各外来に返却する。</p>

院内浸水なし【外来班】	院内浸水あり【外来班】
<p>(13) 看護師は外来に残っている患者の状態で確認を行い、基本スケジュールの右上に色別シールを貼付する。状態を確認した結果が最優先治療群の患者については、一時的な処置を行い、各科外来責任看護師に、各科外来責任看護師から外来統括看護師長に連絡を行う。外来統括看護師長はトリアージ赤エリアに連絡し、受け入れ準備が整った時点でトリアージ赤エリアに連れて行くよう指示する。医事業務委託職員は、患者の状態で確認結果を受付一覧表に記載する。</p> <p>(14) 医師及び医師事務作業補助者は、診察が必要な患者の診療を行う。震度 6 以上の場合、連絡があるままで院内処方を行う。なお院内処方の際は、必要最小限（1 週間分目安）の処方とすること。震度 5 以下の場合は処方制限（院外処方不可、数量制限等）の連絡があるまでは通常通り院外処方を行う。</p> <p>(15) 医事業務委託職員は、院内処方患者がいる場合、ある程度まとめて外来薬局（立体駐車場屋上）に連れて行く。</p> <p>(16) 患者数が減るのに伴い、各職種、必要最小限の人数を外来に残し、本部へ参集する。本部の指示で所属班決定後、災害診療に従事する。</p>	<p>(13) 看護師は外来に残っている患者の状態で確認を行い、基本スケジュールの右上に色別シールを貼付する。状態を確認した結果が最優先治療群の患者については、一時的な処置を行い、各科外来責任看護師に、各科外来責任看護師から外来統括看護師長に連絡を行う。外来統括看護師長はトリアージ赤エリアに連絡し、受け入れ準備が整った時点でトリアージ赤エリアに連れて行くよう指示する。医事業務委託職員は、患者の状態で確認結果を受付一覧表に記載する。</p> <p>(14) 医師及び医師事務作業補助者は、診察が必要な患者の診療を行う。震度 6 以上の場合、連絡があるままで院内処方を行う。なお院内処方の際は、必要最小限（1 週間分目安）の処方とすること。震度 5 以下の場合は処方制限（院外処方不可、数量制限等）の連絡があるまでは通常通り院外処方を行う。</p> <p>(15) 医事業務委託職員は、院内処方患者がいる場合、ある程度まとめて外来薬局（立体駐車場屋上）に連れて行く。</p> <p>(16) 患者数が減るのに伴い、各職種、必要最小限の人数を外来に残し、本部へ参集する。本部の指示で所属班決定後、災害診療に従事する。</p>

院内浸水なし【外来班】	院内浸水あり【外来班】
<p>(17) 診療を終えた患者を含め、帰宅困難者を整形外科と脳神経外科の間のエリアに集めておき、本部の指示後、帰宅困難者を市指定避難所（中央公民館）へ連れて行く。</p> <p>【運搬・設営】</p> <p>(18) 発災後、情報通信班の視認確認で宇和海沿岸部への津波到達が確認されるまで、本部の命令により薬品等物資の運搬を調達班長の指揮の下行うものとする。</p> <p>(19) 災害レベル3の場合、職員参集に備え、班長は班員及び周囲の職員に指示し、2階講堂の机及び椅子を撤去するものとする。机は医療情報コーナー、椅子は講堂の倉庫内に運搬する。</p> <p>(20) 本部長の判断により、災害診療準備命令が発令された場合、立体駐車場屋上のトリアージェリアの駐車状況を確認し、車の移動が必要な場合は情報通信班に（車種やナンバーを伝え）院内放送を依頼し、患者等に立体駐車場2階又は屋上の空きスペースへの車の移動をお願いするものとする。また各班員は調達班と共に各トリアージェリア責任者の指示の下、必要な物品を搬送するものとする。なお外来班長は、立体駐車場屋上倉庫の鍵を開ける担当者を指名するものとする（鍵の場所：津波避難時は本部、それ以外は防災センター）。</p>	<p>(17) 診療を終えた患者を含め、帰宅困難者を整形外科と脳神経外科の間のエリアに集めておき、本部の指示後、帰宅困難者を市指定避難所（中央公民館）へ連れて行く。</p> <p>【運搬・設営】</p> <p>(18) 発災後、情報通信班の視認確認で宇和海沿岸部への津波到達が確認されるまで、本部の命令により薬品等物資の運搬を調達班長の指揮の下行うものとする。</p> <p>(19) 災害レベル3の場合、職員参集に備え、班長は班員及び周囲の職員に指示し、2階講堂の机及び椅子を撤去するものとする。机は医療情報コーナー、椅子は講堂の倉庫内に運搬する。</p> <p>(20) 本部長の判断により、災害診療準備命令が発令された場合、立体駐車場屋上のトリアージェリアの駐車状況を確認し、車の移動が必要な場合は情報通信班に（車種やナンバーを伝え）院内放送を依頼し、患者等に立体駐車場2階又は屋上の空きスペースへの車の移動をお願いするものとする。また各班員は調達班と共に各トリアージェリア責任者の指示の下、必要な物品を搬送するものとする。なお外来班長は、立体駐車場屋上倉庫の鍵を開ける担当者を指名するものとする（鍵の場所：津波避難時は本部、それ以外は防災センター）。</p>

院内浸水なし【外来班】	院内浸水あり【外来班】
<p>(21) 物品搬送終了後、班長の指示のもと各トリージェリア配置図（資料6～8）を参考に各エリアの設営を行うものとする。</p> <p>(22) 各トリージェリアの責任者は、エリアの設営と並行して各エリアの組織図を作成するものとする（資料4）。</p> <p>(23) トリージェリアポスト・緑、外来薬局の設営にあたり、障害となる車両については移動させるものとする。</p> <p>(24) ボランテニア受付を設置し、申込者に登録用紙の記載をさせること。受付後は本部に連絡し、配属先を確認すること。本部より配属先の連絡後、申込者を配属先に案内する。記載された登録用紙は、定期的に本部に届出するものとする。</p>	<p>(21) 物品搬送終了後、班長の指示のもと各トリージェリア配置図（資料6～8）を参考に各エリアの設営を行うものとする。</p> <p>(22) 各トリージェリアの責任者は、エリアの設営と並行して各エリアの組織図を作成するものとする（資料4）。</p> <p>(23) トリージェリアポスト・緑、外来薬局の設営にあたり、障害となる車両については移動させるものとする。</p> <p>(24) ボランテニア受付を設置し、申込者に登録用紙の記載をさせること。受付後は本部に連絡し、配属先を確認すること。本部より配属先の連絡後、申込者を配属先に案内する。記載された登録用紙は、定期的に本部に届出するものとする。</p>
<p>【診療】</p> <p>(25) 緊急時の外来診療は、外来班が行うものとする。</p> <p>(26) 患者受入にかかる救急車、一般車両、歩行者の動線及び各トリージェリアの配置は資料6～8の通りとする。</p> <p>(27) 外来診療にはトリージェリタッグを用い、1枚目をトリージェリアポスト、2枚目をトリージェリア赤、黄、緑、黒のエリアに設置されたパネルに貼り付けるものとする。</p>	<p>【診療】</p> <p>(25) 緊急時の外来診療は、外来班が行うものとする。</p> <p>(26) 患者受入にかかる救急車、一般車両、歩行者の動線及び各トリージェリアの配置は資料6～8の通りとする。</p> <p>(27) 外来診療にはトリージェリタッグを用い、1枚目をトリージェリアポスト、2枚目をトリージェリア赤、黄、緑、黒のエリアに設置されたパネルに貼り付けるものとする。</p>

院内浸水なし【外来班】	院内浸水あり【外来班】
<p>(28) 初期行動は以下の通りとする。</p> <p>ア 班長は参集人員を確認後、入院班班長と協議の上医局員の配置を決定するものとする(資料11)。班長は各トリアージェリアの代表医師を決定し指示するものとする。看護部長は参集人員を確認後外来班の看護師の配置人員を決定するものとする。</p> <p>イ 外来班員は調達班員と共に各トリアージェリア責任者の指示により災害診療に必要な物資の搬送を行うものとする。</p> <p>ウ 物品搬送後、班員はトリアージェリアの設営を行い、設営完了後各エリア代表はその旨本部の外来班長に報告するものとする。</p> <p>(29) -1 ファーストトリアージにおける業務は以下の通りとする。</p> <p>ア 担当：医師…救命救急副センター長 看護師10名…救命救急センター、放射線科、手術室 事務員…医事課10名、 医事業務委託職員12名</p> <p>イ 従事場所：立体駐車場屋上</p>	<p>(28) 初期行動は以下の通りとする。</p> <p>ア 班長は参集人員を確認後、入院班班長と協議の上医局員の配置を決定するものとする(資料11)。班長は各トリアージェリアの代表医師を決定し指示するものとする。看護部長は参集人員を確認後外来班の看護師の配置人員を決定するものとする。</p> <p>イ 外来班員は調達班員と共に各トリアージェリア責任者の指示により災害診療に必要な物資の搬送を行うものとする。</p> <p>ウ 物品搬送後、班員はトリアージェリアの設営を行い、設営完了後各エリア代表はその旨本部の外来班長に報告するものとする。</p> <p>(29) -1 ファーストトリアージにおける業務は以下の通りとする。</p> <p>ア 担当：医師…救命救急副センター長 看護師10名…救命救急センター、放射線科、手術室 事務員…医事課10名、 医事業務委託職員12名</p> <p>イ 従事場所：立体駐車場屋上</p>

院内浸水なし【外来班】	院内浸水あり【外来班】
<p>ウ トリアージの流れ</p> <p>①エリアにトリアージナースを1名配置し、明らかに重症の患者、妊婦は優先的に受付を行うものとする。</p> <p>②看護師は start 方式を用いファーストトリアージを行う。事務員は、トリアージ日付、トリアージ実施者氏名等をトリアージタグに記載し、分類後緊急度をトリアージタグに記入しカラーコードを分類に応じてちぎるものとする。記入は必ずトリアージエリアで行いトリアージエリアにて患者の手首につけるものとする。事務員はトリアージ後トリアージタグの1枚目をはがし、受付事務員に渡すものとする。なお、トリアージ結果が赤の場合は直ちに赤に搬送するものとする。</p> <p>③受付事務員はトリアージタグの1枚目をパネルに貼り付けるものとする。救急車で搬送された患者はトリアージタグの1枚目が救急隊で保管されるため、新たなトリアージタグの1枚目に基本情報を転記しパネルに貼り付けるものとする。</p>	<p>ウ トリアージの流れ</p> <p>①エリアにトリアージナースを1名配置し、明らかに重症の患者、妊婦は優先的に受付を行うものとする。</p> <p>②看護師は start 方式を用いファーストトリアージを行う。事務員は、トリアージ日付、トリアージ実施者氏名等をトリアージタグに記載し、分類後緊急度をトリアージタグに記入しカラーコードを分類に応じてちぎるものとする。記入は必ずトリアージエリアで行いトリアージエリアにて患者の手首につけるものとする。事務員はトリアージ後トリアージタグの1枚目をはがし、受付事務員に渡すものとする。なお、トリアージ結果が赤の場合は直ちに赤に搬送するものとする。</p> <p>③受付事務員はトリアージタグの1枚目をパネルに貼り付けるものとする。救急車で搬送された患者はトリアージタグの1枚目が救急隊で保管されるため、新たなトリアージタグの1枚目に基本情報を転記しパネルに貼り付けるものとする。</p>

院内浸水なし【外来班】	院内浸水あり【外来班】
<p>④事務員は本部長の災害診療開始命令を受け、トリアージポストと赤の受付で患者受付を行うものとする。</p> <p>トリアージ結果が緑と判定された患者には受付簿に基本情報（氏名、住所、生年月日、血液型、年齢）を記載いただく。次に電子カルテ端末で ID を検索するものとする。既登録患者については ID を確認し控えておく。(ウインドウズ機能のクリップボードにコピー) 未登録患者、身元不明患者については災害時 ID を発行し ID バーコードシール (印刷済) を災害カルテに貼り付ける。次に、災害カルテに ID、氏名、生年月日を転記し、控えていた ID、もしくはバーコードシールを読み取り受付を実施する。受付票が出力されたら災害カルテと一緒に患者に渡すものとする。</p> <p>トリアージ結果が黄と判定された患者については氏名、生年月日を確認し、電子カルテ端末で ID を検索するものとする。既登録患者については ID を確認し控えておく。(ウインドウズ機能のクリップボードにコピー) 未登録患者、身元不明患者については災</p>	<p>④事務員は本部長の災害診療開始命令を受け、トリアージポストと赤の受付で患者受付を行うものとする。</p> <p>トリアージ結果が緑と判定された患者には受付簿に基本情報（氏名、住所、生年月日、血液型、年齢）を記載いただく。次に電子カルテ端末で ID を検索するものとする。既登録患者については ID を確認し控えておく。(ウインドウズ機能のクリップボードにコピー) 未登録患者、身元不明患者については災害時 ID を発行し ID バーコードシール (印刷済) を災害カルテに貼り付ける。次に、災害カルテに ID、氏名、生年月日を転記し、控えていた ID、もしくはバーコードシールを読み取り受付を実施する。受付票が出力されたら災害カルテと一緒に患者に渡すものとする。</p> <p>トリアージ結果が黄と判定された患者については氏名、生年月日を確認し、電子カルテ端末で ID を検索するものとする。既登録患者については ID を確認し控えておく。(ウインドウズ機能のクリップボードにコピー) 未登録患者、身元不明患者については災</p>

院内浸水なし【外来班】	院内浸水あり【外来班】
<p>害時 ID を発行し ID バーコードシール (印刷済) を災害カルテに貼り付ける。次に、災害カルテに ID、氏名、生年月日を転記し、控えていた ID、もしくはバーコードシールを読み取り受付を実施する。受付票が出力されたら災害カルテと一緒に患者に渡すものとする。</p> <p>トリアージ結果が赤と判定された患者は処置と並行して受付を行えるよう、赤の受付で受付処理を実施するものとする。まず、氏名、生年月日を確認し、電子カルテ端末で ID を検索するものとする。既登録患者については ID を確認し控えておく。(ウインدوز機能のクリップボードにコピー) 未登録患者、身元不明患者については災害時 ID を発行し ID バーコードシール (印刷済) を災害カルテに貼り付ける。次に、災害カルテに ID、氏名、生年月日を転記し、控えていた ID、もしくはバーコードシールを読み取り受付を実施する。受付票が出力されたら災害カルテと一緒に患者、若しくは担当医に渡すものとする。</p> <p>災害時 ID を発行した患者が既登録患者と分かった場合の氏名の更新については、オーダー出して処置</p>	<p>害時 ID を発行し ID バーコードシール (印刷済) を災害カルテに貼り付ける。次に、災害カルテに ID、氏名、生年月日を転記し、控えていた ID、もしくはバーコードシールを読み取り受付を実施する。受付票が出力されたら災害カルテと一緒に患者に渡すものとする。</p> <p>トリアージ結果が赤と判定された患者は処置と並行して受付を行えるよう、赤の受付で受付処理を実施するものとする。まず、氏名、生年月日を確認し、電子カルテ端末で ID を検索するものとする。既登録患者については ID を確認し控えておく。(ウインدوز機能のクリップボードにコピー) 未登録患者、身元不明患者については災害時 ID を発行し ID バーコードシール (印刷済) を災害カルテに貼り付ける。次に、災害カルテに ID、氏名、生年月日を転記し、控えていた ID、もしくはバーコードシールを読み取り受付を実施する。受付票が出力されたら災害カルテと一緒に患者、若しくは担当医に渡すものとする。</p> <p>災害時 ID を発行した患者が既登録患者と分かった場合の氏名の更新については、オーダー出して処置</p>

院内浸水なし【外来班】	院内浸水あり【外来班】
<p>をすままでの間に氏名が変わってしまうと、混乱が発生する可能性があるため、赤・黄・緑から移動するタイミング(帰宅/入院/他病院への搬送など)で修正するものとする。ただし、既往歴は診察に有益であるため既登録患者と分かった場合はできるだけ早く、医師に患者名を伝えるものとする。また、医師が既往歴を参照しやすいよう災害時 I D と既往歴のある I D を関連付けるものとする。(二重患者登録)</p> <p>④受付(トリアージポストのみ)終了後、看護師、事務員は患者をトリアージカラーに応じたカテゴリーに誘導、搬送する。搬送に人手が必要な場合、病院本部に応援要請を行うものとする。</p> <p>(29) - 2 トリアージカラー赤における業務は以下の通りとする。</p> <p>ア 第一カテゴリー：最優先治療群(タググのカラーコードは赤色)</p> <p>「start 式トリアージの分類」</p> <p>①歩行できない者で自発呼吸回数が 10 回/分未満 或いは 30 回/分以上の者。</p> <p>②歩行できない者で自発呼吸回数が 10 回/分～30 回/分で、橈骨動脈触知不能な者。</p>	<p>をすままでの間に氏名が変わってしまうと、混乱が発生する可能性があるため、赤・黄・緑から移動するタイミング(帰宅/入院/他病院への搬送など)で修正するものとする。ただし、既往歴は診察に有益であるため既登録患者と分かった場合はできるだけ早く、医師に患者名を伝えるものとする。また、医師が既往歴を参照しやすいよう災害時 I D と既往歴のある I D を関連付けるものとする。(二重患者登録)</p> <p>④受付(トリアージポストのみ)終了後、看護師、事務員は患者をトリアージカラーに応じたカテゴリーに誘導、搬送する。搬送に人手が必要な場合、病院本部に応援要請を行うものとする。</p> <p>(29) - 2 トリアージカラー赤における業務は以下の通りとする。</p> <p>ア 第一カテゴリー：最優先治療群(タググのカラーコードは赤色)</p> <p>「start 式トリアージの分類」</p> <p>①歩行できない者で自発呼吸回数が 10 回/分未満 或いは 30 回/分以上の者。</p> <p>②歩行できない者で自発呼吸回数が 10 回/分～30 回/分で、橈骨動脈触知不能な者。</p>

院内浸水なし【外来班】	院内浸水あり【外来班】
<p>③呼吸の確認は無呼吸であっても用手気道確保によつて自発呼吸が確認されれば呼吸ありと判断する。</p> <p>④歩行できない者で自発呼吸回数が10回/分～30回/分の範囲内にあり、橈骨動脈触知が可能な者であっても簡単な命令に応じる事ができない者。</p> <p>イ 担当：医師…循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、外科、肝胆膵外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、麻酔科、前記診療科で研修中の研修医</p> <p>看護師12名…救急外来、内科、中央処置室、外科、脳神経外科</p> <p>事務員…医事課5名、医事業務委託職員4名</p> <p>従事場所：中央処置室</p> <p>エ 事務員は受付で患者確認を行う。</p> <p>オ 医師は sort 法を用いセカンドトリアージを行う。患者の状態を確認し、カテゴリーの分類が誤っている場合は、補助要員が正しいカテゴリーへ誘導、搬送を行う。ただし、重症患者については、医師又は看護師と共に誘導、搬送を行う。セカンドトリアージ医師は専任とし、処置、搬送は行わないものとする。</p>	<p>③呼吸の確認は無呼吸であっても用手気道確保によつて自発呼吸が確認されれば呼吸ありと判断する。</p> <p>④歩行できない者で自発呼吸回数が10回/分～30回/分の範囲内にあり、橈骨動脈触知が可能な者であっても簡単な命令に応じる事ができない者。</p> <p>イ 担当：医師…循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、外科、肝胆膵外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、麻酔科、前記診療科で研修中の研修医</p> <p>看護師12名…救急外来、内科、中央処置室、外科、脳神経外科</p> <p>事務員…医事課5名、医事業務委託職員4名</p> <p>従事場所：中央処置室</p> <p>エ 事務員は受付で患者確認を行う。</p> <p>オ 医師は sort 法を用いセカンドトリアージを行う。患者の状態を確認し、カテゴリーの分類が誤っている場合は、補助要員が正しいカテゴリーへ誘導、搬送を行う。ただし、重症患者については、医師又は看護師と共に誘導、搬送を行う。セカンドトリアージ医師は専任とし、処置、搬送は行わないものとする。</p>

院内浸水なし【外来班】	院内浸水あり【外来班】
<p>カ 医師は必要に応じて検査、処置、処置、投薬を行う。オーダーは電子カルテ端末を用い、所見は災害時カルテに記載することとする。患者のカルテの呼び出しには災害カルテに貼り付けられたバーコードを使用する。各オーダーの手順については別紙班別詳細マニュアルの通りとする。</p>	<p>カ 医師は必要に応じて検査、処置、投薬を行う。オーダーは電子カルテ端末を用い、所見は災害時カルテに記載することとする。患者のカルテの呼び出しには災害カルテに貼り付けられたバーコードを使用する。各オーダーの手順については別紙班別詳細マニュアルの通りとする。</p>
<p>キ 大津波警報が解除されるまで、放射線画像診断は制限し一般撮影（ポータブル）のみとする。ただし、本部長が許可した場合は1階の使用を認めるものとする。</p>	<p>キ 放射線画像診断は一般撮影（ポータブル）のみとする。</p>
<p>ク 患者を安定化させた後、域外搬送もしくは入院までエリア内で一時待機させるものとする。収容人員は10名までとする。</p>	<p>ク 患者を安定化させた後、域外搬送もしくは入院までエリア内で一時待機させるものとする。収容人員は10名までとする。</p>
<p>ケ 域外搬送に備えて、搬送順位を中央処置室内で決めておくものとする。域外搬送時には域外搬送カルテに記入し、搬送人員に引き継ぐものとする。</p>	<p>ケ 域外搬送に備えて、搬送順位を中央処置室内で決めておくものとする。域外搬送時には域外搬送カルテに記入し、搬送人員に引き継ぐものとする。</p>
<p>コ 入院もしくは手術が必要と医師が判断した場合、本部の外来班長に連絡する。外来班長は入院班長と協議し、搬送先を指示する。指示を受けた後、手術室または入院先病棟に搬送する。看護師は搬送前に搬送先をトリアーディングに記入し、伝票部分をパネルに貼り付ける。</p>	<p>コ 搬送は医師、看護師、補助要員で行う。</p>
<p>サ 搬送は医師、看護師、補助要員で行う。</p>	<p>コ 搬送は医師、看護師、補助要員で行う。</p>

院内浸水なし【外来班】	院内浸水あり【外来班】
<p>シ 別のカテゴリーの患者が進入した際、補助要員が正しい場所へ誘導、搬送する。ただし、重症患者については、医師又は看護師と共に誘導、搬送を行う。</p> <p>(29) - 3 トリアージカラー黄における業務は以下の通りとする。</p> <p>ア 第二カテゴリー：非緊急治療群（タッグのカラーコードは黄色）</p> <p>「start 式トリアージの分類」</p> <p>①歩行できない者で呼吸回数が 10 回/分～30 回/分の範囲内にあり、橈骨動脈触知が確認できる者で且つ簡単な命令に応じる事ができる者。</p> <p>②バイタルサインの安定している大骨折（非開放性大腿骨骨折、上腕骨折など）、気道熱傷のない熱傷、出血の激しくない破傷や打撲などの外傷、脊髓損傷、脱出血管のわずかな胸部開放創、胃十二指腸潰瘍痕穿孔例など。</p>	<p>サ 別のカテゴリーの患者が進入した際、補助要員が正しい場所へ誘導、搬送する。ただし、重症患者については、医師又は看護師と共に誘導、搬送を行う。</p> <p>(29) - 3 トリアージカラー黄における業務は以下の通りとする。</p> <p>ア 第二カテゴリー：非緊急治療群（タッグのカラーコードは黄色）</p> <p>「start 式トリアージの分類」</p> <p>①歩行できない者で呼吸回数が 10 回/分～30 回/分の範囲内にあり、橈骨動脈触知が確認できる者で且つ簡単な命令に応じる事ができる者。</p> <p>②バイタルサインの安定している大骨折（非開放性大腿骨骨折、上腕骨折など）、気道熱傷のない熱傷、出血の激しくない破傷や打撲などの外傷、脊髓損傷、脱出血管のわずかな胸部開放創、胃十二指腸潰瘍痕穿孔例など。</p>

院内浸水なし【外来班】	院内浸水あり【外来班】
<p>イ 担当：医師…血液内科、内分沁内科、乳腺外科、小児科、産婦人科、泌尿器科、前記診療科で研修中の研修医 看護師 1 3 名…整形外科、泌尿器科、小児科、内視鏡室、産婦人科 事務員…医事課 4 名、医事業務委託職員 3 名 ウ 従事場所：北棟講堂 エ 事務員は受付で患者確認を行うものとする。 オ 医師は sort 法を用いセカンドトリアージを行う。患者の状態を確認し、カテゴリーの分類が誤っている場合は、補助要員が正しいカテゴリーへ誘導、搬送を行うものとする。ただし、重症患者については、医師又は看護師と共に誘導、搬送を行う。セカンドトリアージ医師は専任とし、処置、搬送は行わないものとする。 カ 医師は必要に応じて検査、処置、投薬を行うものとする。オーダーは電子カルテ端末を用い、所見は災害時カルテに記載するものとする。患者のカルテの呼び出しには災害カルテに貼り付けられたバーコードを使用するものとする。各オーダーの手順については別紙班別詳細マニュアルの通りとする。</p>	<p>イ 担当：医師…血液内科、内分沁内科、乳腺外科、小児科、産婦人科、泌尿器科、前記診療科で研修中の研修医 看護師 1 3 名…整形外科、泌尿器科、小児科、内視鏡室、産婦人科 事務員…医事課 4 名、医事業務委託職員 3 名 ウ 従事場所：北棟講堂 エ 事務員は受付で患者確認を行う。 オ 医師は sort 法を用いセカンドトリアージを行う。患者の状態を確認し、カテゴリーの分類が誤っている場合は、補助要員が正しいカテゴリーへ誘導、搬送を行うものとする。ただし、重症患者については、医師又は看護師と共に誘導、搬送を行う。セカンドトリアージ医師は専任とし、処置、搬送は行わないものとする。 カ 医師は必要に応じて検査、処置、投薬を行うものとする。オーダーは電子カルテ端末を用い、所見は災害時カルテに記載するものとする。患者のカルテの呼び出しには災害カルテに貼り付けられたバーコードを使用するものとする。各オーダーの手順については別紙班別詳細マニュアルの通りとする。</p>

院内浸水なし【外来班】	院内浸水あり【外来班】
<p>キ 大津波警報が解除されるまで、放射線画像診断は制限し一般撮影（ポータブル）のみとする。ただし、本部長が許可した場合は1階の使用を認めるものとする。</p> <p>ク 患者を安定化させた後、域外搬送もしくは入院まで講堂で一待待機させるものとする。収容人員は40名までとし、一待待機エリアに収まらない場合、ホスピタルプロムナードに移動させる。</p> <p>ケ 域外搬送に備えて、搬送順位を一時待機エリア内で決めしておくものとする。域外搬送時には域外搬送カルテに記入し、搬送人員に引き継ぐものとする。</p> <p>コ 入院もしくは手術が必要と医師が判断した場合、本部の外来班長に連絡する。外来班長は入院班長と協議し、搬送先を指示する。指示を受けた後、手術室または入院先病棟に搬送するものとする。看護師は搬送前に搬送先をトリアージタグに記入し、伝票部分をパネルに貼り付けるものとする。</p> <p>サ 搬送は医師、看護師、補助要員で行うものとする。</p> <p>シ 別のカテゴリーの患者が進入した際、補助要員が正しい場所へ誘導するものとする。ただし、重症患者については、医師又は看護師と共に誘導、搬送を行う。</p>	<p>キ 放射線画像診断は一般撮影のみ（ポータブル）とする。</p> <p>ク 患者を安定化させた後、域外搬送もしくは入院まで講堂で一待待機させるものとする。収容人員は40名までとし、一待待機エリアに収まらない場合、ホスピタルプロムナードに移動させる。</p> <p>ケ 域外搬送に備えて、搬送順位を一時待機エリア内で決めしておくものとする。域外搬送時には域外搬送カルテに記入し、搬送人員に引き継ぐものとする。</p> <p>コ 搬送は医師、看護師、補助要員で行うものとする。</p> <p>サ 別のカテゴリーの患者が進入した際、補助要員が正しい場所へ誘導するものとする。ただし、重症患者については、医師又は看護師と共に誘導、搬送を行う。</p>

院内浸水なし【外来班】	院内浸水あり【外来班】
<p>(29) -4 トリアージカラー緑における業務は以下の通りとする。</p> <p>ア 第三カテゴリー：軽処置群（タッグのカラーコードは緑色）</p> <p>「start式トリアージの分類」</p> <p>①歩行可能である者。</p> <p>イ 担当：医師…眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、 歯科口腔外科、放射線科、 前記診療科で研修中の研修医 看護師 7名…皮膚科、歯科、耳鼻いんこう科、 眼科、透析室 事務員…医事課職員 4名、 医事業務委託職員 2名 薬剤師 2名</p> <p>ウ 従事場所：立体駐車場屋上</p> <p>エ 事務員は受付で患者確認を行うものとする。</p>	<p>(29) -4 トリアージカラー緑における業務は以下の通りとする。</p> <p>ア 第三カテゴリー：軽処置群（タッグのカラーコードは緑色）</p> <p>「start式トリアージの分類」</p> <p>①歩行可能である者。</p> <p>イ 担当：医師…眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、 歯科口腔外科、放射線科、 前記診療科で研修中の研修医 看護師 7名…皮膚科、歯科、耳鼻いんこう科、 眼科、透析室 事務員…医事課職員 4名、 医事業務委託職員 2名 薬剤師 2名</p> <p>ウ 従事場所：立体駐車場屋上</p> <p>エ 事務員は受付で患者確認を行うものとする。</p>

院内浸水なし【外来班】	院内浸水あり【外来班】
<p>オ 医師は sort 法を用いセカンドトリアージを行うものとする。患者の状態を確認し、カテゴリーの分類が誤っている場合は、補助要員が正しいカテゴリーへ誘導、搬送を行うものとする。ただし、重症患者については、医師又は看護師と共に誘導、搬送を行う。セカンドトリアージ医師は専任とし、処置、搬送は行わないものとする。</p> <p>カ 医師は必要に応じて検査、処置を行うものとする。オーダーは電子カルテ端末を用い、所見は災害時カルテに記載するものとする。患者のカルテの呼び出しには災害カルテに貼り付けられたバーコードを使用するものとする。各オーダーの手順については別紙別詳細マニュアルの通りとする。</p> <p>キ 大津波警報が解除されるまで、放射線画像診断は制限し一般撮影（ポータブル）のみとする。</p> <p>ク 特殊検査が必要な場合は緑タッグのまま、院内に看護師が誘導するものとする。</p> <p>ケ 検査後必要に応じて処置を行い、災害時約束処方に基づきオーダー入力を行うものとする。災害時約束処方以外の薬が必要な場合、処方オーダーを入力し薬局に連絡するものとする。オーダーの手順は別紙別詳細マニュアルの通りとする。</p>	<p>オ 医師は sort 法を用いセカンドトリアージを行うものとする。患者の状態を確認し、カテゴリーの分類が誤っている場合は、補助要員が正しいカテゴリーへ誘導、搬送を行うものとする。ただし、重症患者については、医師又は看護師と共に誘導、搬送を行う。セカンドトリアージ医師は専任とし、処置、搬送は行わないものとする。</p> <p>カ 医師は必要に応じて検査、処置を行うものとする。オーダーは電子カルテ端末を用い、所見は災害時カルテに記載するものとする。患者のカルテの呼び出しには災害カルテに貼り付けられたバーコードを使用するものとする。各オーダーの手順については別紙別詳細マニュアルの通りとする。</p> <p>キ 放射線画像診断は一般撮影（ポータブル）のみとなる。</p> <p>ク 特殊検査が必要な場合は緑タッグのまま、院内に看護師が誘導するものとする。</p> <p>ク 検査後必要に応じて処置を行い、災害時約束処方に基づきオーダー入力を行うものとする。災害時約束処方以外の薬が必要な場合、処方オーダーを入力し薬局に連絡するものとする。オーダーの手順は別紙別詳細マニュアルの通りとする。</p>

院内浸水なし【外来班】	院内浸水あり【外来班】
<p>コ 診察終了後は患者にはご帰宅いただくものとする。看護師は帰宅の情報をトリアージタグに記入し、伝票部分をパネルに貼り付けるものとする。</p> <p>サ 事務員は外来薬局において災害カルテとトリアージタグを受け取るものとする。薬剤師はバーコード表を読み込み、処方された薬剤を患者に渡すものとする。</p> <p>(29) - 5 トリアージカラー黒における業務は以下の通りとする。</p> <p>ア 第四カテゴリー：死亡及び不処置群（タグのカラーコードは黒色）</p> <p>「start式トリアージの分類」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用気道確保によっても自発呼吸が確認できないもの。 <p>イ 担当：医師…臨床検査科、病理診断科、前記診療科で研修中の研修医</p> <p>事務員…医事課職員1名</p> <p>ウ 従事場所：内科処置室</p> <p>エ 事務員は受付後、医師に死亡診断を依頼するものとする。</p> <p>オ 医師は患者の徴候を確認し、死亡診断を行うものとする。</p>	<p>ケ 診察終了後は患者にはご帰宅いただくものとする。看護師は帰宅の情報をトリアージタグに記入し、伝票部分をパネルに貼り付けるものとする。</p> <p>コ 事務員は外来薬局において災害カルテとトリアージタグを受け取るものとする。薬剤師はバーコード表を読み込み、処方された薬剤を患者に渡すものとする。</p> <p>(29) - 5 トリアージカラー黒における業務は以下の通りとする。</p> <p>ア 第四カテゴリー：死亡及び不処置群（タグのカラーコードは黒色）</p> <p>「start式トリアージの分類」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用気道確保によっても自発呼吸が確認できないもの。 <p>イ 担当：医師…臨床検査科、病理診断科、前記診療科で研修中の研修医</p> <p>事務員…医事課職員1名</p> <p>ウ 従事場所：内科処置室</p> <p>エ 事務員は受付後、医師に死亡診断を依頼するものとする。</p> <p>オ 医師は患者の徴候を確認し、死亡診断を行うものとする。</p>

院内浸水なし【外来班】	院内浸水あり【外来班】
<p>カ 事務員は死亡診断がなされた患者について、トリアー ジタッグに死亡情報を記載し、伝票部分をパネルに貼 り付けるものとする。</p> <p>キ 死亡診断を行った医師は、死亡診断書（または死体検 案書）を記載する。</p>	<p>カ 事務員は死亡診断がなされた患者について、トリアー ジタッグに死亡情報を記載し、伝票部分をパネルに貼 り付けるものとする。</p> <p>キ 死亡診断を行った医師は、死亡診断書（または死体検 案書）を記載する。</p>

4 入院班

院内浸水なし【入院班】	院内浸水あり【入院班】
<p>(1) 従事場所：班長、副班長…本部 班員のうち医師（病棟責任者又は代理）・看護師 …各病棟</p> <p>(2) 班長：診療部長、副班長：看護部長、副看護部長</p> <p>(3) 大津波警報等が発令された場合、ライフラインが停止した 場合に備えて、発災後人工呼吸器等患者の生命維持に必要 な医療機器について、班長は班員に確認させるものとする。</p>	<p>(1) 従事場所：班長、副班長…本部 班員のうち医師（病棟責任者又は代理）・看護師 …各病棟</p> <p>(2) 班長：診療部長、副班長：看護部長、副看護部長</p> <p>(3) 大津波警報等が発令された場合、ライフラインが停止した 場合に備えて、発災後人工呼吸器等患者の生命維持に必要 な医療機器について、班長は班員に確認させるものとする。</p> <p>(4) 班長は班員から生命維持にかかる医療機器の情報を収集後、 調達班班長に依頼し人工呼吸器設置病棟にポータブル発電 機の供給を行うものとする。</p>

院内浸水なし【入院班】	院内浸水あり【入院班】
<p>(4) 本部長から災害診療開始命令が出た後に、班長は班員から病棟の下記情報を得るものとする。班長は下記情報を随時本部に報告するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①職員の安否 ②入院患者の安否 ③ライフライン等の被災状況 ④入院患者数及び空床状況 ⑤重症（人工呼吸器、酸素、透析 等）入院患者 ⑥域外搬送を必要とする患者 <p>(5) 班長は、津波や道路状況等の周辺状況を情報通信班に確認し、安全に帰宅できると判断した地域について班員に連絡する。周辺状況や身体状況を考慮し、班員は退院可能な患者について班長に報告するものとする。班員は班長の決定に従い、退院を患者に促すものとする。</p>	<p>(5) 津波浸水後ライフラインの停止が確認されたら、非常用発電機を稼働させ生命維持にかかる医療機器に必要な電力を供給する。酸素供給が停止した場合、供給停止で生命に危機が生じるおそれのある患者のみボンベによる酸素供給を行うものとする。</p> <p>(6) 本部長の入院患者避難準備命令を受け、班長は班員に指示し各病棟の入院患者の避難に係る優先順位付けを行わせるものとする。</p>

院内浸水なし【入院班】	院内浸水あり【入院班】
<p>(6) 班長はICU、HCUの班員と協議し、ICU、HCUの空床確保のため一般病棟への転棟を検討するものとする。なお、域外搬送の必要性についても併せて検討するものとする。また一般病棟においても空床確保のため個室の共有について検討し、転床させるものとする。</p> <p>(7) 転床、転棟、入院の際にベッドが足りないため、班員は付添ベッド、マットレス等での対応を検討するものとする。必要な場合班員は班長に報告し、班長は調達班長に依頼し必要物品を調達させるものとする。</p> <p>(8) 転棟、入院の際エレベーターが稼働しない場合、エアーストレッチャー及び階段昇降機を利用し非常用階段を通じて患者搬送を行うものとする。</p> <p>(9) 外来班長から新規入院患者の連絡を受けた場合、入院先を決定し、外来班長に伝え、外来班長からエリアに連絡させるものとする。</p> <p>(10) 班長は、班員より適宜入院患者数、空床の報告を得ることとする（資料19）。</p>	<p>(7) 各病棟の避難順位決定の報告を受け、班長は入院患者全体での避難順位を決定するものとする。</p> <p>(8) DMAT、自衛隊、消防等が活動開始後に、入院患者の搬送を要請し、避難順位に沿って患者を搬送依頼するものとする。</p> <p>(9) 患者搬送の場合、エアーストレッチャー及び階段昇降機を利用し非常用階段を通じて患者搬送を行うものとする。</p> <p>(10) 班長は、班員より適宜入院患者数、空床の報告を得ることとする（資料19）。</p>

院内浸水あり【施設整備班】	院内浸水なし【施設整備班】
(11) 班員の詳細な動きについては、別紙班別詳細マニュアルの通りとする。	(11) 班員の詳細な動きについては、別紙班別詳細マニュアルの通りとする。

5 施設整備班

院内浸水あり【施設整備班】	院内浸水なし【施設整備班】
<p>(1) 参集場所：発災直後 防災センター、職員参集後 医事課→ 従事場所：院内各所</p> <p>(2) 班長：総務管理課施設用度係長</p> <p>(3) 本部長より指示を受けた班長の指示で、防災センター職員は防潮堤設置を行うものとする。(津波発生予測状況により、エレベーター会社へも連絡し、復旧作業を依頼。) 避難命令放送により来院者及び入院患者の避難に従事する班員を除き、防災センターへ参集を行うものとする。臨床検査科は代表者のみ参集とする。</p>	<p>(1) 参集場所：発災直後 防災センター、職員参集後 医事課→ 従事場所：院内各所</p> <p>(2) 班長：総務管理課施設用度係長</p> <p>(3) 本部長より指示を受けた班長の指示で、防災センター職員は防潮堤設置を行うものとする。(津波発生予測状況により、エレベーター会社へも連絡し、復旧作業を依頼。) 避難命令放送により来院者及び入院患者の避難に従事する班員を除き、防災センターへ参集を行うものとする。臨床検査科は代表者のみ参集とする。</p>

院内浸水なし【施設整備班】	院内浸水あり【施設整備班】
<p>(4) 本部からの津波発生状況による避難命令があるまで以下の項目に係る施設、設備の稼働状況の確認を行うものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア ライフラインに係る設備、機器 イ 各検査（臨床検査、放射線）に係る設備、機器 ウ 救命救急に係る設備、機器 エ 情報インフラに係る設備、機器 オ 発災による施設の被害状況及び来院者の避難状況 <p>確認の際、班長はトランシーバーを各班員に渡すこと。不足分は DMAT 用（エネルギーセンサーDMAT 室）を使用すること。</p> <p>(5) 津波発生による避難命令が出た時点で、班長は各班員に避難指示を行い、これを受けた班員は講堂設置のホワイトボードに名札を貼付後、速やかに本部へ参集を行うものとする。その際に、班長はトランシーバー（DMAT 用）を情報通信班に渡すこと。</p>	<p>(4) 本部からの津波発生状況による避難命令があるまで以下の項目に係る施設、設備の稼働状況の確認を行うものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア ライフラインに係る設備、機器 イ 各検査（臨床検査、放射線）に係る設備、機器 ウ 救命救急に係る設備、機器 エ 情報インフラに係る設備、機器 オ 発災による施設の被害状況及び来院者の避難状況 <p>確認の際、班長はトランシーバーを各班員に渡すこと。不足分は DMAT 用（エネルギーセンサーDMAT 室）を使用すること。</p> <p>(5) 津波発生による避難命令が出た時点で、班長は各班員に避難指示を行い、これを受けた班員は講堂設置のホワイトボードに名札を貼付後、速やかに本部へ参集を行うものとする。その際に、班長はトランシーバー（DMAT 用）を情報通信班に渡すこと。</p>

院内浸水なし【施設整備班】	院内浸水あり【施設整備班】
<p>(6) 職員参集命令の後、本部長の判断により、災害診療準備命令が発令された場合、各班員は班長の指示のもと、院内設備（医療機械、熱源設備、医療ガス設備等）の稼働状況を確認し、チェックリストに記入するものとする。ライフラインに係る設備稼働状況は確認後迅速に本部へ報告。班長は集まったチェックリストを確認し、随時本部に報告するものとする。なお、放射線科、臨床検査科の速報用チェックリストについては、情報通信班に各班への配布を依頼する。</p> <p>(7) 班長は一部利用制限が生じる施設について本部に報告し、本部の指示により必要な措置を行うものとする。初動時設備等稼働確認後、班長は本部に報告し班員の異動を求め、原則外来班に異動し災害診療に従事するものとする。</p> <p>(8) 班長は災害診療開始命令後、班員に指示し放射線エリアの放射線量を測定し、管理区域を決定するものとする。</p> <p>(9) 班長は管理区域を決定後、進入不可の場所について班員に指示し、必要な措置を講じるものとする。</p> <p>(10) 班長は班員に指示し、院内周辺の放射線量を測定し、本部に報告するものとする。</p>	<p>(6) 職員参集命令の後、本部長の判断により、災害診療準備命令が発令された場合、各班員は班長の指示のもと、院内設備（医療機械、熱源設備、医療ガス設備等）の稼働状況を確認し、チェックリストに記入するものとする。ライフラインに係る設備稼働状況は確認後迅速に本部へ報告。班長は集まったチェックリストを確認し、随時本部に報告するものとする。なお、放射線科、臨床検査科の速報用チェックリストについては、情報通信班に各班への配布を依頼する。</p> <p>(7) 班長は一部利用制限が生じる施設について本部に報告し、本部の指示により必要な措置を行うものとする。初動時設備等稼働確認後、班長は本部に報告し班員の異動を求め、原則外来班に異動し災害診療に従事するものとする。</p> <p>(8) 班長は班員に指示し、院内周辺の放射線量を測定し、本部に報告するものとする。</p>

6 記録班

院内浸水なし【記録班】	院内浸水あり【記録班】
<p>(1) 従事場所：病院本部（エネルギーセンター2階災害対策本部室）</p> <p>(2) 班長：医事課長</p> <p>(3) 班長は、本館内に班員を配置し、発災以降の出来事等を班員に記録させるものとする。資料17及び18参照</p> <p>(4) 班員は、以下の内容を記録するものとする。</p> <p>ア 災害に関する情報</p> <p>イ 施設の被害状況</p> <p>ウ 施設の復旧情報</p> <p>エ 本部長や各班班長からの指示・報告情報</p> <p>※本部長への連絡事項を記録するため、病院本部担当のうち1名は、本部長付とする。</p> <p>オ その他記録が必要な情報</p> <p>(5) 班員は、以下の内容を電子化し保存する。</p> <p>ア 本部、入院班、外来班のクロノロジ－</p> <p>イ 「現状分析と課題」</p> <p>※記載したクロノロジ－は、各班のホワイトボードに掲示する。ホワイトボード以上の枚数になったものは、電子化したのち災害対策本部室外の廊下へ掲示する。</p>	<p>(1) 従事場所：病院本部（エネルギーセンター2階災害対策本部室）</p> <p>(2) 班長：医事課長</p> <p>(3) 班長は、本館内に班員を配置し、発災以降の出来事等を班員に記録させるものとする。資料17及び18参照</p> <p>(4) 班員は、以下の内容を記録するものとする。</p> <p>ア 災害に関する情報</p> <p>イ 施設の被害状況</p> <p>ウ 施設の復旧情報</p> <p>エ 本部長や各班班長からの指示・報告情報</p> <p>※本部長への連絡事項を記録するため、病院本部担当のうち1名は、本部長付とする。</p> <p>オ その他記録が必要な情報</p> <p>(5) 班員は、以下の内容を電子化し保存する。</p> <p>ア 本部、入院班、外来班のクロノロジ－</p> <p>イ 「現状分析と課題」</p> <p>※記載したクロノロジ－は、各班のホワイトボードに掲示する。ホワイトボード以上の枚数になったものは、電子化したのち災害対策本部室外の廊下へ掲示する。</p>

7 調達班

院内浸水なし【調達班】	院内浸水あり【調達班】
<p>(1) 参集場所：総合案内 → 従事場所：院内各所 (2) 班長：薬局長</p> <p>【物品関係】</p> <p>(3) 発災後、情報通信班の視認確認で宇和海沿岸部への津波到達が確認されるまで、本部命令により薬品等物資の運搬を班長の指揮の下行うこと。</p> <p>(4) 本部長の災害診療準備命令を受け、班長は班員の担当エリアを決定する。班員は外来班員と共に各エリア責任者の指示に従い、災害診療に必要な物品（資料 20 参照）を搬送するものとする。班員（薬局、食養科職員以外）は、エリア設定完了後も各エリアで物品調達、患者搬送等に従事する。</p> <p>(5) 災害診療開始後、各班からの要望に応じ随時必要資機材を搬送するものとする。</p> <p>(6) DMAT の参集拠点となった場合、病院本部の指示で参集拠点にかかる物品の調達を行うものとする。</p>	<p>(1) 参集場所：総合案内 → 従事場所：院内各所 (2) 班長：薬局長</p> <p>【物品関係】</p> <p>(3) 発災後、情報通信班の視認確認で宇和海沿岸部への津波到達が確認されるまで、本部命令により薬品等物資の運搬を班長の指揮の下行うこと。</p> <p>(4) 本部長の災害診療準備命令を受け、班長は班員の担当エリアを決定する。班員は外来班員と共に各エリア責任者の指示に従い、災害診療に必要な物品（資料 20 参照）を搬送するものとする。班員（薬局、食養科職員以外）は、エリア設定完了後も各エリアで物品調達、患者搬送等に従事する。</p> <p>(5) 災害診療開始後、各班からの要望に応じ随時必要資機材を搬送するものとする。</p>

院内浸水なし【調達班】	院内浸水あり【調達班】
<p>【薬品関係】</p> <p>(7) 必要物品搬送後、班員（薬局職員）は内科待合エリアに入院薬局を設置するものとする。資料 8 参照</p> <p>(8) 災害診療開始後、班員（薬局職員）は電子カルテのオーダーに基づいた薬剤を外來薬局にて調剤するものとする。ただし、院外調剤薬局の被害状況を確認し、受け入れ可能と判断できた場合は、外來薬局で調剤せずに院外調剤薬局に切り替えるものとする。</p> <p>【給食関係】</p> <p>(9) 発災後、津波到達の恐れがなく安全が確保できる場合、本部命令により地下食養科から食品（缶詰）など物資の運搬を班長の指揮の下行うこと。</p> <p>(10) 班員（食養科職員）は現入院患者数を確認後、職員も含めた 9 食分の献立を考え班長に報告し、班長は本部に報告するものとする。</p> <p>(11) 班員（食養科職員）は班長の指示により備蓄食品を調理し、入院患者および職員に提供するものとする。</p> <p>(12) 班員（食養科職員）は班長の指示により、提携先の業者に連絡し食料品の提供を受けるものとする。</p> <p>(13) 提供を受けた食料品は保管場所、消費期限等のリストを作り、班長から本部に報告するものとする。</p>	<p>【薬品関係】</p> <p>(6) 必要物品搬送後、班員（薬局職員）は内科待合エリアに入院薬局を設置するものとする。資料 8 参照</p> <p>(7) 災害診療開始後、班員（薬局職員）は電子カルテのオーダーに基づいた薬剤を外來薬局にて調剤するものとする。ただし、院外調剤薬局の被害状況を確認し、受け入れ可能と判断できた場合は、外來薬局で調剤せずに院外調剤薬局に切り替えるものとする。</p> <p>【給食関係】</p> <p>(8) 発災後、津波到達の恐れがなく安全が確保できる場合、本部命令により地下食養科から食品（缶詰）など物資の運搬を班長の指揮の下行うこと。</p> <p>(9) 班員（食養科職員）は現入院患者数を確認後、職員も含めた 9 食分の献立を考え班長に報告し、班長は本部に報告するものとする。</p> <p>(10) 班員（食養科職員）は班長の指示により備蓄食品を調理し、入院患者および職員に提供するものとする。</p> <p>(11) 班員（食養科職員）は班長の指示により、提携先の業者に連絡し食料品の提供を受けるものとする。</p> <p>(12) 提供を受けた食料品は保管場所、消費期限等のリストを作り、班長から本部に報告するものとする。</p>

8 DMAT

院内浸水なし【DMAT】	院内浸水あり【DMAT】
<p>(1) 従事場所：エネルギーセンター2階 DMAT 室</p> <p>(2) 代表：DMAT 隊長</p> <p>(3) 初動時の DMAT 活動</p> <p>ア EMIS を用いた DMAT 活動に係る情報収集、発信</p> <p>イ 厚生労働省等各関係機関との連絡調整</p> <p>(4) 活動状況別対応</p> <p>ア 待機：引き続き情報収集を続ける。</p> <p>イ 派遣する：派遣準備が整い次第、DMAT 活動要領に従い行動する。</p> <p>ウ 派遣しない：院内被害が甚大である場合、または当院が DMAT の参集拠点となった場合、他病院 DMAT の参集に備えて活動拠点本部（会議室7）の設営を行うこと。</p>	<p>(1) 従事場所：エネルギーセンター2階 DMAT 室</p> <p>(2) 代表：DMAT 隊長</p> <p>(3) 初動時の DMAT 活動</p> <p>ア EMIS を用いた DMAT 活動に係る情報収集、発信</p> <p>イ 厚生労働省等各関係機関との連絡調整</p> <p>(4) 対応</p> <p>当院の被害が甚大であり、DMAT 活動拠点にならないことが予想されるため、患者域外搬送に向けた準備を進めるものとする。</p>

(ローテーション勤務)

24時間の災害診療に対応するため、初動期後（発災約48～72時間後）からローテーション勤務を開始する。各所属でローテーション勤務表（資料25）を作成し、本部に提出すること。ローテーション勤務表（資料25）の作成について、各所属において平時から訓練しておくこととする。

(災害対策用備品)

災害対策用備蓄品の種類及び数量並びに備蓄場所は、別に定める。

(予防管理体制)

病院は、平素から建物、施設、機械器具、火気使用設備器具、消防用設備、危険物救急医薬品、備蓄品等を定期的に点検し、常に安全に使用できる状態を維持するとともに異常を認めるときは、早急に必要な措置を講ずるものとする。

1 建築、設備の点検整備（防災センター）

地震による損壊予防等防災の目的で定期的に点検する。また、階段、非常通路、防火扉、非常口等の安全性についても点検する。

2 器械器具の点検整備（総務管理課、防災センター）

医療器械、医療器具、キャビネット、電気設備、照明器具等の地震による転倒移動、落下防止措置及び火災等の二次災害予防のため、取り付け部分の補強、転倒防止のための固定、整理、整頓について定期的に点検し、不備なところを改善する。

3 危険物、危険物施設の点検整備（放射線科、防災センター）

重油、化学薬品等の危険物の貯蔵状態、ガス配管、送油管、火気使用設備等について定期的に点検整備する。また、危険薬品類の取扱いについて、特に注意し、安全な保管を心がける。放射線同位元素（R I）等放射性物質の保管、取扱いについては法的に厳しく規制されており、放射線取扱主任者の指示に従い管理する。

4 消防用設備器具の点検整備（防災センター）

消防用設備器具の点検整備については、消防計画により義務づけられているが、非常用に確実に使用できるよう、平素から点検整備する。

5 備蓄倉庫の災害対策用備蓄品の点検整備（総務管理課、食養科）

災害対策用備蓄品について、必要量確保されているか、品質に異常がないか、常に使用できる状態で保存されているかどうか等を定期的に点検する。

(感染管理体制)

責任者 感染管理部長

構成員 感染管理職員 (CNIC)

1 院内における感染管理

- ・院内の巡回 被害状況確認 感染対策の変更検討・指示

< 発災直後～1時間以内 >

まず自身の安全確保。感染管理室の被害状況を確認し、対策本部へ報告。

その後以下に進む。

- ・対策本部で以下の情報収集を行い、アセスメント、必要時感染対策の変更を検討する。
- ・災害の種類、病院・地域の被害状況（水漏れ、壁の破損など）、インフラ稼働状況（電気・ガス・水道・蒸気・空調等）
- ・感染症室（5東1・2、CCU）に患者がいる場合、陰圧空調等の稼働状況を確認

< 3時間以内 >

各トリアージエリアをラウンドし、標準予防策に必要な物品（注1）の配置状況、感染症疑い患者来院時のゾーニングを確認し、必要時指示を出す。

（注1）【感染対策必要品目】

手指衛生剤・個人防護具（注1-1）、環境清拭ワイプ、消毒剤（次亜塩素酸Na・アルコール綿花）液体石鹸、ビニール袋、ペーパータオル、ガムテープ、ディスポーザブル清拭タオル、ウェットティッシュ、オムツ、簡易式トイレ、コック式ポリタンク、吐物処理セット、感染性廃棄物容器等

（注1-1）【手指衛生剤・個人防護具】

● トリアージ受付

- ・手指衛生剤の設置
- ・プラスチックガウン、ニトリル手袋、フェイスガード、サージカルマスク

● 各トリアージポスト

- ・手指衛生剤の設置
- ・プラスチックガウン、ニトリル手袋、ゴーグル・フェイスガード、N95マスク（サージカルマスクを上重ねる）
- ・感染性廃棄物容器の設置

- ・インフラに影響がある場合、感染対策の変更を検討し指示する。
- ・断水時:手指衛生方法、器材洗浄方法、トイレの使用法変更が必要、簡易トイレの設置指示

- ・ 停電時（自家発電）：感染症室自動ドアの開閉、陰圧空調等に問題がないか確認
- ・ 断ガス時：滅菌方法の変更が必要

< 3 日以内 >

全部署をラウンドし、感染対策実施状況、衛生状態の悪化や現場の困りごとはないか確認し、課題の抽出とアセスメント、必要時指示を出す。

- ・ 感染管理物品の在庫チェック、衛生材料、単回使用品の在庫と流通状況確認、不足時は、対策本部へ申し出る。
- ・ 廃棄物回収までのゴミ置き場の確保、ゾーニング
- ・ 必要時、清掃ボランティア要員の確保と感染対策指導
- ・ 滅菌室稼働状況を確認し、洗浄・消毒・滅菌に変更必要時は一緒に検討する。

< 10 日以内 >

物流再開後、再度全部署をラウンドし、個人防護具等の不適切な運用がないか確認する。

- ・ 症状トリアージの実施を行い、有症状者のコホート指示
- ・ 職員の健康チェック

2 避難所の衛生および感染管理

- ・ D-MAT・行政の指示にて地域の各避難所のラウンドを実施し、感染対策の問題点を抽出
- ・ 課題を行政へ報告、対応策を検討。避難所への介入

3 地域の感染症流行時

- ・ トリアージポストでの来院時間診票で感染症状の確認指示
- ・ 新型コロナ感染症患者、疑い患者来院時の相談対応（注2）

（注2）【感染症（新型コロナ感染症）対応】

- 各トリアージポスト：検温・コロナ問診

- 問診によりコロナ感染症疑いの場合

緑：感染症者用テント

インフル・コロナ抗原検査 …… 陰性 帰宅

…………… 陽性—入院無し 処方 帰宅

入院 5 東感染症病棟

黄：診察室ゾーニング

インフル・コロナ抗原検査 …… 陰性—一般病棟

	・・・陽性—5 東感染症病棟
赤：救急外来ゾーニング	
インフル・コロナ抗原検査	・・・陰性—一般病棟・ICU/HCU
	・・・陽性—5 東感染症病棟
	ICU/HCU
黒：コロナ陽性者	・・・新型コロナ感染症患者の扱い準じる遺体安置所

(地震・津波災害対策訓練及び教育)

地震・津波災害対策訓練及び教育は、次により実施するものとする。

1 訓練の実施

- (1) 災害想定
地震、津波
- (2) 情報収集・発信訓練
患者の安否、関係機関との連絡等
- (3) 避難訓練
避難経路、搬送経路、搬送順位等
- (4) 机上訓練
- (5) 緊急時の状況判断の訓練
ア トリアージ
イ 搬送
ウ 治療

2 教育の実施

- (1) 災害医療におけるリーダーの養成
- (2) 医療関係職種への災害医療、医学の教育及び研修

(別に定める緊急連絡網、保管物品の種類及び数量等)

このマニュアルにおいて別に定める緊急連絡網、保管物品の種類及び数量等については、毎年4月1日又は必要の都度、内容の追加変更等見直しを行うものとする。

(ライフラインの確保)

ライフラインが途絶した時は、設備については「災害時報告様式・チェックリスト」に基づき対応し、確保ができない時は、入院患者の移送を検討する。

参考資料：避難手順

- 1 避難開始の命令がでたら避難経路、順序の確認し速やかに行動を開始する。
- 2 落ち着いて状況を把握して避難誘導を行う。
- 3 決定された避難場所への誘導・避難する。
- 4 避難中も患者の安全に留意する。
- 5 患者の状態にあった避難方法を選択する。
- 6 負傷した患者は応急救護所で応急処置を行う。
- 7 非常持ち出し品の搬送準備と管理を行う。
- 8 後方病院への搬送を行う。

軽症者（独歩患者）

- 1 拡声器、メガフォンなどを使用し、混乱防止に留意しながら勝手な行動を慎ませる。
- 2 非難の際は非常階段を利用する。
- 3 必要に応じてロープを使用して誘導する。
- 4 事務員が中心となって誘導する。（勤務時間内）

中等症者（護送患者）

- 1 非常階段を使用して避難する。
- 2 牽引中の患者は、牽引をはずしシーネ固定とする。
- 3 点滴は、ヘパリンロックとする。

重症者（担送患者）

- 1 気管内挿管中の患者には、酸素ボンベを使用し酸素投与をしながら避難する。
- 2 患者に挿入してあるカテーテルはクレンメするか、体に密着させる。
- 3 モニター類は必要なものだけにし、携帯用に切り替える。
- 4 エレベーターを使用して避難する。
- 5 主に医師、看護職員により避難する。
- 6 当院で処置が不能のときは、病院本部の指示を仰ぎ他病院へ転院する。

設備一覧

1 給水設備

1-1 設備概要

市水引込管 100A

井水（雑用水用） 25mm（口径）、0.02～0.055 m³/min（吐出し量） m³

雨水再利用設備（雑用水用）

上水受水槽 FRP 製タンク 100 m³

雑用水受水槽 容量 250 m³

平常時の1日の使用量 上水約 250 t、雑用水 100 t

給水方式 加圧式給水ポンプ 4基（上水・雑用水・高層系・低層系）

その他 緊急遮断弁

1-2 緊急時の対応

1-2-1 共通事項

- ・ 断水範囲の確認（市水断水か病院内設備異常）
- ・ 受水タンク、配管類の損傷の有無の確認
- ・ 立体駐車場に設置された井水給水設備の稼働確認
（主にトリアーリエリアでの利用を想定。飲用水ではなく、手洗い等に利用を制限。）

1-2-2 市水が断水している場合

- ・ 上水受水槽、雑用水受水槽内の残容量を確認する。
- ・ 加圧給水ポンプは発電機電源に接続されている。運転を確認する。
- ・ 生命維持に必要な部門（手術、透析、救急、NICU等）への供給を優先し、それ以外の部分は節水に努める。
- ・ 上記において、医療用水設備の使用によるRO水の製造を中止し、バイパス運転とし非処理の水道水を供給する。
- ・ 手洗いの自動水栓は、停電時の状態によっては、他の部門の電源確保のため使用を中止することがある。
- ・ 給食・中材等の水を多量に使用する部門は、被害の状況によっては、洗浄を中止するなど、使用を制限する。平常時よりペットボトル飲料水や予備器材の数量を把握しておく。
- ・ 空調設備の運転を制限する。
- ・ トイレの使用を制限する。災害時は、各階の多目的トイレを災害用として設定している。なお、排水は雑用水によりまかなわれるが、シャワー便座は上水が供給されるため、使用を禁止する。
- ・ 早めに給水車の応援を要請する。（宇和島市水道局 22-5265）

1-2-3 市水は健全であるが、病院内給水設備に異常がある場合

- ・ 迅速に異常箇所を特定し、可能な限りその箇所を系統から切り離す。
- ・ 異常箇所の除去、緊急遮断弁の動作を確認し、問題がなければ給水を開始する。
- ・ 受水槽、給水本管の損傷等、影響が広範囲であり復旧に長時間を要する被害の場合、給水車の応援を要請する。

2 電気設備

2-1 設備概要

受電方式 三相 3 線式 6,600V 常用・予備線の 2 回線受電

四国電力山際変電所より供給（常用）

四国電力大浦変電所より供給（予備）

四国電力配電課（23-2376 休日夜間 050-8801-7829）

電気室 エネルギーセンター4 階

設備容量 9,400kVA

非常用発電設備 ガスタービン発電設備 1,750kVA

使用燃料 軽油

貯蔵方式 タンク 56,000 リットル

無停電電源装置 主に手術室、救急外来、ICU、NICU、人工呼吸器用に供給
100kVA

直流電源設備 制御、操作、非常灯用

2-2 緊急時の対応

2-2-1 停電時

- ・ 停電範囲の確認（商用停電か病院設備故障か）
 - ・ 引込み柱、配電盤の損傷の確認
 - ・ 商用停電の場合は、発電機（非常用電源及びコージェネ）が自動起動し、送電されているか確認
- 主な供給先
- 手術室、救急外来、ICU、NICU、人工呼吸器用及び各病棟の一部など生命維持上必要な部門
 - 上記以外の診療上必要なコンセント
 - ライフライン関係設備（加圧給水ポンプ、電話、排水ポンプ等）
 - 防災負荷（自火報、スプリンクラー、非常用エレベーター等）
- ・ 非常用コンセントは赤、UPS コンセントは緑の器具を使用している。業務上必要な器具はこれらのコンセントを使用する。
 - ・ 電源確保のため、電源の使用は医療活動上、災害活動上必要な最小限を使用とし、それ以外の電源器具は使用を禁止する。

- ・ 照明器具の点灯は通常時の 1/3 程度となるので、必要に応じて懐中電灯を使用する。ろうそくは火災の危険性があるので使用禁止とする。
- ・ 天然ガスが健全供給されている場合は、コジェネ設備を運転し、より多くの電力を確保する。ただし、食養科においてはコジェネの発電電力の一部が保安用負荷に使用するため平常時に比べ負荷を低減する必要がある。非常時における優先負荷を予め選定し、非常時に備える。
- ・ 平常時より、停電時の受変電設備、発電設備の運転方法を施設管理担当に十分周知するとともに、発電設備は定期的に試運転、点検を行い、その状態を確認する。

3 通信設備

3-1 設備概要

電話・・・局線引込み 光ファイバー回線（エネルギーセンター2階MDF室）

モデム類（エネルギーセンター2階MDF室）

宅内配線 メタル配線（各所IDF経由）

交換設備（エネルギーセンター2階電話交換室）

院内 PHS

地域防災無線・・・総務管理課に配置

院内情報ネットワーク・・・各種サーバー（エネルギーセンター2階情報管理室）

3-2 緊急時の対応

3-2-1 電話設備

- ・ 病院内外の設備が被害を受けていなければ、電話交換設備に電源が供給されている限り、外線、内線、PHS、スマートフォンとも通話は可能である。
- ・ 現行使用の光電話による外線「0」発信が使用できない場合、「8」発信により ISDN 回線を使用し通話が可能である。
- ・ 病院内の設備は問題なく、病院外の設備が被害を受けている場合は、内線通話は可能であるが、外線通話はできない。
- ・ 災害時は、被災地の重要通信を確保するため、通話規制を行っている場合がある。この場合でも外線発信は、設定された災害優先電話から発信可能である。災害優先電話は（25-1132）となっている。
- ・ 防災センターに設置されている停電用電話機（25-1143）は、電話交換設備の電源が途絶した場合でも通信可能である。

3-2-2 地域防災無線

災害発生時に市災害対策本部や関係機関との通信に使用。

設置場所・・・総務管理課

使用方法等について、平常時から訓練を行う。

3-2-3 院内情報ネットワーク

設備概要 エネルギーセンター2階情報管理室 各種サーバー、UPS

- ・ 設備の被害状況を確認
ラックの転倒、電源遮断、水損等ないか
光ケーブル、UTP ケーブルの切断はないか
端末の転倒、落下、水損等はないか
- ・ 院内の設備が被害を受けていない場合、電源が供給されている限り情報コンセントまでの通信経路は正常に確保されている。端末パソコンの電源が確保されていれば、院内情報ネットワークの使用は可能である。

4 天然ガス

4-1 設備概要

天然ガス 中圧及び低圧にて供給

緊急遮断弁 免震階に設置

主な供給先 炉筒煙缶式ボイラ、吸収式冷温水機、コージェネレーション発電設備、給食調理器具（炊飯器等）

四国ガス宇和島営業所（22-4650）

4-2 緊急時の対応

4-2-1 天然ガスが健全供給されている場合

- ・ 地震発生後、速やかにガス漏れの有無を調査し、ガス漏れを発見した場合は元バルブを閉め、使用を中止する。
- ・ 安全が確認されるまで、院内外ともに火気の使用を厳禁とする。電気火花による引火の危険をあるので、安易に電気を使用しないようにする。
- ・ 緊急遮断弁が作動した場合は、ガス供給会社（四国ガス）へ連絡し、院内の配管設備に異常はないことを確認してからでなければ、緊急遮断弁を復旧してはならない。

4-2-2 天然ガスの供給が途絶した場合

- ・ 四国ガスからの復旧連絡があるまでは、ガスの使用はできない。
- ・ 復旧してからも、ガス機器の破損がないことを確認してから使用する。
- ・ ボイラー（4機中2機）、冷温水発生機（3機中1機）は必要に応じ軽油運転に切り替え使用する。

5 排水設備

5-1 設備概要

一般雑用水、汚水、雨水・・・重圧式（地上階）、ポンプアップ式（地下階）により直接公共下水道に放流

特殊排水・・・除害排水処理施設にて適切に処理後公共下水道に放流（厨房排水、検査・透析系、解剖・感染系、ボイラー排水、高温排水）

5-2 緊急時の対応

- ・ 配管の断裂、詰り等損傷がある場合、速やかにその場所を特定し、修復する。修復に時間を要する場合は、その排水系統の使用を中止する。
- ・ 雑用水、汚水ピットのポンプアップができない場合に備え、投げ込み式の排水ポンプの常設や、バキューム車の依頼をする。
- ・ 特殊排水設備が損傷、電源の喪失等何らかの理由で使用できない場合は、その排水を伴う活動を中止する。
- ・ 排水によっては、触れると二次災害（感染等）の可能性があるため、立ち入り禁止区画の設置や、消毒等二次災害防止のための対応を行う。

6 輸送設備

6-1 設備概要

エレベーター13機（内2機が非常用（寝台用）エレベーター）

ダムウォーター1機

積載重量 2,200 k g

速度 90m/min

三菱電機ビルソリューションズ宇和島営業所（24-3070、24-1194）

エアシューター1機

（株）日本シューター（06-6352-4680 担当千葉）

6-2 緊急時の対応

- ・ 防災センター内E V監視盤により状況の的確な把握。
- ・ メンテナンスメーカー（上記連絡先参照）への迅速な連絡。連絡後20分で到着予定。（災害の状況により左右される）エアシューターは電話対応。

- ・ 1台当たりの復旧時間は約5分。
- ・ 閉じ込め等が起こっている場合、非常通信による的確な状況の把握。
- ・ 復旧順序については、以下の通りとする。

救急 EV (EV-10)

非常用 (寝台用 EV-04、05)

エネルギーセンター (EV-13)

物品用 (EV-03)

乗用 (EV-07、08、09)

北棟外来用 (EV-01)

給食用 (EV-06)

中材清潔用 (EV-11)

感染症用 (EV-02)

中材不潔用ダムウェーター (DW-12)

立体駐車場用 (EV-12) ※一般電源

北棟エスカレーター ※一般電源

7 医療ガス

7-1 設備概要

液体酸素：	CE システムにより配管にて供給 満容量 3.55 s m ³ 一日使用量 0.20 s m ³ タンク容量の3分の2で10日分の貯蔵 支燃性
酸素マニホールド (予備)：	7 m ³ ボンベ16本1バンク×2 1日使用量貯蔵 支燃性
亜酸化窒素マニホールド：	7 m ³ ボンベ4本1バンク×2 支燃性
窒素マニホールド：	7 m ³ ボンベ8本1バンク×2
圧縮空気：	圧縮ポンプ2基により供給 (1基はバックアップ)

各種医療ガス配管に元栓シャットオフバルブと各階・各部署に末端シャットオフバルブを配置。北棟講堂及びホスピタルプロムナードにも医ガス供給設備を設置済。

7-2 緊急時の対処

7-2-1 医療ガスが健全供給されている場合

- ・ 地震発生後、防災センター職員は速やかにガス漏れの有無を調査し、ガス漏れを発見した場合は災害対策本部長の指揮のもとシャットオフバルブを閉め、使用を中止し（ガス供給会社）へ連絡し速やかにガス配管修繕にとりかかる。

7-2-2 医療ガス配管が断絶している場合

- ・ 防災センター職員は速やかにガス漏れの有無を調査し、配管断絶箇所の特定を行う。
- ・ 配管断絶箇所が特定後、断絶箇所より中枢箇所の末端シャットオフバルブを災害対策本部長の指示により当該部署職員及び防災センター専任職員によって閉鎖する。

※シャットオフバルブを閉じる場合、末端のアウトレットより酸素供給している患者がいらないか十分確認後操作すること。

- ・ CE システム（液化酸素供給装置）に異常があり酸素供給を継続できない場合で酸素による何らかの危害が想定される場合は災害対策本部長の指示で医療ガス専任職員によって主シャットオフバルブを閉じる。

※シャットオフバルブを閉じる場合、末端のアウトレットより酸素供給している患者がいらないか十分確認後操作すること。

- ・ CE システム（液化酸素供給装置）に異常があり CE システムによって酸素供給を継続できない場合、酸素配管に異常がない事を確認後、酸素ボンベマニホールドによって酸素配管による酸素供給を行う。ただし使用容量は1日分である。
- ・ 手術室部署責任者は災害対策本部の指示のもと速やかに亜酸化窒素末端シャットオフバルブを閉じる。

7-2-3 医療ガス断絶時の人工呼吸療法

- ・ 酸素配管断絶時：圧縮空気のみで機器動作可能、ただし酸素濃度は大気圧の21%以上より設定できない。
- ・ 圧縮空気配管断絶時：動作可能台数7台、内1台のみ酸素濃度調節可能。

7-2-4 医療ガス断絶時の応援依頼

- ・ 被災後災害対策本部はただちに医療ガス応援依頼を要請する。

液体酸素・酸素ボンベ

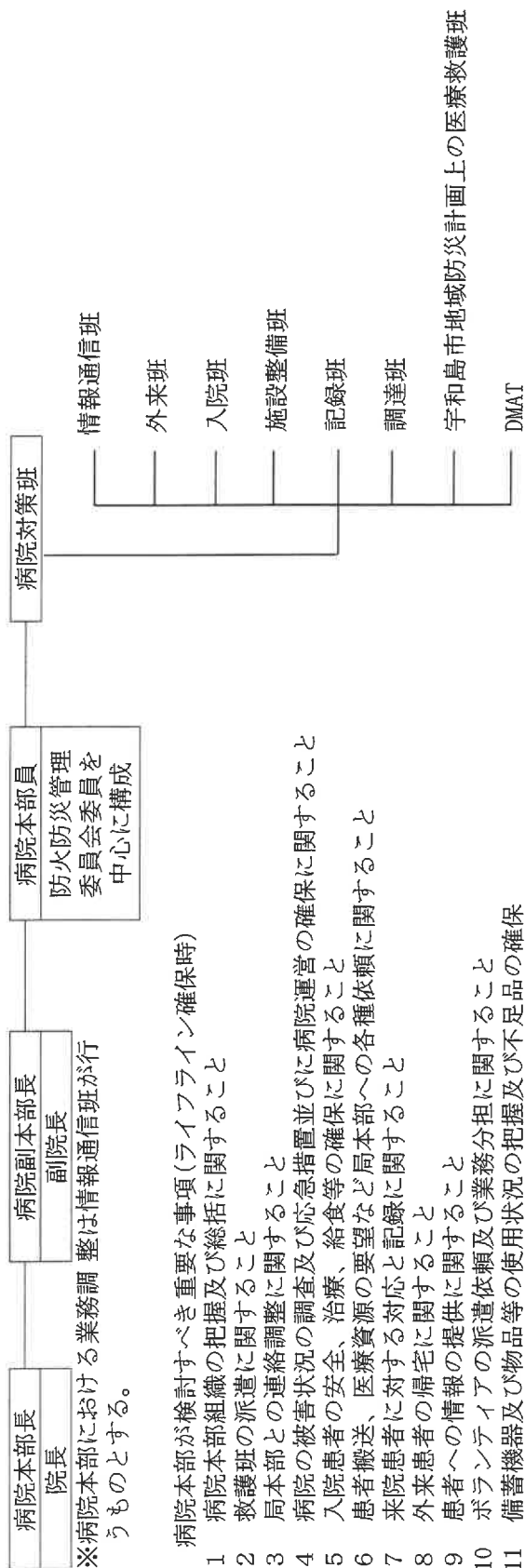
緊急時連絡先

長谷川酸素株式会社

愛媛県宇和島市伊吹町甲1428 電話 0895-22-5432

災害発生時には「防火防災管理委員会」が「病院本部」の主体となる

① 災害時組織図



※病院本部における業務調整は情報通信班が行うものとする。

②-1 病院本部が検討すべき重要な事項(ライフライン確保時)

- 1 病院本部組織の把握及び総括に関すること
- 2 救護班の派遣に関すること
- 3 局本部との連絡調整に関すること
- 4 病院の被害状況の調査及び応急措置並びに病院運営の確保に関すること
- 5 入院患者の安全、治療、給食等の確保に関すること
- 6 患者搬送、医療資源の要望など局本部への各種依頼に関すること
- 7 来院患者に対する対応と記録に関すること
- 8 外来患者の帰宅に関すること
- 9 患者への情報の提供に関すること
- 10 ボランティアの派遣依頼及び業務分担に関すること
- 11 備蓄機器及び物品等の使用状況の把握及び不足品の確保

②-2 病院本部が検討すべき重要な事項(ライフライン喪失時)

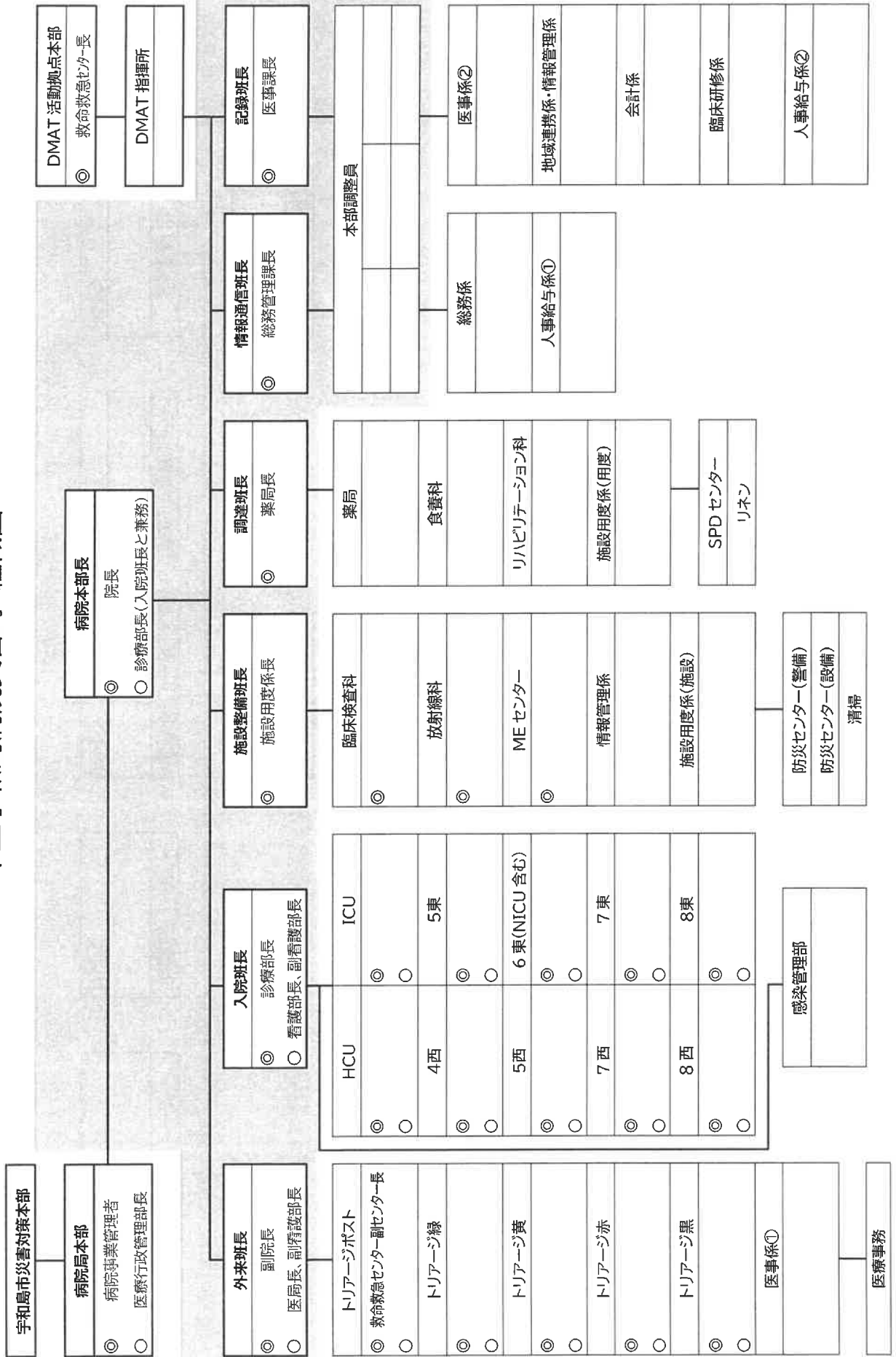
- 1 病院本部組織の把握及び総括に関すること
- 2 局本部との連絡調整に関すること
- 3 病院の被害状況の調査及び応急措置
- 4 入院患者の安全確保および避難に関すること
- 5 患者搬送、医療資源の要望など局本部への各種依頼に関すること
- 6 来院患者に対する対応と記録に関すること
- 7 外来患者の帰宅に関すること
- 8 備蓄機器及び物品等の使用状況の把握及び不足品の確保

病院対策班の構成員及び任務

班 名	構 成 員		任 務
	◎班長・○副班長	班 員	
情報通信班	◎総務管理課長	総務管理課職員 総務係 人事給与係（人事） ※DMAT 事務局員は除く	1. 各班の要員の確保 2. 職員の配置 3. 各班の業務の調整 4. 通信手段の確保 5. 院内の状況収集と把握 6. 局本部との連絡調整 7. 病院内部署への伝達 8. 職員の安否確認調査 9. 他の班に属さない事務
外来班	◎副院長 ○医局長 ○副看護部長	医局員 外来統括看護師長 救命救急センター 看護師長 外来看護師 救急外来看護師 救命救急センター 看護師 手術室看護師長 手術室看護師 医事課職員 医事業務委託職員	1. トリアージ場所（救急受付）の設置 2. 応急救護所の設置 3. 緊急ベッド（ストレッチャー）の設置 4. 遺体安置所の確保 5. ボランティアの受付、配置 6. 患者誘導サインの設置 7. 患者誘導業務 8. 外来患者のトリアージ 9. 外来患者の治療 10. 外来患者の移送 11. 外来患者の検査及びX線撮影
入院班	◎診療部長 ○看護部長 ○副看護部長	医局員（病棟責任医師） 病棟看護師長 病棟看護師	1. 入院患者の治療 2. 入院患者用のベッドの確保 3. 入院患者の移送検討 4. 入院患者の検査及びX線撮影
施設整備班	◎総務管理課 施設用度係長	総務管理課職員 施設班 臨床検査科職員 放射線科職員 MEセンター職員 設備管理委託職員 警備・清掃業務委託職員 医局員（放射線科）	1. 施設・設備の点検整備 2. 施設・整備の保守管理業者への連絡 3. 施設・設備の代替機能の確保 4. ライフラインの復旧及び代替の確保 5. 臨床検査科に係る機器の点検整備 6. 放射線科に係る機器の点検整備 7. 各所属の医療用機器の点検整備 8. 放射性物質の管理区域の設定 9. 放射性物質の管理 10. 災害対策マニュアル（放射線）による対応
		医事課職員 情報管理係	⇒電子カルテシステムの稼働確認 （トリアージエリア内）

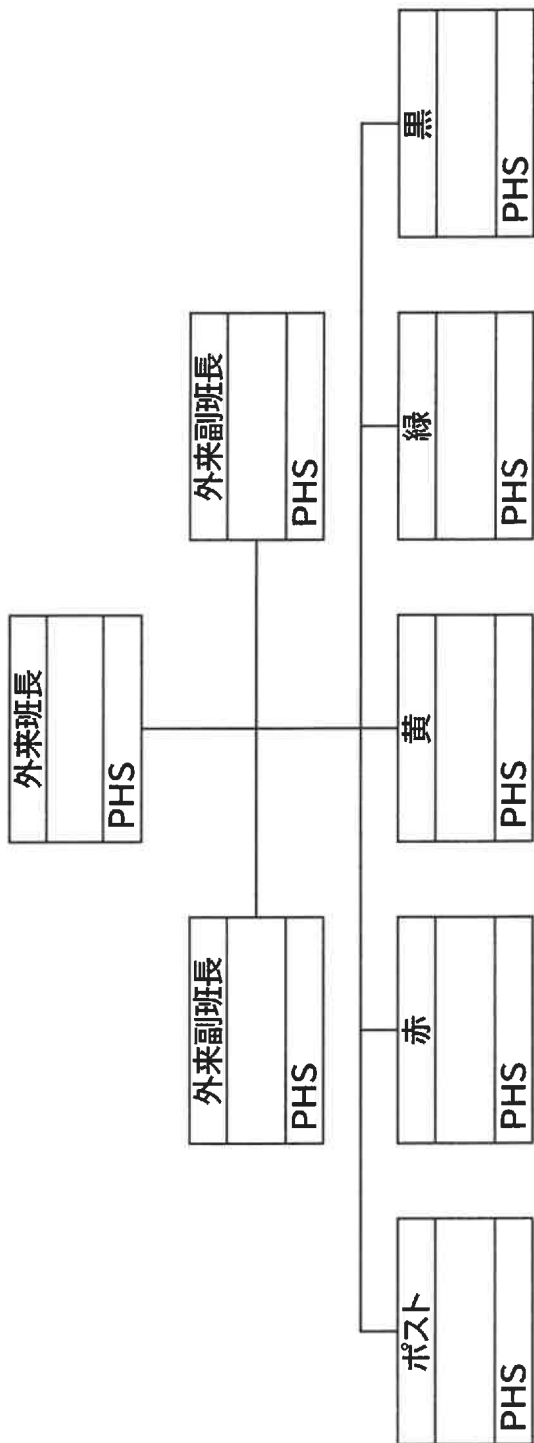
班 名	構 成 員		任 務
	◎班長・○副班長	班 員	
記録班	◎医事課長	総務管理課職員 会計係 臨床研修係 人事給与係（給与） 医事課職員 医事係 地域連携係 情報管理係	1. 災害に関する情報の記録 2. 施設の被害状況の記録 3. 施設の復旧情報の記録 4. 本部長や各班班長からの指示・報告情報の記録 5. その他必要な情報の記録
調達班	◎薬局長	総務管理課職員 用度班 薬局職員 食養科職員 リハビリ職員 SPD 業務委託職員 リネン委託業務職員	1. 医薬品、衛生材料、医療器材の調達 2. 災害救護用品、事務用品の調達 3. 血液の確保及び保管 4. 緊急用カルテ、白衣等被服の調達 5. 入院患者の食料品の調達 6. 入院患者の飲料水の調達 7. 職員の食料、飲料水等の調達 8. 食器の確保 9. 入院患者への給食、調理、配膳
救護班	医師 1 名+看護師 2 名+ロジ 1 名のチームを 4 班基本的に 14 日以内とする。		1. 救護班における傷病（程度）の判定 2. 医療機関への転送の要否及び順位の設定 3. 重傷者の応急処置、中等傷者の処置 4. 転送困難な傷病者及び軽傷者の治療 5. 助産 6. 記録及び市本部への報告
DMAT	DMAT 隊長	DMAT 隊員	1. 県又は国の要請による災害現場への派遣 2. 他病院 DMAT の受入及び連絡調整 3. 病院局本部の活動を補佐（可能な範囲）

市立宇和島病院災害時組織図



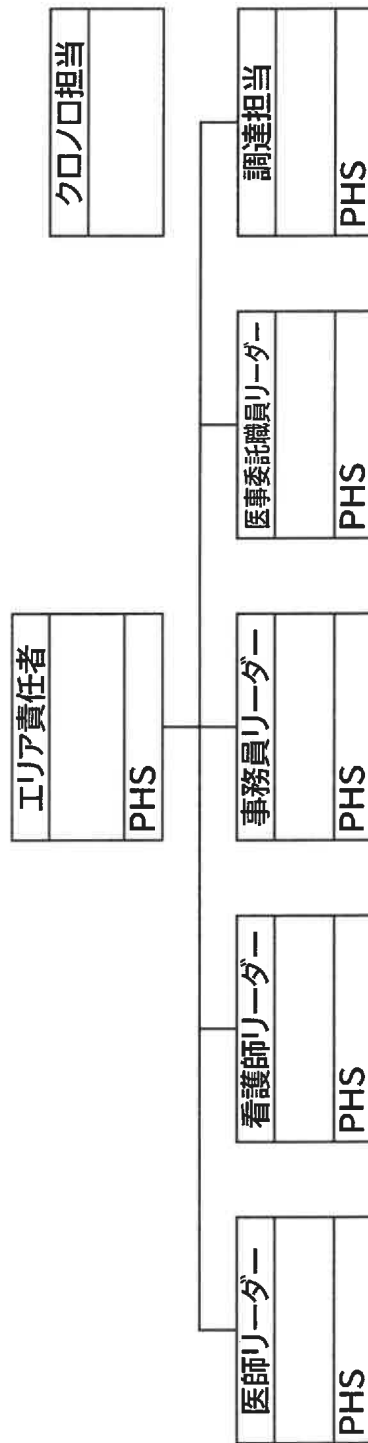
外来班組織図

※災害診療準備命令後に情報通信班から配布されるリストを転記し作成

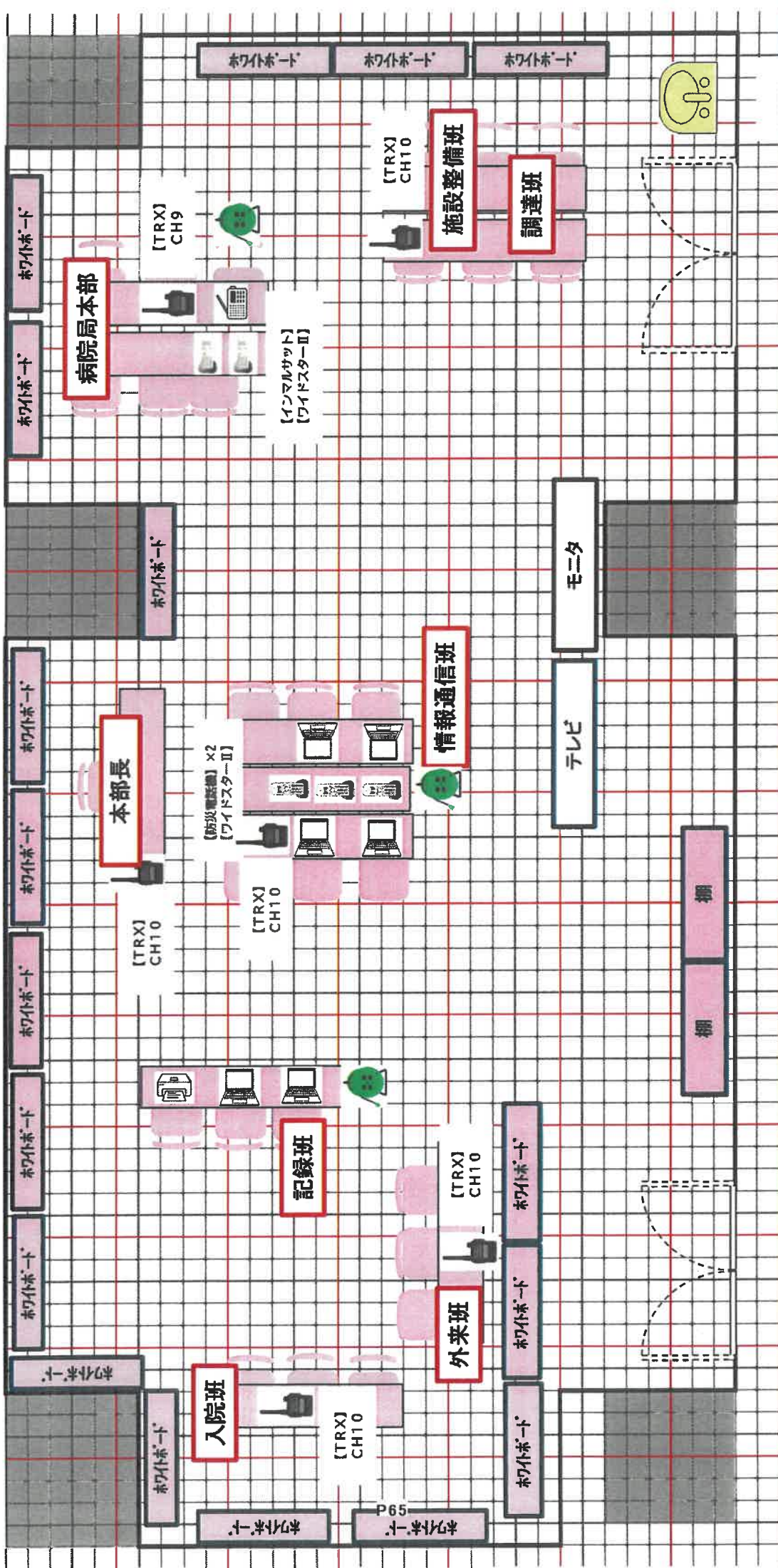


外来班トリージ()エリア組織図

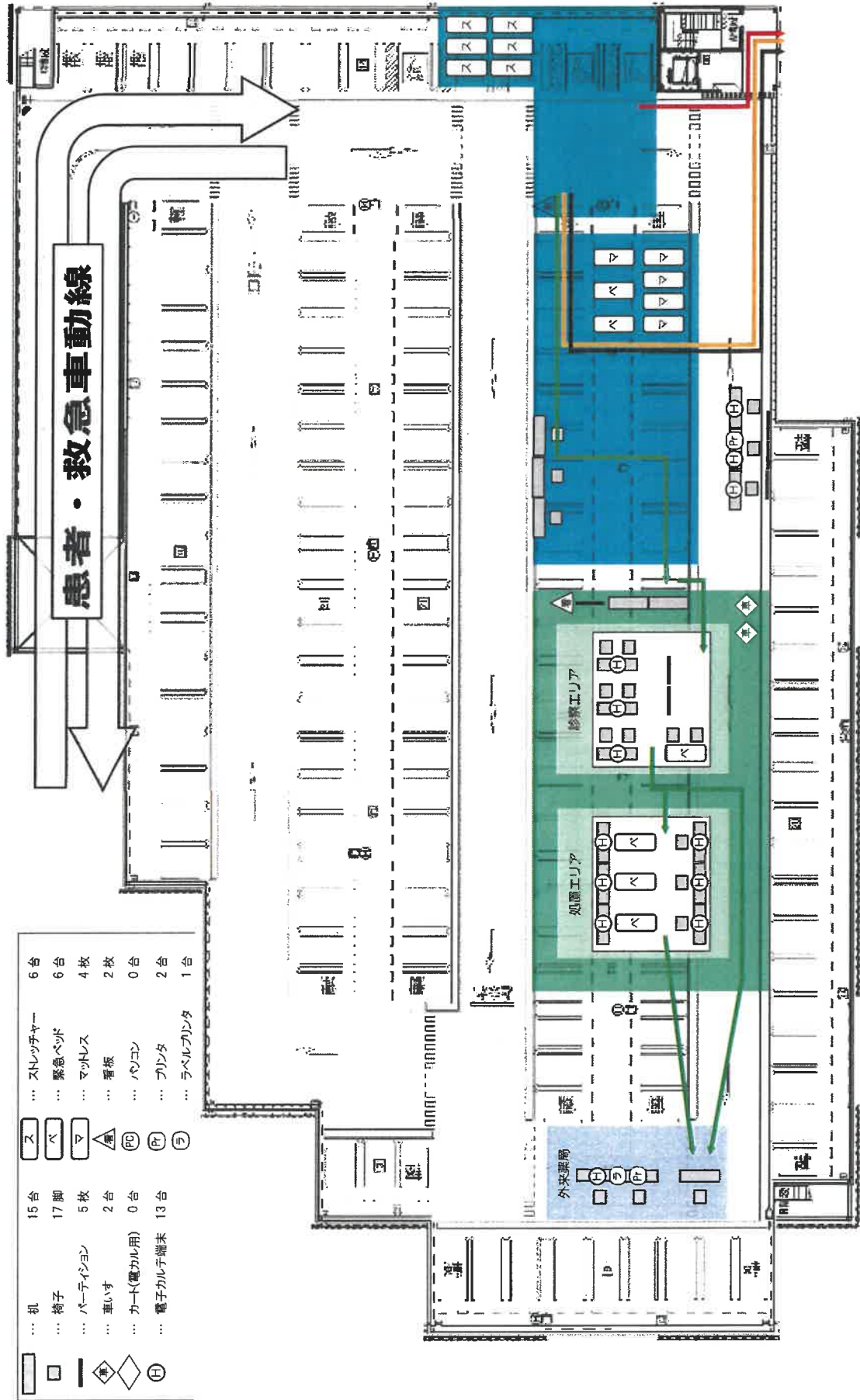
※エリア設営時にエリア責任者を中心に作成



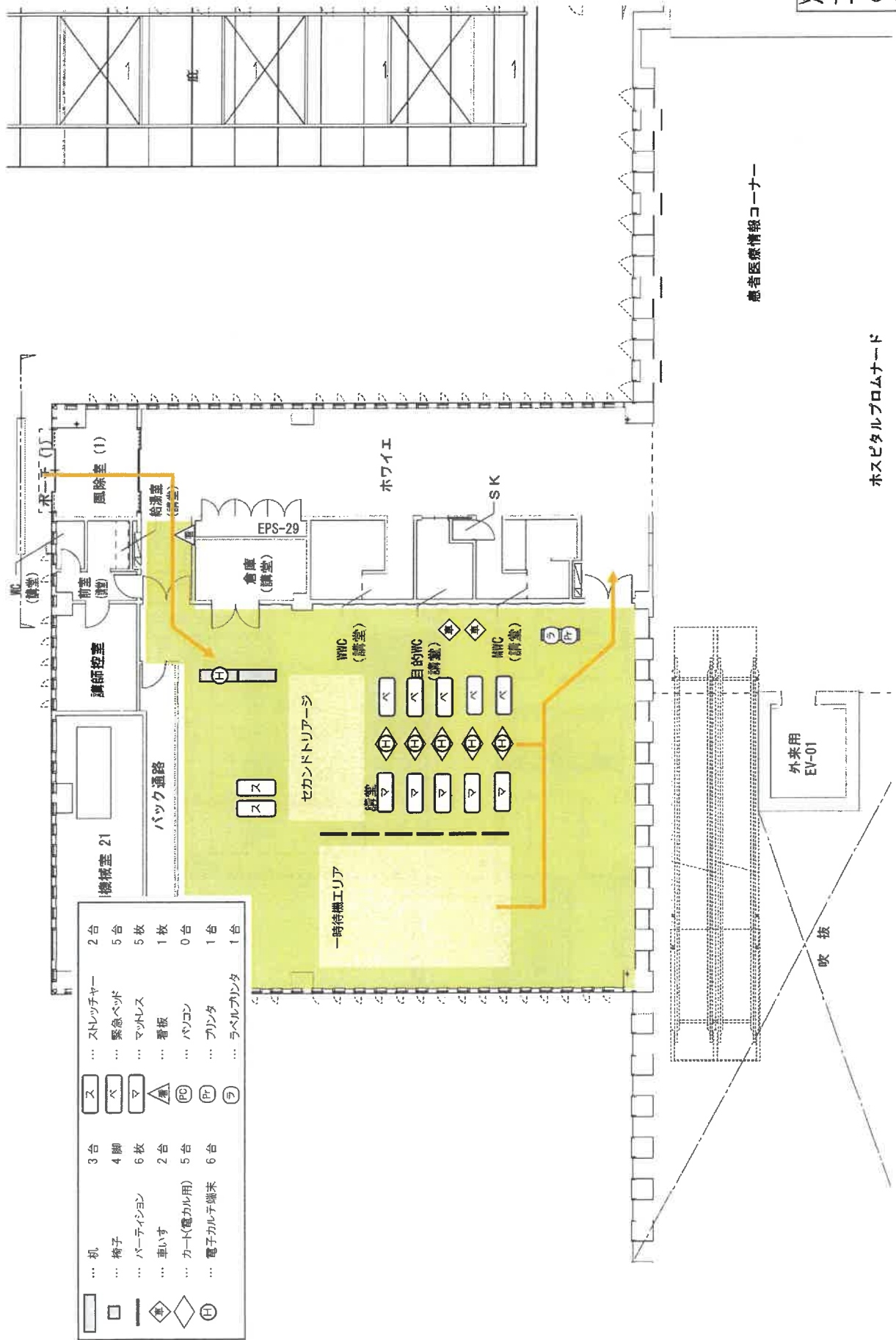
災害対策本部レイアウト図



トリアージポスト・緑 エリア図(立体駐車場使用の場合)



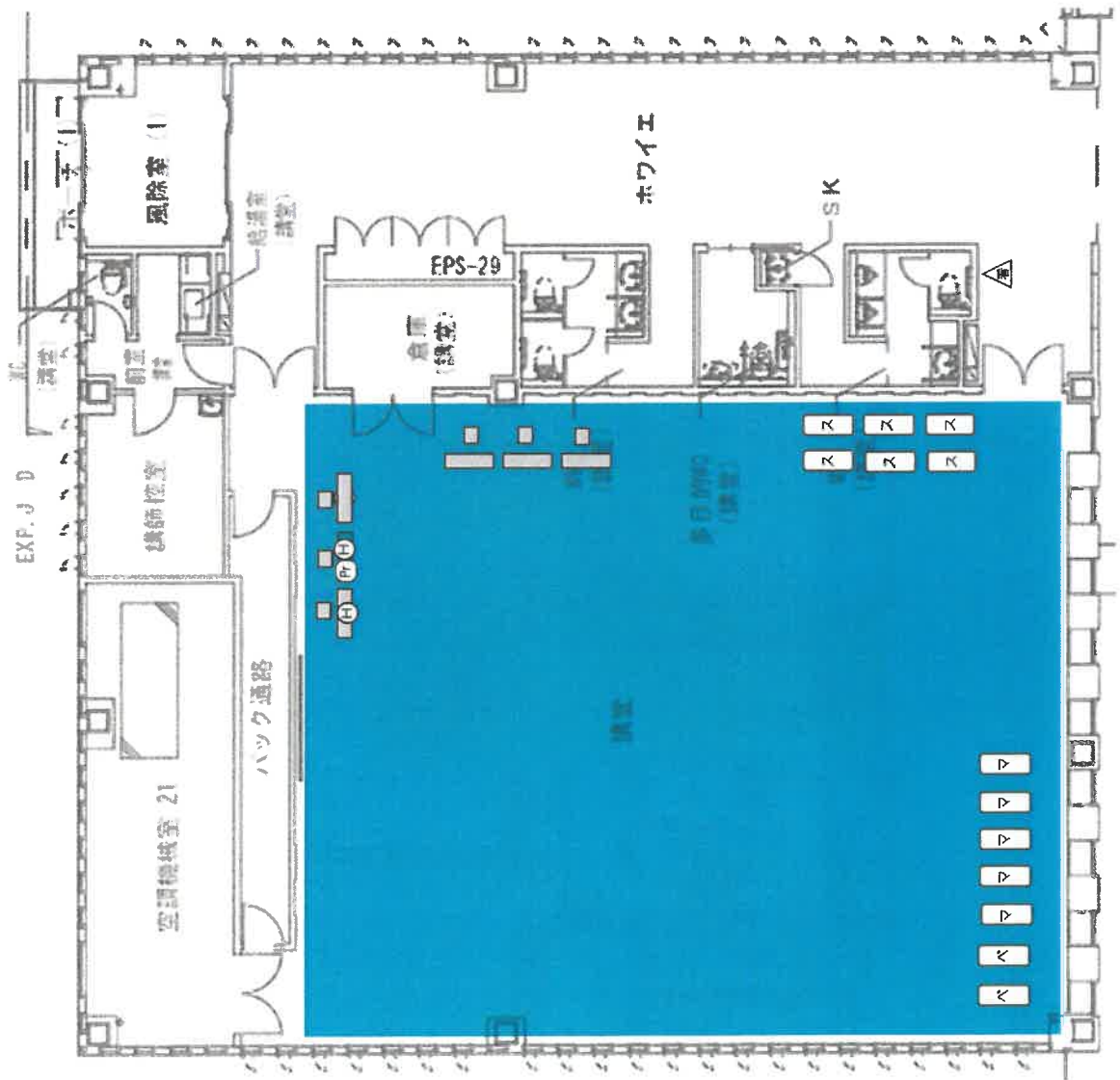
トリアージ黄 エリア図(ポスト等、立体駐車場使用の場合)



トリアージエリア図(立体駐車場不使用の場合) ※赤、黒、入院薬局、遺体安置場所の場所は変更なし



トリージポスト エリア図(立体駐車場不使用の場合)

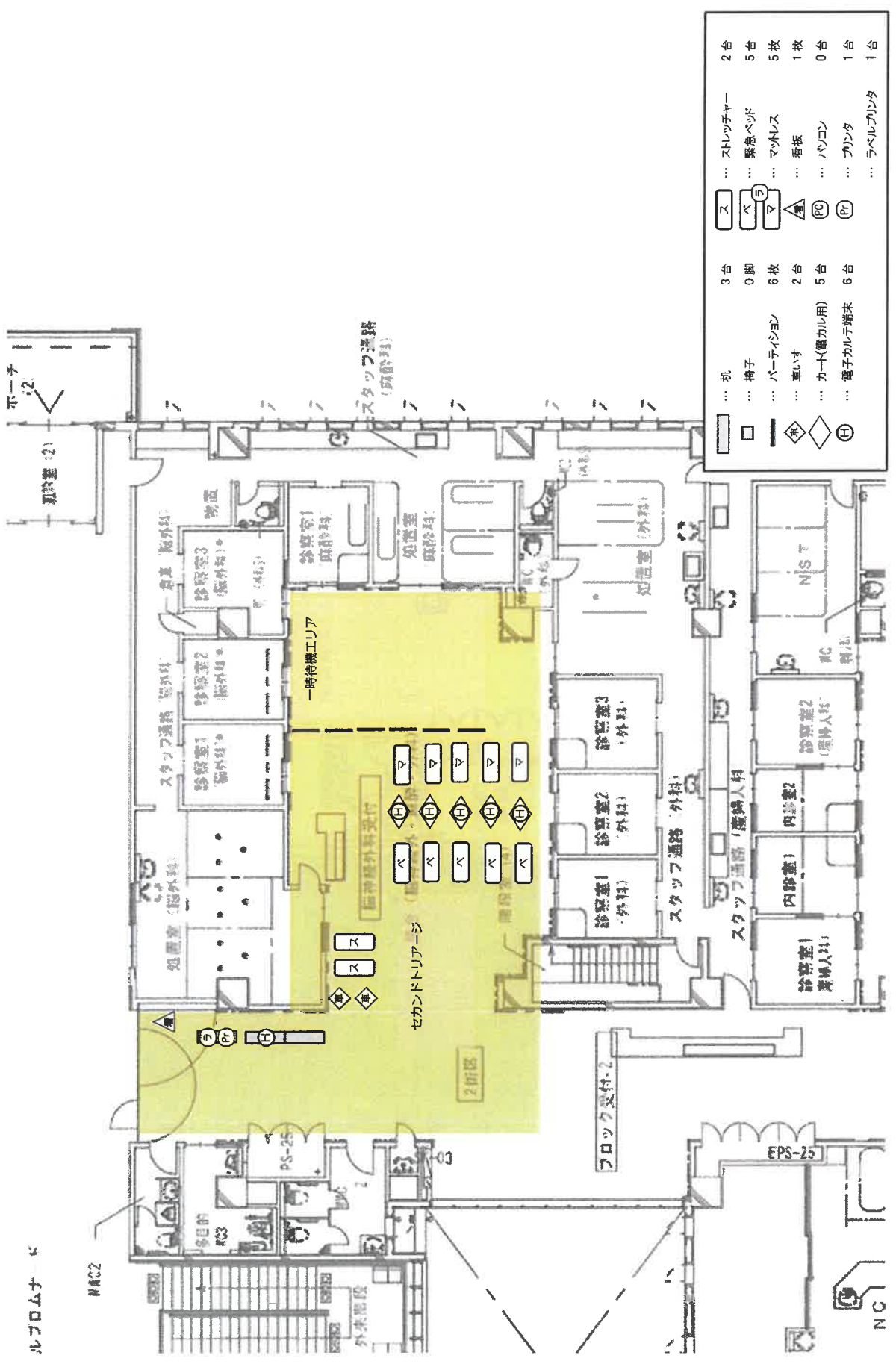


資料 7-2

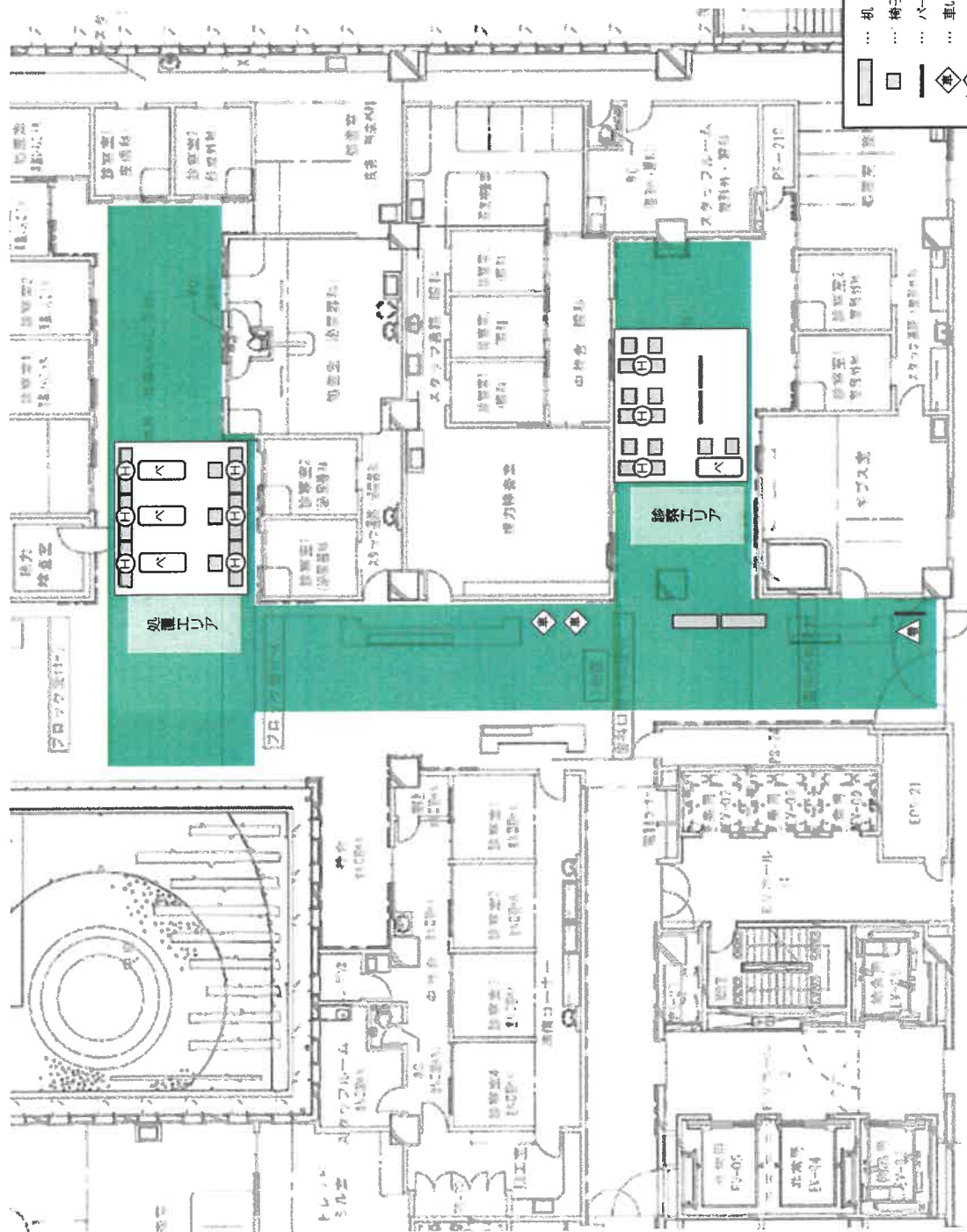
机	6台	ス	ストレッチャー	6台
椅子	6脚	ク	緊急ベッド	2台
パーテーション	0枚	マ	マットレス	5枚
車いす	0台	▲	看板	1枚
カード(電カル用)	0台	PC	パソコン	0台
電子カルテ端末	3台	Pr	プリンタ	1台

ラベルプリンタ 1台

トリアージ黄 エリア図(立体駐車場不使用の場合)



トリアージ緑 エリア図(立体駐車場不使用の場合)

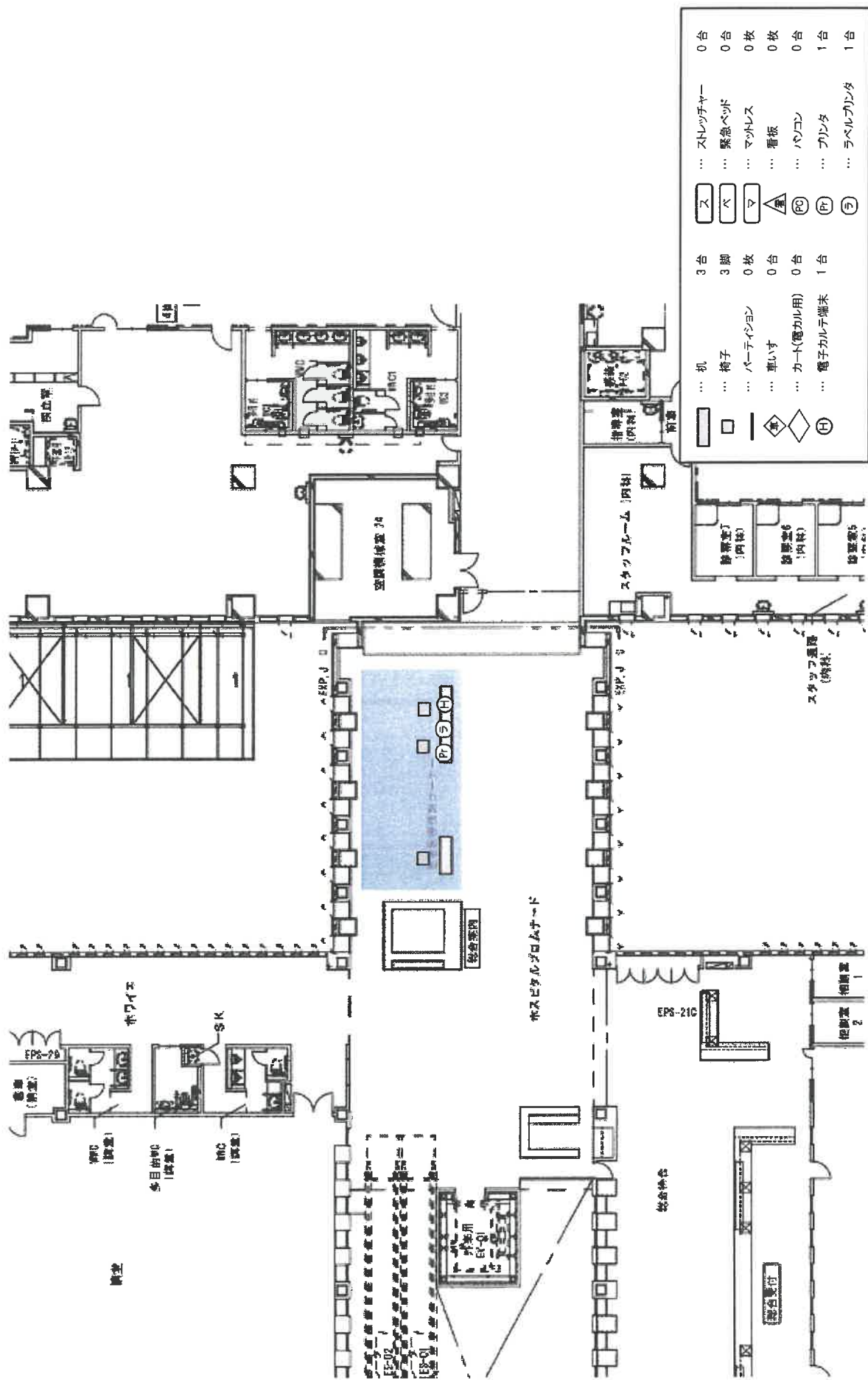


資料 7-4

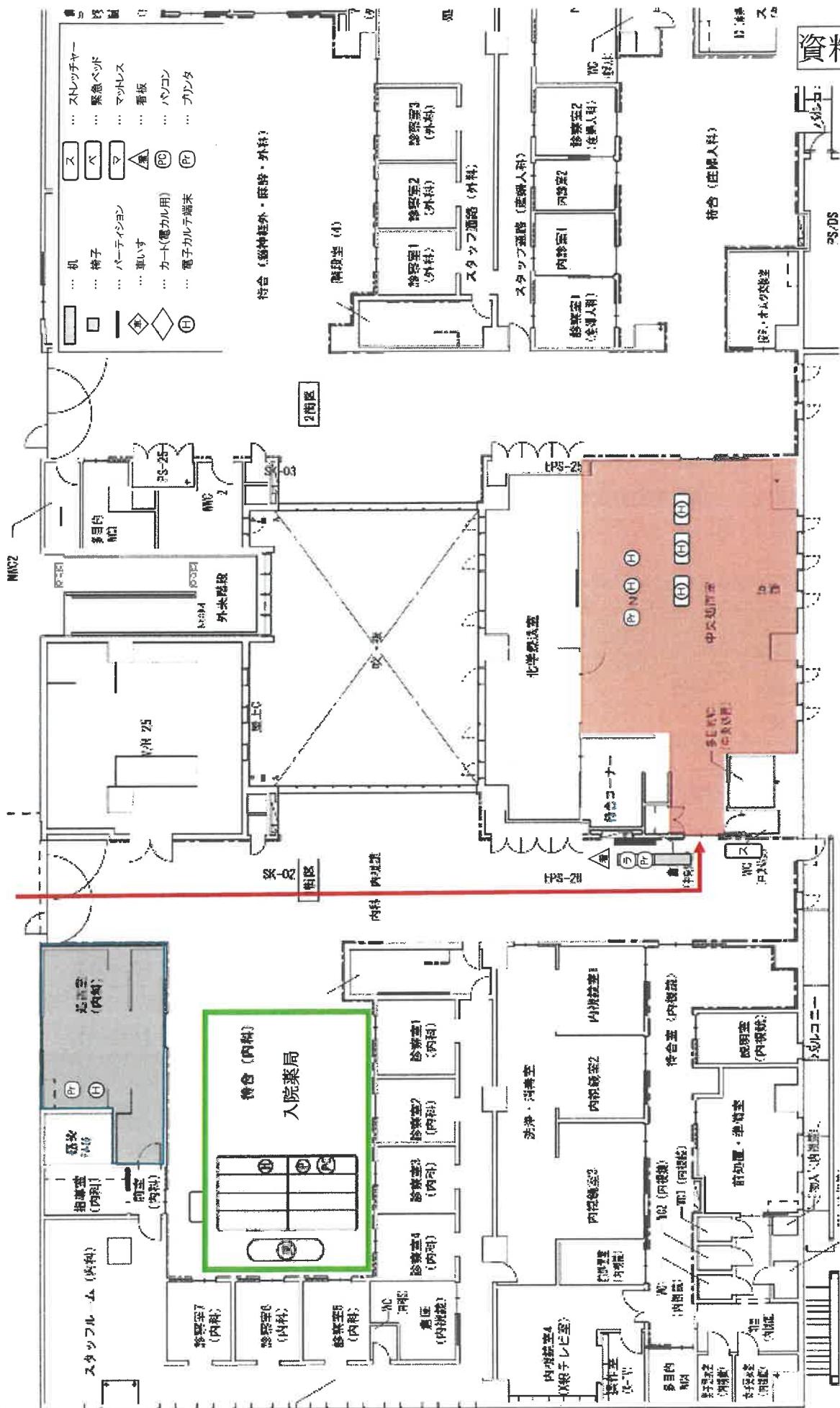
...	机	9台	...	スリッパ	0台
...	椅子	11脚	...	緊急ペッド	4台
...	パーテーション	3枚	...	マッドレス	0枚
...	車いす	2台	...	看板	1枚
...	カー(電カル用)	0台	...	パソコン	0台
...	電子カルテ端末	9台	...	プリンタ	0台

... ラベルプリンタ 1台

外来薬局 エリア図(立体駐車場不使用の場合)



トリアージ赤・黒・入院薬局 エリア図



○災害レベル別参集職員一覧

災害レベル (地震震度)	参集職員	参集方法	参集場所
1(5弱)	病院本部員 総務管理課(正規)職員 医事課(正規)職員	自主参集	エネルギーセンター2階 災害対策本部室
2(5強)	病院本部員 各科科長 全看護師長 総務管理課(正規)職員 医事課(正規)職員	時間内…院内放送 時間外…連絡網	
3(6弱以上)	委託職員を含む全職員	自主参集	北棟講堂

○災害レベル別外来診療体制等一覧

災害レベル (地震震度)	外来診療	予定手術	入院患者
1(5弱)	続行	延期	入院継続
2(5強)	中止		
3(6弱以上)			退院を検討

※外来診療体制等は、圏域の被災状況、設備状況、職員参集状況等を考慮の上、本部長が決定する。

○本部長リスト

病院本部			病院局本部
院長 【51005】	診療部長 【51006】	副院長 【51007】	事業管理者 【51001】
看護部長 【51085】	医局長 【51029】	副看護部長 【51086、51131】	医療行政管理部長 【51288】
薬局長 【50264】	総務管理課長 【51294】	医事課長 【51289】	災害医療 Co
総務管理課長補佐 【50329、50297、 50459、21048】	総務管理課施設用度係長 【51290】		救命救急センター長 【51027】

◆職員参集後の流れ

- ①講堂前面に掲示される「所属班」の確認
↓
②ホワイトボードの名札の移動
↓
③各班別参集場所へ参集
↓
④各所で災害診療準備

◆職員参集後の班別参集場所

所属班	参集場所
本部	エネルギーセンター2階災害対策本部室
情報通信班	エネルギーセンター2階災害対策本部室
外来班	各エリア ※男性職員はまず車の移動及びテントの設営を行う
入院班	各病棟
施設整備班	医事課
記録班	エネルギーセンター2階災害対策本部室
調達班	総合案内 → 各エリア

◆所属班(医師)

職種	役職・診療科	所属班	
医師	院長、副院長、医局長	災害対策本部	
	DMAT 隊員	DMAT	
	救命救急センター副センター長	外来班(トリアージポスト)	
	病棟責任医師	入院班(各病棟)	
	放射線科医師(1名)	施設整備班(放射性物質担当)	
	上記以外の職員は下記のとおり		
	循環器内科	外来班(トリアージ赤)	
	呼吸器内科		
	消化器内科		
	外科		
	肝胆膵外科		
	呼吸器外科		
	心臓血管外科		
	整形外科		
	脳神経外科		
	形成外科		
	麻酔科	外来班(トリアージ黄)	
	血液内科		
	内分泌内科		
	乳腺外科		
	小児科		
	産婦人科		
	泌尿器科	外来班(トリアージ緑)	
眼科			
耳鼻いんこう科			
皮膚科			
歯科口腔外科			
放射線科	外来班(トリアージ黒)		
臨床検査科・病理診断科			
研修医	研修中の診療科の所属班(上記のとおり)		

◆所属班(看護師)

職種	部署名		所属班	
看護師	病棟	勤務中 応援	各病棟 外来班(トリアージポスト)	
		手術室	必要人数 それ以外	手術室 外来班(トリアージポスト)
			透析室	必要人数 それ以外
	外来	放射線科	外来班(トリアージポスト)	
		救急外来	外来班(トリアージ赤)	
		内科		
		中央処置室		
		外科		
		脳神経外科		
		整形外科	外来班(トリアージ黄)	
		泌尿器科		
		小児科		
		産婦人科		
		内視鏡室	外来班(トリアージ緑)	
		皮膚科		
		歯科口腔外科		
		耳鼻いんこう科		
		眼科		

職員参集時、講堂前面に貼付する資料

◆所属班(医療技術員、事務員、委託職員)

職種	部署名		所属班
医療技術員	薬局		調達班
	食養科		
	リハビリテーション科		
	放射線科		施設整備班
	臨床検査科		
	ME センター		
事務員	総務管理課	総務係	情報通信班
		人事給与係(人事班)	
		人事給与係(給与班)	記録班
		会計係	
		臨床研修係	
		施設用度係(施設班)	施設整備班
		施設用度係(用度班)	調達班
	医事課	医事係	外来班
		地域連携係	→参集後、所属長の元へ 記録班
		情報管理係	→本部参集時、記録班長が指名 施設整備班 →参集後、所属長の元へ
	委託職員	医事業務	
設備管理		施設整備班	
警備業務			
清掃業務			
リネン業務		調達班	
SPD 業務			

医師班振分け表

班	エリア	担当者
DMAT	—	DMAT 隊員
施設整備班	放射性物質担当	放射線科医師 1 名
入院班 (各病棟責任医師)	ICU	仙波和記
	HCU	大島清孝
	4 西 (整形外科)	藤田勝
	5 東 (脳神経外科)	工田大介
	5 西 (消化器内科・糖尿病内科)	山内一彦
	6 東 (産婦人科・小児科)	濱村正樹
	7 東 (循環器内科)	坂尾寿彦
	7 西 (外科・泌尿器科)	今井良典
	8 東 (血液内科・呼吸器内科)	鹿田久治
8 西 (耳鼻いんこう科・眼科)	吉田正	
外来班	ポスト 班長	救命救急副センター長
	班員 ※目安 1 名	
	黒 班長	
	班員 ※目安 1 名	臨床検査科、病理診断科
	赤 班長	
	班員 ※赤・黄・ 緑で振分け	循環器内科、呼吸器内科、 消化器内科、外科、肝胆膵 外科、呼吸器外科、心臓血 管外科、整形外科、脳神経 外科、形成外科、麻酔科
	黄 班長	
班員 ※赤・黄・ 緑で振分け	血液内科、内分泌内科、乳 腺外科、小児科、産婦人 科、泌尿器科	
緑 班長		
班員 ※赤・黄・ 緑で振分け	皮膚科、耳鼻いんこう科、眼科、小 児科、産婦人科、放射線科	

【参考 (班長経験者)】

- ・ポスト： 大島清孝
仙波和記
- ・黒： 松影昭一
中西護
- ・赤： 中村太郎
坂尾寿彦
竹本大二郎
- ・黄： 岡明博
岡田憲三
- ・緑： 薬師寺直喜
吉田正

医事課職員振分け表 (職員参集後、医事課長、医事業務委託責任者が振分け)

- ◆ 留意事項
- ※ 下記人数を目安として職員を振り分ける。
- ※ 可能な限り、経験のある班に振り分ける。

	班名	目安人数	氏名	
課長	記録班【班長】	1		
	記録班	2		
医事係 地域連携係	外来班(ポスト)	10		
	外来班(赤)	5		
	外来班(黄)	4		
	外来班(緑)	4		
	外来班(黒)	1		
	情報管理係	施設整備班	2	
	医事業務 委託職員	外来班(ポスト)	12	
外来班(赤)		4		
外来班(黄)		3		
外来班(緑)		2		

関係機関の電話番号等

機関名称	電話番号	電話種別等	FAX 番号
【病院局関係】			
市立宇和島病院	(0895)25-1111	代表番号	(0895)25-5334 [総務管理課]
	(0895)25-1132	災害時優先電話 [総務管理課内]	
	(0895)25-1143	災害時優先電話 [防災センター内]	
	(0895)25-2360	災害時優先電話 [電話交換室内]	
	870-772580200	衛星電話 (インマルサット)	(0895)25-1126 [医事課]
	080-2971-3065	衛星電話 (ワイドスター II)	
	870-772580236	衛星電話※DMAT 用 (インマルサット)	
	8816-51469155	衛星電話※DMAT 用 (イリジウム)	
吉田病院	(0895)52-0611	代表番号	(0895)52-3000
	773420	IP 電話(事務局長室)	
	774589	IP 電話(事務局長補佐席)	
津島病院	(0895)32-2011	代表番号	(0895)32-2493
	774812	IP 電話(事務局長室)	
	774982	IP 電話(事務局長補佐席)	
オレンジ荘 (吉田町)	(0895)52-3151	代表番号	(0895)52-4386
	774590	IP 電話(事務所)	
ふれあい荘 (津島町)	(0895)20-8008	代表番号	(0895)32-5566
	774987	IP 電話(事務所)	

機関名称	電話番号	電話種別等	FAX 番号
------	------	-------	--------

【市役所関係】

宇和島市役所	(0895)24-1111	代表番号	
宇和島市 (危機管理課)	(0895)24-6094	災害時優先電話 (危機管理課内)	(0895)24-6094
	(0895)24-1121	災害時優先電話 (市長公室内)	
	(0895)24-1905	災害時優先電話 (企画課内)	
	(0895)49-7006	ダイヤルイン	
	(0895)49-7083	ダイヤルイン	
	772487	IP 電話	
	772429	IP 電話	
	772450	IP 電話	
	8816-4145-9545	衛星電話 (イリジウム)	
870-776304674	衛星電話※原子力防災 (インマルサット) (丸山クラブハウス配備)		
宇和島市 (保険健康課)	(0895)49-7021	ダイヤルイン	(0895)24-1124

【県関係】

愛媛県庁	(089)941-2111	代表番号	-
愛媛県 (医療対策課/ 医療機関係)	(089)912-2450	ダイヤルイン	(089)921-8004
	(089)912-2445	ダイヤルイン	
	080-2973-6104	衛星電話 (ワイドスター II)	
	870-776397744	衛星電話 (インマルサット)	
愛媛県 (薬務衛生課/薬事係)	(089)912-2391	ダイヤルイン	(089)912-2389
	(089)912-2390	ダイヤルイン	
愛媛県 (消防防災安全課/ 消防係)	(089)912-2316	ダイヤルイン	(089)941-0119
	(089)933-2934	ダイヤルイン	

機関名称	電話番号	電話種別等	FAX 番号
愛媛県 (消防防災安全課/ 防災航空事務所)	(089)912-5202	ダイヤルイン	(089)972-3655
	(089)972-2133	ダイヤルイン	
愛媛県 (防災危機管理課/ 防災企画係)	(089)912-2317	ダイヤルイン	(089)941-2160
	(089)912-2335	ダイヤルイン	

【保健所】

宇和島保健所 (企画課/企画情報 G)	(0895)22-5211	代表番号	(0895)24-6806
	(0895)22-5737	ダイヤルイン	
	(0895)22-6105	ダイヤルイン	
	(0895)22-5735	災害時優先電話	
	080-2851-0460	衛星電話 (ワイドスター II)	

【警察関係】

愛媛県警察本部	(089)934-0110	代表番号	-
	090-7788-2581	衛星電話 (ワイドスター II)	
宇和島警察署	(0895)22-0110	代表番号	(0895)22-0110

【消防関係】

宇和島地区広域事務組合 消防本部(警防課)	(0895)22-7500	代表番号/ 災害時優先電話	(0895)24-7662
	870-776397740	衛星電話 (インマルサット)	

【ライフライン関係】

四国電力(株)宇和島営業所	(0895)22-4733	代表番号	-
	0120-459-272	大規模災害時の停電情報	
NTT ビジネスソリューションズ株式会社四国支店 南予営業支店	(0895)20-1041	代表番号	-
四国ガス宇和島支店	(0895)22-4650	代表番号	(0895)22-4651
宇和島市水道局	(0895)22-5265	代表番号	(0895)23-2994

機関名称	電話番号	電話種別等	FAX 番号
------	------	-------	--------

【医師会関係など】

愛媛県医師会	(089)943-7582	代表番号	(089)933-1465
	080-2851-1599	衛星電話 (ワイドスターⅡ)	
	080-2851-1600	衛星電話 (ワイドスターⅡ)	
	080-2851-1601	衛星電話 (ワイドスターⅡ)	
	080-2851-1602	衛星電話 (ワイドスターⅡ)	
	080-2851-1607	衛星電話 (ワイドスターⅡ)	
	080-2851-1616	衛星電話 (ワイドスターⅡ)	

宇和島医師会	(0895)22-0161	代表番号	(0895)25-8382
	080-2851-1598	衛星電話 (ワイドスターⅡ)	
	(0895)24-4044	災害時優先電話	
愛媛県歯科医師会	(089)933-4371	代表番号	(089)932-5048
	080-2851-1613	衛星電話 (ワイドスターⅡ)	
宇和島歯科医師会	-	事務所がないため会長宅が 連絡先	-
愛媛県薬剤師会	(089)941-4165	代表番号	(089)921-5353
	080-2851-1603	衛星電話 (ワイドスターⅡ)	
愛媛県薬剤師会 宇和島市支部	(0895)26-6420 (0895)28-6669	事務所(午前中のみ) 支部長(明倫薬局)	-
愛媛県看護協会	(089)923-1287	代表番号	(089)926-7825
	080-2851-1604	衛星電話 (ワイドスターⅡ)	
愛媛県診療放射線技師会	(089)989-4941	代表番号	(089)989-4941
日本赤十字社愛媛県支部	(089)921-8603 (089)945-6792	代表番号	(089)932-9160
愛媛県医薬品卸業協会	(089)934-9510	代表番号	(089)934-6633
愛媛県赤十字血液センター	(089)973-0700	代表番号	(089)971-3478

機関名称	電話番号	電話種別等	FAX 番号
------	------	-------	--------

【災害拠点病院:災害 Co 設置病院】

公立学校共済組合 四国中央病院	(0896) 58-3515	代表番号	(0896) 58-3464
県立新居浜病院	(0897) 43-6161	代表番号	(0897) 41-2900
県立今治病院	(0898) 32-7111	代表番号	(0898) 22-1398
県立中央病院	(089) 947-1111	代表番号	(089) 943-4136
松山赤十字病院	(089) 924-1111	代表番号	(089) 922-6892
愛媛大学医学部附属病院	(089) 964-5111	代表番号	(089) 960-5131
市立八幡浜総合病院	(0894) 22-3211	代表番号	(0894) 24-2563

【公立病院:災害 Co 設置病院】

西条市立周桑病院	(0898) 64-2630	代表番号	(0898) 65-5503
久万高原町立病院	(0892) 21-1120	代表番号	(0892) 21-1121
市立大洲病院	(0893) 24-2151	代表番号	(0893) 24-0036
西予市立西予市民病院	(0894) 62-1121	代表番号	(0894) 62-6160
鬼北町立北宇和病院	(0895) 45-3400	代表番号	(0895) 45-3284
県立南宇和病院	(0895) 72-1231	代表番号	(0895) 72-5552

【その他医療機関】

JCHO 宇和島病院	(0895) 22-5616	代表番号	(0895) 24-5838
	(0895) 22-5638	災害時優先電話	
	080-2977-9807	衛星電話 (ワイドスター II)	
宇和島徳州会病院	(0895) 22-2811	代表番号	(0895) 22-2777
	870-776735746	衛星電話 (インマルサット)	

放送原稿（情報通信班）

状況	放送場所	放送内容
発災直後 【大津波警報発令時】 ※発災後約3分	エネルギーセンター 4階防災センター	ただ今、大きな地震が発生し、宇和島市に「大津波警報」が発令されました。1階及び地下1階におられる方は、直ちに2階以上へ避難してください。職員は避難誘導をお願いします。
災害レベル決定後 ※発災後約5分	エネルギーセンター 4階防災センター	職員にお知らせいたします。先ほどの地震による災害対策本部を設置しますので、本部員は、エネルギーセンター2階災害対策本部室に参集してください。 院内のみなさまへお知らせいたします。先ほどの地震の震源地は【〇〇】、宇和島市の震度は【〇〇】です。現在職員が状況確認に努めております。入院中の患者さまは職員の指示に従い、ベッドから離れないようお願いいたします。そのほかの患者さま及びご家族の方は安全な場所での待機をお願いします。
情報通信班の目視による観測で避難が必要な場合 又は津波到達予想時刻が近づいた場合	エネルギーセンター 4階防災センター	ただ今、宇和島市に「大津波警報」が発令されており、当院に津波が到達する可能性があります。1階及び地下1階におられる方は、直ちに2階以上へ避難してください。 ※数分おきに繰り返し放送

放送原稿（情報通信班）

状況	放送場所	放送内容
職員参集命令後 【レベル3】	エネルギーセンター 4階防災センター	職員にお知らせいたします。先ほどの地震による災害診療体制等をお知らせしますので、職員は至急、北棟講堂へお集まりください。
職員参集命令後 【レベル2】	エネルギーセンター 4階防災センター	職員にお知らせいたします。先ほどの地震による災害診療体制等をお知らせしますので、各科科長、全看護師長、総務管理課及び医事課の正規職員、DMAT 隊員は至急、エネルギーセンター2階災害対策本部室へお集まりください。
職員参集命令後 【レベル1】	エネルギーセンター 4階防災センター	職員にお知らせいたします。先ほどの地震による災害診療体制等をお知らせしますので、総務管理課及び医事課の正規職員、DMAT の業務調整員はエネルギーセンター2階災害対策本部室へお集まりください。

放送原稿（情報通信班）

本部長の災害診療 <u>準備</u> 命令後	エネルギーセンター 4階防災センター	<p>院内のみなさまへお知らせいたします。先ほどの地震により当院は災害診療に移行します。外来診療は【中止・続行】、予定手術は【延期】、入院患者は【退院を検討・入院継続】と決定しました。職員の指示に従い、行動をお願いいたします。</p> <p>立体駐車場屋上に駐車している方は、お車の移動のため、至急お車までお戻りください。</p>
本部長の災害診療 <u>開始</u> 命令後	エネルギーセンター 4階防災センター	職員にお知らせいたします。これより災害診療を開始します。各エリア、災害診療患者の受け入れをお願いします。

放送原稿（施設整備班）

状況	放送場所	放送内容
ライフライン・設備等故障時	エネルギーセンター 4階防災センター	院内のみなさまへお知らせいたします。先ほどの地震により、【〇〇】が故障しております。安全が確認できるまで使用できませんので、ご注意ください。
ライフライン・設備等復旧時	エネルギーセンター 4階防災センター	院内のみなさまへお知らせいたします。故障しておりました【〇〇】が使用可能となりましたので、お知らせいたします。

災害診療準備命令原稿例

発生時間	①	_____ : _____	頃
震源	②	_____	
最大震度	③	_____	
病院浸水	④	なし「退院を検討」・あり「域外搬送」	

◆本部長◆

【① 時 分】頃、【② _____】を震源とする地震が発生し、宇和島市で最大震度【③ _____】を観測しました。（これに伴い、市内で津波被害も確認されています。）

今回の地震は、当院の災害対策マニュアルで「レベル3」にあたり、「外来診療は中止」、「予定手術の延期」、「入院患者は【④ _____】」、と判断したところです。

市内でも地震による被害が多数確認されており、被災患者が多数見込まれるため、当院は災害診療に移行します。

今後の動きについては別途説明があります。自身の安全確保に努めながら準備を進めてください。

◆情報通信班◆

これからの動きについて、まず医師以外について説明いたします。

所属が決まっていない「医事課・医事業務委託職員」については、所属長の元を集まって所属班・エリアを決定してください。

医師以外の、所属の決まった職員・決まっている職員は、ホワイトボードにある自分のプレートを所属する班の所に貼ってください。各班の班長は班員の確認をお願いします。

ホワイトボードにプレートを貼り終えた職員は、講堂前面に掲載しております班別参集場所へ参集し、各班の班長の指示に従ってください。

続いて、医師のこれからの動きについて説明いたします。

医師は、ホワイトボードにある自分のプレートを「医師班振分け表」の該当する箇所貼って入院班長、外来班長の近くで待機してください。入院班長と外来班長により、振分けの調整を行います。振分け完了後、入院班長と外来班長の指示で、講堂前面に掲載しております班別参集場所へ参集してください。

以上です。解散してください。

診療内容揭示例

○月○日○時に発生した地震に伴い、当院は下記診療内容で災害診療に移行しておりますので、ご了承ください。

災害診療内容

- ・ 外来診療 【中止・続行】
- ・ 予定手術 【延期】
- ・ 入院患者 【退院を検討・入院継続】

クロノロ記載 (例)

令和5年10月15日 (日) 院内対策本部クロノロ

時間	発	受	内容	対応確認	対応
8:50			震度7発生 本部設置		<p>いつ、どこから、どこへ、どのような情報が発生したかを時系列で記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施予定や確認中のようなものは、対応確認の欄に口を記載する。 実施や確認が行われたら、対応確認の口にチェック(☑)を入れ、その結果や時間を対応に記載する。必要に応じて、その対応報告もクロノロへ記載する。 別時間の記載へ矢印(→)を使用し、どの情報を参照するか記載すると情報が複雑化するため、どうしても参照する場合は、①、②等で参照箇所を示す。
9:00			防潮堤設置完了		
9:14		災害対策本部	ミーティング		
9:24		災害対策本部	患者7名を地下から2階へ移動		
9:24		災害対策本部	食事を地下から4階へ移動		
9:25		災害対策本部	津波を確認 →2回目の避難指示→09:30 院内放送予定 職員の安否確認メール送付予定	☑ 09:30 放送済 ☑ 09:40 送信済	
9:30		災害対策本部	停電中 (非常用発電稼働) 復旧未定 →エレベーター使用不可	☐ ☑	電気復旧 10:37 エレベーター復旧
9:35			ミーティング実施		
9:35		災害対策本部	宇和島港 津波確認 (5m) →病院への到達なし 市内被害あり、職員参集		
9:45			全職員ミーティング (講堂) にて現状共有 災害診療準備開始	☑	10:24 災害診療開始
9:58	外来班	災害対策本部	透析異常なし、継続可能		
9:58	入院班	災害対策本部	入院受け入れ可能人数63名		
9:59	施設整備班	災害対策本部	防潮堤撤去実施 ... ①	☑	10:08 防潮堤撤去済
9:59	情報通信班	災害対策本部	通信手段確保		
10:01	情報通信班	災害対策本部	半町名簿作成・配布 → 各班長へ		
10:08	施設整備班	災害対策本部	[①(9:59)] 防潮堤撤去完了		

域外搬送リスト		月 日 ()		NO.					
No	トリアージ カテゴリー	病棟	名前	年齢	性別	傷病名	搬送医療機関	搬送隊	備考
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									

外来班(入院リスト) 月 日 ()

No.

時間	トリアージ色	タグNo	氏名	ID	性別	傷病名	入院病棟	域外搬送依頼	トリアージ連絡(時間)	病棟連絡(時間)
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										

No.

月 日 ()

外来班(トリアージポスト)

時間	タグNo.	氏名	ID	性別	主訴・状態	トリアージ色	トリアージ連絡	備考
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								

	時間	タグNo.	ベッド 番号	氏名	ID	性別	症状・傷病名	処置など	転帰 (病棟)	退出時のタグ張り	退室 時間
	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
	6										
	7										
	8										
	9										
	10										

No.

月 日 ()

外来班(赤・黄トリアージ)

No.

月 日 ()

外来班(緑トリアージ)

時間	タグNo.	氏名	ID	性別	症状・傷病名	処置など	転帰 (帰宅・移動先)	退出時のタグ張り	退室 時間
1							帰宅・()		
2							帰宅・()		
3							帰宅・()		
4							帰宅・()		
5							帰宅・()		
6							帰宅・()		
7							帰宅・()		
8							帰宅・()		
9							帰宅・()		
10							帰宅・()		
11							帰宅・()		
12							帰宅・()		
13							帰宅・()		
14							帰宅・()		
15							帰宅・()		
16							帰宅・()		
17							帰宅・()		
18							帰宅・()		
19							帰宅・()		
20							帰宅・()		

「現状分析と課題」整理すべき項目

日時： 年 月 日 () :

要員までに対応			
指揮系統の確立		診療活動・支援(医療提供)	
本部の設置		稼働病床数	
定時ミーティングの実施と提案		受け入れ可能人数	
現場職員間の情報共有		手術・透析の状況	
安全管理		外来受付状況および外来受付時間	
建物の危機状況		人的資源管理	
ライフライン状況(電気・水)		職員の不足	
通信と情報伝達		職員数	
通信手段の確保(病院外)		物資(物的資源管理)	
被害状況の確認		サプライ状況(衛生資材、薬剤等)	
患者受診状況		搬送活動・支援	
在院患者数(外来十入院)		今後搬送が必要な患者数	
数日以内に対応		生活支援	
マンタルケア		食事、廃棄物、リネン、洗濯、清掃	
職員の宿泊施設確保、ストレスケア			
リスクコミュニケーション			
患者・患者家族への情報提供		メディアや一般への状況説明	
病院行動評価	0 I II III ←○をつける		
大方針	緊急避難 避難 避難維持 通常運用/病床拡張		
活動方針			

※項目には番号をつけ優先順位で記載する

入院班：施設・職員・患者被害状況

被害がある場合：× 被害がない場合：○ 確認ができていない：空欄
 時 分 NO.()

病棟	1.職員の状況(人)			2.施設の状況 建物被害	3.ライフライン状況				4.患者状況			家族・ 来院者	
	Dr	NS	その他		スタッフの 被害	①電気	②水道	③医ガス	④通信	赤	黄		緑
ICU													
50214													
HCU													
50216													
4西													
50089													
5東													
50103													
5東1													
5東2													
5西													
50118													
6東													
50131													
NICU													
26016													
7東													
50159													
7西													
50173													
8東													
50186													
8西													
50200													
OP													
計													

入院班：災害診療開始以後の状況

病棟	月 日				時 分	患者数	空床				備考	
	職員被災状況						4人床 男	個室	特室	回復室		
	死亡	重症	軽症	未確認								
ICU 50214					4							
CCU					2							
HCU 50216					14							
4西 50089					50							
5東 50103					31							
5東1					5							
5東2					4							
5西 50118					50							
6東 50131					33							
NICU 26016					10							
7東 50159					48							
7西 50173					48							
8東 50186					45							
8西 50200					47							
OP					OP中 情報							
計					391							

災害診療物品一覧

※災害診療開始までの物品調達・準備は調達班と外来班が協力して行うこと

資料20

準備担当	物品名	数量	保管場所		搬送先	
			部署	室名等	搬送先	詳細
情報通信班、記録班	災害用テレビ	1	管理者室		災害対策本部	
情報通信班、記録班	防災ラジオ	1	総務管理課		災害対策本部	
情報通信班、記録班	職員系端末(ノートPC) 施設用度係①	1	総務管理課		災害対策本部	
情報通信班、記録班	職員系端末(ノートPC) 施設用度係②	1	総務管理課		災害対策本部	
情報通信班、記録班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020037	1	総務管理課		災害対策本部	情報通信班用
情報通信班、記録班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020039	1	総務管理課		災害対策本部	入院班長用
情報通信班、記録班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020040	1	総務管理課		災害対策本部	本部長用
情報通信班、記録班	職員系端末 情報管理室貸出端末	1	医事課	情報管理室	災害対策本部	
情報通信班、記録班	職員系端末 地域連携室きさいやネット端末②	1	医事課	地域連携室	災害対策本部	
情報通信班、記録班	職員系端末 がんネット端末	1	医事課	医事係	災害対策本部	
情報通信班、記録班	HIS端末(ノートPC) HC3C2217 ※搬送先を示したシール付	1	医事課		災害対策本部	
情報通信班、記録班	職員系端末(ノートPC)	1	災害対策本部		搬送なし	
情報通信班、記録班	大型モニター	2	災害対策本部		搬送なし	
情報通信班、記録班	電源ドラム	1	災害対策本部		搬送なし	
情報通信班、記録班	LANケーブル	1	災害対策本部		搬送なし	
情報通信班、記録班	プリンタ 職員系端末用 c811dn	1	災害対策本部		搬送なし	
情報通信班、記録班	電源ドラム	2	災害対策本部		搬送なし	
情報通信班、記録班	長机 会議用	15	災害対策本部		搬送なし	
情報通信班、記録班	椅子 会議用	45	災害対策本部		搬送なし	
情報通信班、記録班	衛星端末(ノートPC) インマルサット Explorer700	1	災害対策本部		搬送なし	
情報通信班、記録班	電源ドラム 職員系端末用	1	災害対策本部		搬送なし	
情報通信班、記録班	電源タップ	1	災害対策本部		搬送なし	
情報通信班、記録班	ヒプス 白 災害対策本部	19	災害対策本部		搬送なし	
情報通信班、記録班	ヒプス 白 情報通信班	10	災害対策本部		搬送なし	
情報通信班、記録班	展示用パネル パーティション(ホワイトボード)	20	災害対策本部		搬送なし	
情報通信班、記録班	防災電話機 562-21、562-22	2	災害対策本部		搬送なし	R7.9.14時点なし
情報通信班、記録班	衛星端末 ワイドスター II 子機2台・Wi-Fi	1	災害対策本部		搬送なし	R7.9.14時点なし
情報通信班、記録班	電源ドラム 職員系端末用	2	災害対策本部		搬送なし	
情報通信班、記録班	ポータブル発電機850VA MGC900GP SN:027197 約40h(定格)/20kg	1	医事課	空調機械室22	搬送なし	配備先で使用
情報通信班、記録班	ポータブル発電機850VA ※接続ホース共 MGC900GP SN:027201 約40h(定格)/20kg	1	医事課	空調機械室22	搬送なし	配備先で使用
情報通信班、記録班	ポータブル発電機用電源ドラム	2	医事課	空調機械室22	搬送なし	配備先で使用

災害診療物品一覧

※災害診療開始までの物品調達・準備は調達班と外来班が協力して行うこと

資料20

準備担当	物品名	数量	保管場所		搬送先	
			部署	室名等	搬送先	詳細
施設整備班	携帯型トランシーバー IC-DU75 SN:31001009	1	総務管理課		災害対策本部	施設整備班長用
施設整備班	防災行政無線 TCP-133WFT SN:A920010	1	防災センター		災害対策本部	
施設整備班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020027	1	防災センター		施設整備班	配備先で使用
施設整備班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020035	1	防災センター		施設整備班	配備先で使用
施設整備班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020036	1	防災センター		施設整備班	配備先で使用
施設整備班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020038	1	防災センター		施設整備班	配備先で使用
施設整備班	卓上型トランシーバー IC-DU5505C SN:0105235	1	防災センター		搬送なし	配備先で使用
施設整備班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020034	1	臨床検査科		施設整備班	配備先で使用
施設整備班	携帯型トランシーバー IC-DU55C SN:0112608	1	DMAT室		災害対策本部	トリアージポスト用
施設整備班	携帯型トランシーバー IC-DU55C SN:0112609	1	DMAT室		災害対策本部	トリアージ緑用
施設整備班	携帯型トランシーバー IC-DU55C SN:0112610	1	DMAT室		災害対策本部	トリアージ黄用
施設整備班	携帯型トランシーバー IC-DU55C SN:0112611	1	DMAT室		災害対策本部	トリアージ赤用
施設整備班	携帯型トランシーバー IC-DU55C SN:0112612	1	DMAT室		災害対策本部	トリアージ黒用
施設整備班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:21070496	1	DMAT室		災害対策本部	外来班長用
施設整備班(放射線科)	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020031	1	放射線科		施設整備班(放射線科)	配備先で使用
施設整備班(放射線科)	ピブス茶 放射性物質担当班	5	放射線科		調達班(放射線科)	配備先で使用
施設整備班(放射線科)	移動型撮影装置	1	内科	空調機械室25	検査エリア	

災害診療物品一覧

※災害診療開始までの物品調達・準備は調達班と外来班が協力して行うこと

資料20

準備担当	物品名	数量	保管場所		搬送先	
			部署	室名等	搬送先	詳細
調達班、外来班	感染ペール	2	6西病棟	カンファレンス室前	トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C4399 ※搬送先を示したシール付	1	リハビリテーション科		トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C4400 ※搬送先を示したシール付	1	リハビリテーション科		トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	感染ペール用ダンボール	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	感染ペール用・可燃用ゴミ袋(透明) 10枚入	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	不燃物用ゴミ袋(黄色)	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	医療用廃棄ボックス	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	トリアージ帳票セット ※収納ケース内	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	トリアージ看板 A3 ※収納ケース内	5	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ赤	中央処置室 受付
調達班、外来班	トリアージ看板 A4 ※収納ケース内	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ赤	中央処置室 受付
調達班、外来班	ビブス 赤 ※収納ケース内	18	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	ホワイトボードシート セーラー どこでもシート	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ赤	中央処置室 受付
調達班、外来班	バーコードリーダー	2	講堂	空調機械室21	トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	電源タップ	1	講堂	空調機械室21	トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	電源タップ	1	講堂	空調機械室21	トリアージ赤	中央処置室 受付
調達班、外来班	O ₂ Y字管	1	内科	外来	トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC4C2232 ※搬送先を示したシール付	1	内科	ブロック受付-1	トリアージ赤	中央処置室 受付
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC4C2233 ※搬送先を示したシール付	1	内科	ブロック受付-1	トリアージ赤	中央処置室 受付
調達班、外来班	A4モノクロプリンター HPZC2072	1	内科	ブロック受付-1	トリアージ赤	中央処置室 受付
調達班、外来班	バーコードリーダー	2	内科	ブロック受付-1	トリアージ赤	中央処置室 受付
調達班、外来班	ストレッチャー	1	透析室		トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	ストレッチャー	1	脳神経外科	外来	トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	救急カート	1	脳神経外科	外来	トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	酸素ボンベ	1	脳神経外科	外来	トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	展示用パネル パーティション(ホワイトボード) 1800×1200	1	プロムナード	内科前	トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	救急カート	1	中央処置室		トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	ワゴン	3	中央処置室		トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C2165 ※搬送先を示したシール付	1	中央処置室		トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC4C2166 ※搬送先を示したシール付	1	中央処置室		トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC4C2167 ※搬送先を示したシール付	1	中央処置室		トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	A4モノクロプリンター HPZC2069	1	中央処置室		トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	ラベルプリンタ HLZC2070	1	中央処置室		トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	バーコードリーダー	3	中央処置室		トリアージ赤	中央処置室
調達班、外来班	オーバーテーブル	3	中央処置室		トリアージ赤	中央処置室

災害診療物品一覧
 ※災害診療開始までの物品調達・準備は調達班と外来班が協力して行うこと

資料20

準備担当	物品名	数量	保管場所		搬送先	
			部署	室名等	搬送先	詳細
調達班、外来班	感染ペール	2	6西病棟	カンファレンス室前	トリアージ黄	
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C4393 ※搬送先を示したシール付	1	リハビリテーション科		トリアージ黄	
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C4394 ※搬送先を示したシール付	1	リハビリテーション科		トリアージ黄	
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C4395 ※搬送先を示したシール付	1	リハビリテーション科		トリアージ黄	
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C4396 ※搬送先を示したシール付	1	リハビリテーション科		トリアージ黄	
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C4397 ※搬送先を示したシール付	1	リハビリテーション科		トリアージ黄	
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C4398 ※搬送先を示したシール付	1	リハビリテーション科		トリアージ黄	
調達班、外来班	マットレス A/ベッド	5	3階	リハビリ庭園横	トリアージ黄	
調達班、外来班	感染ペール用ダンボール	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ黄	
調達班、外来班	感染ペール用・可燃用ゴミ袋(透明) 10枚入	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ黄	
調達班、外来班	不燃物用ゴミ袋(黄色)	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ黄	
調達班、外来班	医療用廃棄ボックス	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ黄	
調達班、外来班	ストレッチャー	1	さくらホール		トリアージ黄	
調達班、外来班	車椅子	2	さくらホール		トリアージ黄	
調達班、外来班	救急カート	1	内科	処置室	トリアージ黄	
調達班、外来班	酸素ボンベ	1	内科	外来	トリアージ黄	
調達班、外来班	創交換・処置用品セット(看護部)	1	内科	外来	トリアージ黄	
調達班、外来班	ストレッチャー ※リクライニング	2	内科		トリアージ黄	
調達班、外来班	簡易ベッド(マリベッド)	2	内科	空調機械室25	トリアージ黄	
調達班、外来班	点滴棒(マリベッド)	2	内科	空調機械室25	トリアージ黄	
調達班、外来班	長椅子(臨時ベッド)	3	内科	待合	トリアージ黄	
調達班、外来班	ストレッチャー	3	内視鏡室		トリアージ黄	
調達班、外来班	SpO ₂ 測定器	1	内視鏡室		トリアージ黄	
調達班、外来班	血圧計	1	内視鏡室		トリアージ黄	
調達班、外来班	点滴台	3	内視鏡室		トリアージ黄	
調達班、外来班	O ₂ Y字管	1	内視鏡室		トリアージ黄	
調達班、外来班	O ₂ 延長チューブ	2	内視鏡室		トリアージ黄	
調達班、外来班	ストレッチャー用掛け物	3	内視鏡室		トリアージ黄	
調達班、外来班	ワゴン	3	中央処置室		トリアージ黄	
調達班、外来班	救急カート	1	外科	外来	トリアージ黄	
調達班、外来班	創交換・処置用品セット(看護部)	1	整形外科	外来	トリアージ黄	
調達班、外来班	O ₂ 流量計・吸引器	1	外科	外来	トリアージ黄	
調達班、外来班	創交換・処置用品セット(看護部)	1	泌尿器科	外来	トリアージ黄	
調達班、外来班	ワゴン	1	泌尿器科	外来	トリアージ黄	
調達班、外来班	ワゴン	1	眼科	外来	トリアージ黄	
調達班、外来班	展示用パネル パーティション(クロス青)	4	プロムナード	内科前	トリアージ黄	
調達班、外来班	車椅子	2	ホワイエ		トリアージ黄	
調達班、外来班	レジャーシート黄 5.4×5.4	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ黄	
調達班、外来班	トリアージ帳票セット ※収納ケース内	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ黄	
調達班、外来班	トリアージ看板 A3 ※収納ケース内 「トリアージ黄」	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ黄	
調達班、外来班	トリアージ看板 A3 ※収納ケース内 「トリアージ黄」	3	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ黄	
調達班、外来班	トリアージ看板 A3三連 ※収納ケース内	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ黄	
調達班、外来班	ビブス 黄 ※収納ケース内	10	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ黄	
調達班、外来班	ホワイトボードシート セーラー どこでもシート	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ黄	受付
調達班、外来班	A4モノクロプリンター HPZXX189	1	講堂	空調機械室21	トリアージ黄	
調達班、外来班	ラベルプリンタ HPZXX191	1	講堂	空調機械室21	トリアージ黄	
調達班、外来班	バーコードリーダー	6	講堂	空調機械室21	トリアージ黄	

災害診療物品一覧

※災害診療開始までの物品調達・準備は調達班と外来班が協力して行うこと

資料20

準備担当	物品名	数量	保管場所		搬送先	
			部署	室名等	搬送先	詳細
調達班、外来班	電源タップ	3	講堂	空調機械室21	トリアージ黄	
調達班、外来班	電源ドラム	2	講堂	バック通路	トリアージ黄	
調達班、外来班	長机 会議用	2	講堂		トリアージ黄	
調達班、外来班	椅子 会議用	2	講堂		トリアージ黄	
調達班、外来班	展示用パネル パーティション(メラミン白) 1800×1200	1	講堂		トリアージ黄	

災害診療物品一覧

※災害診療開始までの物品調達・準備は調達班と外来班が協力して行うこと

資料20

準備担当	物品名	数量	保管場所		搬送先	
			部署	室名等	搬送先	詳細
調達班、外来班	感染ペール	2	6西病棟	カンファレンス室前	トリアージ黒	
調達班、外来班	遺体収納袋	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ黒	
調達班、外来班	感染ペール用ダンボール	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ黒	
調達班、外来班	感染ペール用・可燃用ゴミ袋(透明) 10枚入	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ黒	
調達班、外来班	不燃物用ゴミ袋(黄色)	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ黒	
調達班、外来班	医療用廃棄ボックス	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ黒	
調達班、外来班	レジャーシート黒 2.7×3.6	5	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ黒	
調達班、外来班	トリアージ看板 A3 ※収納ケース内	3	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ黒	
調達班、外来班	レジャーシート黒 5.4×5.4	2	講堂	バック通路	トリアージ黒	
調達班、外来班	展示用パネル パーティション(メラミン白) 1800×1200	1	講堂		トリアージ黒	

災害診療物品一覧

※災害診療開始までの物品調達・準備は調達班と外来班が協力して行うこと

資料20

準備担当	物品名	数量	保管場所		搬送先	
			部署	室名等	搬送先	詳細
調達班、外来班	感染ペール	2	6西病棟	カンファレンス室前	トリアージポスト	
調達班、外来班	感染ペール用ダンボール	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージポスト	
調達班、外来班	感染ペール用・可燃用ゴミ袋(透明) 10枚入	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージポスト	
調達班、外来班	不燃物用ゴミ袋(黄色)	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージポスト	
調達班、外来班	医療用廃棄ボックス	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージポスト	
調達班、外来班	車椅子	5	さくらホール		トリアージポスト	
調達班、外来班	書類運搬用カート	1	総務管理課		トリアージポスト	黄/黒受付端末用
調達班、外来班	カルテ用カート	2	医事課	診療情報管理室	トリアージポスト	黄/黒受付端末用
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C2177 ※搬送先を示したシール付	1	医事課		トリアージポスト	
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C2179 ※搬送先を示したシール付	1	医事課		トリアージポスト	
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C2180 ※搬送先を示したシール付	1	医事課		トリアージポスト	
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C2181 ※搬送先を示したシール付	1	医事課		トリアージポスト	
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C2182 ※搬送先を示したシール付	1	医事課		トリアージポスト	
調達班、外来班	ストレッチャー	2	内科	処置室	トリアージポスト	
調達班、外来班	簡易ベッド(マリーベッド)	2	内科	空調機械室25	トリアージポスト	
調達班、外来班	担架棒(マリーベッド) オレンジの袋	1	内科	空調機械室25	トリアージポスト	
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C2178 ※搬送先を示したシール付	1	内視鏡室		トリアージポスト	
調達班、外来班	ストレッチャー	1	脳神経外科	処置室	トリアージポスト	
調達班、外来班	ストレッチャー	1	泌尿器科		トリアージポスト	
調達班、外来班	展示用パネル パーティション(メラミン白) 1800×1200	3	プロムナード	内科前	トリアージポスト	
調達班、外来班	A4モノクロプリンター HP2XX187	1	講堂	空調機械室21	トリアージポスト	
調達班、外来班	バーコードリーダー	6	講堂	空調機械室21	トリアージポスト	
調達班、外来班	電源タップ	2	講堂	空調機械室21	トリアージポスト	
調達班、外来班	長机 会議用	6	講堂		トリアージポスト	
調達班、外来班	椅子 会議用	8	講堂		トリアージポスト	
調達班、外来班	レジャーシート青 5.3×7.1	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージポスト	
調達班、外来班	拡声器	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージポスト	
調達班、外来班	トリアージ帳票セット	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージポスト	
調達班、外来班	トリアージ看板 A3 ※収納ケース内	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージポスト	
調達班、外来班	電源ドラム	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージポスト	受付
調達班、外来班	電源ドラム	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージポスト	
調達班、外来班	ホワイトボードシート セーラー どこでもシート	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージポスト	受付
調達班、外来班	ビブス 青 ※収納ケース内 トリアージポスト	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージポスト	

災害診療物品一覧

※災害診療開始までの物品調達・準備は調達班と外来班が協力して行うこと

資料20

準備担当	物品名	数量	保管場所		搬送先	
			部署	室名等	搬送先	詳細
調達班、外来班	感染ペール	2	6西病棟	カンファレンス室前	トリアージ緑	
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C4387 ※搬送先を示したシール付	1	リハビリテーション科		トリアージ緑	処置エリア
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C4388 ※搬送先を示したシール付	1	リハビリテーション科		トリアージ緑	処置エリア
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C4389 ※搬送先を示したシール付	1	リハビリテーション科		トリアージ緑	処置エリア
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C4390 ※搬送先を示したシール付	1	リハビリテーション科		トリアージ緑	処置エリア
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C4391 ※搬送先を示したシール付	1	リハビリテーション科		トリアージ緑	処置エリア
調達班、外来班	マットレス Aパッド	5	3階	リハビリ庭園横	トリアージ緑	
調達班、外来班	感染ペール用ダンボール	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ緑	
調達班、外来班	感染ペール用・可燃用ゴミ袋(透明) 10枚入	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ緑	
調達班、外来班	不燃物用ゴミ袋(黄色)	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ緑	
調達班、外来班	医療用廃棄ボックス	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ緑	
調達班、外来班	車椅子	2	さくらホール		トリアージ緑	受付
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C2183 ※搬送先を示したシール付	1	医事課		トリアージ緑	診察エリア
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C2185 ※搬送先を示したシール付	1	医事課		トリアージ緑	診察エリア
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C2186 ※搬送先を示したシール付	1	医事課		トリアージ緑	処置エリア
調達班、外来班	HIS端末(ノートPC) HC3C2184 ※搬送先を示したシール付	1	入院案内		トリアージ緑	診察エリア
調達班、外来班	救急カート	1	整形外科	外来	トリアージ緑	処置エリア
調達班、外来班	ストレッチャー	1	整形外科	処置室	トリアージ緑	
調達班、外来班	ワゴン	1	脳神経外科	外来	トリアージ緑	
調達班、外来班	ワゴン	1	小児科	外来	トリアージ緑	
調達班、外来班	ワゴン	1	産婦人科	外来	トリアージ緑	
調達班、外来班	救急カート	1	泌尿器科	外来	トリアージ緑	処置エリア
調達班、外来班	処置カート	1	皮膚科	外来	トリアージ緑	処置エリア
調達班、外来班	創交換・処置用品セット(看護部)	1	耳鼻いんこう科	外来	トリアージ緑	
調達班、外来班	展示用パネル パーティション(クロス青)	2	プロムナード	脳外科前	トリアージ緑	診察エリア
調達班、外来班	ラベルプリンタ HPZXX190	1	講堂	空調機械室21	トリアージ緑	診察エリア
調達班、外来班	バーコードリーダー	3	講堂	空調機械室21	トリアージ緑	診察エリア
調達班、外来班	バーコードリーダー	6	講堂	空調機械室21	トリアージ緑	処置エリア
調達班、外来班	電源タップ	1	講堂	空調機械室21	トリアージ緑	診察エリア
調達班、外来班	電源タップ	2	講堂	空調機械室21	トリアージ緑	処置エリア
調達班、外来班	長机 会議用	2	講堂		トリアージ緑	受付
調達班、外来班	長机 会議用	3	講堂		トリアージ緑	診察エリア
調達班、外来班	長机 会議用	6	講堂		トリアージ緑	処置エリア
調達班、外来班	椅子 会議用	2	講堂		トリアージ緑	受付
調達班、外来班	椅子 会議用	8	講堂		トリアージ緑	診察エリア
調達班、外来班	椅子 会議用	3	講堂		トリアージ緑	処置エリア
調達班、外来班	展示用パネル パーティション(メラミン白) 1800×1200	2	講堂		トリアージ緑	受付
調達班、外来班	レジャーシート緑 5.4×5.4	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ緑	診察エリア
調達班、外来班	レジャーシート緑 5.4×5.4	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ緑	処置エリア
調達班、外来班	トリアージ搬送セット ※収納ケース内 マイタックラベル、スピッツラベル、トリアージ手順シート	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ緑	
調達班、外来班	トリアージ看板 A3 ※収納ケース内	5	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ緑	
調達班、外来班	トリアージ看板 A4 ※収納ケース内	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ緑	
調達班、外来班	トリアージ看板 A3三連 ※収納ケース内 「軽傷患者受付1」	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ緑	
調達班、外来班	ヒプス緑 ※収納ケース内 「トリアージ緑」	15	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ緑	
調達班、外来班	トリアージタッグ ※収納ケース内	10	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ緑	
調達班、外来班	エアテント Achilles ITC-66 6m×6m	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ緑	処置エリア
調達班、外来班	エアテント Achilles ITC-66 6m×6m	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ緑	診察エリア

災害診療物品一覧

※災害診療開始までの物品調達・準備は調達班と外来班が協力して行うこと

資料20

準備担当	物品名	数量	保管場所		搬送先	
			部署	室名等	搬送先	詳細
調達班、外来班	電源ドラム	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ緑	受付
調達班、外来班	電源ドラム	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ緑	診察エリア
調達班、外来班	電源ドラム	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ緑	処置エリア
調達班、外来班	ホワイトボードシート セーラー どこでもシート	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	トリアージ緑	受付

災害診療物品一覧

※災害診療開始までの物品調達・準備は調達班と外来班が協力して行うこと

資料20

準備担当	物品名	数量	保管場所		搬送先	
			部署	室名等	搬送先	詳細
外来班	レジャーシート青	4	立体駐車場	屋上防災倉庫	搬送なし	在庫
外来班	ゴーヤツキ(車両移動器具)	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	搬送なし	配備先で使用
外来班	レジャーシート赤 5.4×5.4	2	立体駐車場	屋上防災倉庫	搬送なし	在庫
外来班	ポータブル発電機2.2kVA ※接続ホース共 MGC2200GA01 SN.000206 約20h(定格)～40h(1/4)/20kg	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	搬送なし	配備先で使用
外来班	ポータブル発電機2.2kVA ※接続ホース共 MGC2200GA01 SN.000169 約20h(定格)～40h(1/4)/20kg	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	搬送なし	配備先で使用
外来班	ポータブル発電機2.2kVA ※接続ホース共 MGC2200GA01 SN.000198 約20h(定格)～40h(1/4)/20kg	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	搬送なし	配備先で使用
外来班	ポータブル発電機2.2kVA ※接続ホース共 MGC2200GA01 SN.000193 約20h(定格)～40h(1/4)/20kg	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	搬送なし	配備先で使用
外来班	ポータブル発電機2.2kVA ※接続ホース共 MGC2200GA01 SN.000192 約20h(定格)～40h(1/4)/20kg	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	搬送なし	配備先で使用
外来班	ポータブル発電機2.2kVA ※接続ホース共 MGC2200GA01 SN.000197 約20h(定格)～40h(1/4)/20kg	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	搬送なし	配備先で使用

災害診療物品一覧

※災害診療開始までの物品調達・準備は調達班と外来班が協力して行うこと

資料20

準備担当	物品名	数量	保管場所		搬送先	
			部署	室名等	搬送先	詳細
調達班	長机 会議用	1	講堂		タグ回収	
調達班	椅子 会議用	1	講堂		タグ回収	
調達班	HIS端末(ノートPC) HC3C2256 ※搬送先を示したシール付	1	内科	診察室2	入院薬局	内科外来待合
調達班	A4モノクロプリンター HPZC2082	1	内科	診察室2	入院薬局	内科外来待合
調達班	電源タップ	1	講堂	空調機械室21	入院薬局	内科外来待合
調達班	LANケーブル	1	講堂	空調機械室21	入院薬局	内科外来待合
調達班	長机 会議用	2	講堂		入院薬局	内科外来待合
調達班	HIS端末(ノートPC) HC3C4392 ※搬送先を示したシール付	1	リハビリテーション科		外来薬局	立体駐車場屋上
調達班	テント	1	感染症外来前		外来薬局	立体駐車場屋上
調達班	A4モノクロプリンター HPZXX188	1	講堂	空調機械室21	外来薬局	立体駐車場屋上
調達班	バーコードリーダー	1	講堂	空調機械室21	外来薬局	立体駐車場屋上
調達班	電源タップ	1	講堂	空調機械室21	外来薬局	立体駐車場屋上
調達班	長机 会議用	2	講堂		外来薬局	立体駐車場屋上
調達班	椅子 会議用	2	講堂		外来薬局	立体駐車場屋上
調達班	電源ドラム	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	外来薬局	立体駐車場屋上

災害診療物品一覧

※災害診療開始までの物品調達・準備は調達班と外来班が協力して行うこと

資料20

準備担当	物品名	数量	保管場所		搬送先	
			部署	室名等	搬送先	詳細
調達班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020030	1	薬局		調達班	配備先で使用
調達班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020028	1	リハビリテーション科		調達班	配備先で使用
調達班	ピプス 白 調達班	20	薬局		調達班	配備先で使用
調達班	階段昇降機(ステアチェア) サンワ SC-6 130kg 38° 約30min/PE12V17	1	3階	EVホール(一般)	搬送なし	配備先で使用
調達班	マットレス Aパッド	20	3階	リハビリ庭園横	搬送なし	在庫
調達班	卓上型トランシーバー IC-DU5505C SN:0105234	1	医事課		搬送なし	配備先で使用
調達班	長机 折畳み BTS-1845	6	救急外来	ピロティPS	搬送なし	在庫
調達班	ホワイトボードシート セーラー どこでもシート	8	総務管理課	PS-13	搬送なし	在庫
調達班	マキタ充電式運搬車 Makita CU180DZ 130kg 12° 約2h/6.0Ah×2	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	搬送なし	配備先で使用
調達班	マキタバッテリー・充電器セット ※マキタ充電式運搬車とセット 18V 6.0Ah×4	1	立体駐車場	屋上防災倉庫	搬送なし	配備先で使用
調達班(食養科)	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020018	1	食養科		9階	院内学級
調達班(食養科)	電源タップ	1	10階	防災備蓄倉庫1	9階	院内学級
調達班(食養科)	HIS端末(ノートPC) HC3C8517 ※搬送先を示したシール付	1	8東病棟		9階	院内学級

災害診療物品一覧

※災害診療開始までの物品調達・準備は調達班と外来班が協力して行うこと

資料20

準備担当	物品名	数量	保管場所		搬送先	
			部署	室名等	搬送先	詳細
DMAT	携帯型トランスミター IC-DU65B SN:A069348	1	DMAT室		DMAT本部	
DMAT	携帯型トランスミター IC-DU65B SN:A069349	1	DMAT室		DMAT本部	

災害診療物品一覧

※災害診療開始までの物品調達・準備は調達班と外来班が協力して行うこと

資料20

準備担当	物品名	数量	保管場所		搬送先	
			部署	室名等	搬送先	詳細
入院班	ポータブル発電機用LPガスボンベ20kg ※OP・HCU・ICU用	19	3階	リハビリ庭園横	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機850VA ※接続ホース共 MGC900GP SN:027203 約40h(定格)/20kg	1	4西病棟	EPS-41	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用電源ドラム	2	4西病棟	EPS-41	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用LPガスボンベ20kg	1	4西病棟	屋外非常階段	搬送なし	配備先で使用
入院班	エアーストレッチャー	1	4西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020041	1	4西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト ※ヘルメットに装着 GENTOS HLP-1802	4	4西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘルメット STARLITE FS-100 II AJ	4	4西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機850VA ※接続ホース共 MGC900GP SN:027209 約40h(定格)/20kg	1	5西病棟	EPS-51	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用電源ドラム	2	5西病棟	EPS-51	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用LPガスボンベ20kg	1	5西病棟	屋外非常階段	搬送なし	配備先で使用
入院班	エアーストレッチャー	1	5西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020023	1	5西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト ※ヘルメットに装着 GENTOS HLP-1802	4	5西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘルメット STARLITE FS-100 II AJ	4	5西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用LPガスボンベ20kg	1	5東病棟	屋外非常階段	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機850VA ※接続ホース共 MGC900GP SN:027210 約40h(定格)/20kg	1	5東病棟	空調機械室52	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用電源ドラム	2	5東病棟	空調機械室52	搬送なし	配備先で使用
入院班	エアーストレッチャー	1	5東病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020025	1	5東病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト ※ヘルメットに装着 GENTOS HLP-1802	4	5東病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘルメット STARLITE FS-100 II AJ	4	5東病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機850VA ※接続ホース共 MGC900GP SN:027199 約40h(定格)/20kg	1	6西病棟	EPS-61	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用電源ドラム	2	6西病棟	EPS-61	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用LPガスボンベ20kg	1	6西病棟	屋外非常階段	搬送なし	配備先で使用
入院班	エアーストレッチャー	1	6西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020022	1	6西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト ※ヘルメットに装着 GENTOS HLP-1802	5	6西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘルメット STARLITE FS-100 II AJ	5	6西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用LPガスボンベ20kg	1	6東病棟	屋外非常階段	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機850VA ※接続ホース共 MGC900GP SN:027208 約40h(定格)/20kg	1	6東病棟	空調機械室61	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用電源ドラム	2	6東病棟	空調機械室61	搬送なし	配備先で使用
入院班	エアーストレッチャー	1	6東病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020021	1	6東病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト ※ヘルメットに装着 GENTOS HLP-1802	3	6東病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘルメット STARLITE FS-100 II AJ	3	6東病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機850VA ※接続ホース共 MGC900GP SN:027198 約40h(定格)/20kg	1	7西病棟	EPS-71	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用電源ドラム	2	7西病棟	EPS-71	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用LPガスボンベ20kg	1	7西病棟	屋外非常階段	搬送なし	配備先で使用
入院班	エアーストレッチャー	1	7西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020024	1	7西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト ※ヘルメットに装着 GENTOS HLP-1802	4	7西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘルメット STARLITE FS-100 II AJ	4	7西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用LPガスボンベ20kg	1	7東病棟	屋外非常階段	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機850VA ※接続ホース共 MGC900GP SN:027211 約40h(定格)/20kg	1	7東病棟	空調機械室71	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用電源ドラム	2	7東病棟	空調機械室71	搬送なし	配備先で使用
入院班	エアーストレッチャー	1	7東病棟		搬送なし	配備先で使用

災害診療物品一覧

※災害診療開始までの物品調達・準備は調達班と外来班が協力して行うこと

資料20

準備担当	物品名	数量	保管場所		搬送先	
			部署	室名等	搬送先	詳細
入院班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020020	1	7東病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト ※ヘルメットに装着 GENTOS HLP-1802	4	7東病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘルメット STARLITE FS-100 II AJ	4	7東病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機850VA ※接続ホース共 MGC900GP SN:027207 約40h(定格)/20kg	1	8西病棟	EPS-81	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用電源ドラム	2	8西病棟	EPS-81	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用LPガスボンベ20kg	1	8西病棟	屋外非常階段	搬送なし	配備先で使用
入院班	エアーストレッチャー	1	8西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020029	1	8西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト ※ヘルメットに装着 GENTOS HLP-1802	4	8西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘルメット STARLITE FS-100 II AJ	4	8西病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用LPガスボンベ20kg	1	8東病棟	屋外非常階段	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機850VA ※接続ホース共 MGC900GP SN:027204 約40h(定格)/20kg	1	8東病棟	空調機械室81	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用電源ドラム	2	8東病棟	空調機械室81	搬送なし	配備先で使用
入院班	エアーストレッチャー	1	8東病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020019	1	8東病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト ※ヘルメットに装着 GENTOS HLP-1802	4	8東病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘルメット STARLITE FS-100 II AJ	4	8東病棟		搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機850VA ※接続ホース共 MGC900GP SN:027210 約40h(定格)/20kg	1	HCU	空調機械室33	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機850VA ※接続ホース共 MGC900GP SN:027212 約40h(定格)/20kg	1	HCU	空調機械室33	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用電源ドラム	4	HCU	空調機械室33	搬送なし	配備先で使用
入院班	エアーストレッチャー	1	HCU		搬送なし	配備先で使用
入院班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020026	1	HCU		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト ※ヘルメットに装着 GENTOS HLP-1802	3	HCU		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘルメット STARLITE FS-100 II AJ	3	HCU		搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機2.2kVA ※接続ホース共 MGC2200GA01 SN:000198 約20h(定格)~40h(1/4)/20kg	1	ICU	空調機械室33	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機2.2kVA ※接続ホース共 MGC2200GA01 SN:000195 約20h(定格)~40h(1/4)/20kg	1	ICU	空調機械室33	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機2.2kVA ※接続ホース共 MGC2200GA01 SN:000205 約20h(定格)~40h(1/4)/20kg	1	ICU	空調機械室33	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用電源ドラム	6	ICU	空調機械室33	搬送なし	配備先で使用
入院班	エアーストレッチャー	1	ICU		搬送なし	配備先で使用
入院班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020032	1	ICU		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト ※ヘルメットに装着 GENTOS HLP-1802	4	ICU		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘルメット STARLITE FS-100 II AJ	4	ICU		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト	2	MEセンター		搬送なし	配備先で使用
入院班	携帯型トランシーバー IC-DU75 SN:31001010	1	NICU		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト ※ヘルメットに装着 GENTOS HLP-1802	3	看護部長室		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘルメット STARLITE FS-104 II AJ	3	看護部長室		搬送なし	配備先で使用
入院班	携帯型トランシーバー IC-DU75 SN:31001011	1	救急外来	看護師当直室1	搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト ※ヘルメットに装着 GENTOS HLP-1802	1	救急外来	看護師当直室1	搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘルメット STARLITE FS-103 II AJ	1	救急外来	看護師当直室1	搬送なし	配備先で使用
入院班	エアーストレッチャー	1	救急外来		搬送なし	配備先で使用
入院班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:21081408	1	救急外来		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト ※ヘルメットに装着 GENTOS HLP-1802	8	救急外来		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘルメット STARLITE FS-102 II AJ	8	救急外来		搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機2.2kVA ※接続ホース共 MGC2200GA01 SN:000181 約20h(定格)~40h(1/4)/20kg	1	手術室	空調機械室32	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機2.2kVA ※接続ホース共 MGC2200GA01 SN:000204 約20h(定格)~40h(1/4)/20kg	1	手術室	空調機械室32	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用電源ドラム	6	手術室	空調機械室32	搬送なし	配備先で使用
入院班	エアーストレッチャー	1	手術室		搬送なし	配備先で使用

災害診療物品一覧

※災害診療開始までの物品調達・準備は調達班と外来班が協力して行うこと

資料20

準備担当	物品名	数量	保管場所		搬送先	
			部署	室名等	搬送先	詳細
入院班	携帯型トランシーバー IC-DU65C SN:01020033	1	手術室		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト ※ヘルメットに装着 GENTOS HLP-1802	5	手術室		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘルメット STARLITE FS-101 II AJ	5	手術室		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト	3	食養科		搬送なし	配備先で使用
入院班	エアーストレッチャー	1	透析室		搬送なし	配備先で使用
入院班	エアーストレッチャー	3	内科	空調機械室25	搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト	10	防災センター		搬送なし	配備先で使用
入院班	エアーストレッチャー	1	放射線科		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト	3	放射線科		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト	3	薬局		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト	3	リハビリテーション科		搬送なし	配備先で使用
入院班	ヘッドライト	3	臨床検査科		搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機2.2kVA ※接続ホース共 MGC2200GA01 SN:000191 約20h(定格)～40h(1/4)/20kg	1	中央処置室	空調機械室25	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機2.2kVA ※接続ホース共 MGC2200GA01 SN:000171 約20h(定格)～40h(1/4)/20kg	1	中央処置室	空調機械室25	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用電源ドラム	4	中央処置室	空調機械室25	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機2.2kVA ※接続ホース共 MGC2200GA01 SN:000194 約20h(定格)～40h(1/4)/20kg	1	臨床検査科	空調機械室23	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機2.2kVA ※接続ホース共 MGC2200GA01 SN:000203 約20h(定格)～40h(1/4)/20kg	1	臨床検査科	空調機械室23	搬送なし	配備先で使用
入院班	ポータブル発電機用電源ドラム	4	臨床検査科	空調機械室23	搬送なし	配備先で使用

市立宇和島病院災害対策マニュアル

災害時報告様式・チェックリスト

	様式番号	様式名	作成開始時期	作成担当
本部長・各班長用	様式1	災害対策本部長チェックリスト	発災後	災害対策本部長
	様式2	情報通信班長チェックリスト		情報通信班長
	様式3-1	外来班長チェックリスト		外来班長
	様式3-2	外来班(エリア責任者)チェックリスト		外来班(エリア責任者)
	様式4	入院班長チェックリスト		入院班長
	様式5	施設整備班長チェックリスト		施設整備班長
	様式6	記録班長チェックリスト		記録班長
	様式7	調達班長チェックリスト		調達班長
部署確認用	様式10	(病棟・外来以外)各部署チェックリスト	発災後	(病棟・外来以外)各部署
	様式11	病棟チェックリスト		病棟
	様式12	外来チェックリスト		外来
	様式13	災害時情報収集メモ(当直師長用)		当直師長
	様式14	救急当直責任看護師アクションカード		当直師長
	様式15	EMIS入力アクションカード		当直師長
本部報告用	様式21	災害時情報収集メモ(病棟用)	発災後	病棟
	様式22	災害時情報収集メモ(外来用)		外来
	様式23	手術室チェックリスト		手術室
	様式24	中央材料室チェックリスト		中央材料室
	様式25	透析室チェックリスト		透析室
	様式26	MEセンターチェックリスト		MEセンター
	様式27	リハビリチェックリスト		リハビリ
	様式28	放射線科チェックリスト		放射線科
	様式29	臨床検査科チェックリスト		臨床検査科
	様式30	食養科チェックリスト		食養科
	様式31	情報管理チェックリスト		情報管理
	様式32	設備委託チェックリスト		設備委託
	様式33	警備・清掃委託チェックリスト		警備・清掃委託
	様式34	その他部門チェックリスト		上記に該当しない部署
様式40	提出確認リスト	準備命令後	施設整備班	
本部関連用	様式51	通信機器使用チェックリスト	本部設営時	情報通信班
	様式52	職員被害状況集計表	準備命令後	情報通信班
	様式53	患者被害状況集計表		情報通信班
	様式54	施設・設備被害状況集計表		施設整備班、当直師長、外来師長
	様式55	災害時オーダー可能検査チェックリスト		施設整備班
	様式56	連絡先一覧		情報通信班
	様式57	参集・配置状況報告書	診療開始後	情報通信班
	様式58	患者応受チェックリスト		情報通信班
	様式59	災害時受付患者リスト		情報通信班
	様式60	ボランティア申込書・登録用紙	随時受付	申込者

災害対策本部長（災害対策本部）チェックリスト

・地震の揺れが収まった後

- 本部へ移動（エネルギーセンター2階災害対策本部室）

・情報通信班長より「大津波警報発令」の報告を受けた場合 ※発災後約3分

- 2階以上への避難命令の院内放送を指示【情報通信班長】
 - 避難誘導完了報告あり（食養科、放射線科、防災清掃）
- 防潮堤設置を指示【施設整備班長】
 - 防潮堤設置完了報告あり（施設整備班長）

・震度5弱以上の場合に情報通信班長より「震度等」の報告を受けた場合 ※発災後約5分

- 災害レベルを決定（資料9）
- 本部設営を指示【情報通信班長】（資料5）
- ビブスを着用
- 本部員参集の院内放送（時間内）又は連絡（時間外）を指示【情報通信班長】（資料9）

・本部員参集後

- 参集できない本部員の代理班長を決定（資料3）

・津波到達予測時刻まで余裕がある場合

- 医薬品等の2階への搬送指示【調達班長】

・津波到達予測時刻が近づいた場合又は情報通信班の屋上観測で避難が必要な場合

- 2階以上への避難指示【調達班長、施設整備班長】
- 2階以上への避難命令の院内放送（複数回）を指示【情報通信班長】

・外来診療中止の場合

- 通常の外來患者の対応（必要な患者のみ診療・処方）を指示【外来班】

・（津波到達の恐れがある場合）津波収束後 又は
（津波到達の恐れがない場合）災害備蓄品搬送終了後

- 職員参集命令の院内放送を指示【情報通信班長】

～職員参集～

・職員が概ね参集後

- 災害診療準備命令（災害レベル、診療体制等を通達）（資料 15）
- ・津波浸水・ライフライン停止の場合（災害診療準備命令と併せて下記発令）
- 入院患者避難準備命令（入院患者の避難優先順位決定を指示）【入院班長】

・津波の心配がなくなった後

- 防潮堤の撤去を指示【施設整備班長】
- 道路状況を確認（情報通信班）し、通常の外来患者に帰宅を指示【外来班長】
- 道路状況を確認（情報通信班）し、退院可能な患者に退院を指示【入院班長】

・外来班長より全エリアの準備完了報告後

- 災害診療開始命令
- ・津波浸水・ライフライン停止の場合（災害診療開始命令と併せて下記発令）
- 入院患者避難開始命令【入院班長】

随時すること

- ・職員の安否確認を指示【情報通信班長】（様式 52）
- ・患者の安否確認を指示【入院班長】（様式 53）
- ・施設の被害状況（復旧目途）の確認を指示【施設整備班長】（様式 54）
 - ①建物、②電気、③通信（電話、PHS、院内放送）、④水道、⑤ガス、
 - ⑥医療ガス、⑦電子カルテ 等
- ・職員参集・配置情報の確認を指示【情報通信班長】（様式 57）
- ・他病院の被害状況（患者移送先）の確認を指示【情報通信班長】（様式 58）
- ・災害診療受付患者の確認を指示【情報通信班長】（様式 59）
- ・市内全域の被害状況の確認を指示【情報通信班長】
- ・人材の確保（DMAT の要請等）指示【情報通信班長】
- ・物資（医薬品、診療材料等）の確保指示【調達班長】
- ・ライフライン等残量の確認及び確保指示【施設整備班長】
- ・ライフライン等故障時・復旧時の周知（院内放送等）指示【情報通信班長】
- ・（発災から 48～36 時間後の）シフト表作成指示【各班長】（資料 25）
- ・本部内ミーティングを（定期的に）開催
- ・災害診療中止の判断

情報通信班長チェックリスト

班員の役割

- ・総務係 1 名：院内放送、診療内容周知、EMIS 入力、DMAT の要請等
- ・総務係 1 名：機器設置、災害情報収集、域外搬送依頼
- ・人事給与係 1 名：（ネームプレート貼付け用）ホワイトボード設置、「参集場所、所属班」掲示、各班代表者名簿の作成・配布、職員参集・配置情報の報告、職員の安否確認・報告
- ・人事給与係 1 名：可能検査リストの配布、災害診療受付患者の確認・報告、入院患者被害状況の確認・報告
- ・人事給与係 1 名：屋上での津波状況調査

・地震の揺れが収まった後

- 本部へ移動（エネルギーセンター2階災害対策本部室）

・発災約 3 分後に気象庁から「大津波警報」が発表された場合

- 本部長に「宇和島市津波到達予想時刻」を連絡する。
- ・本部長より 2 階以上への避難命令の院内放送及び防潮堤設置の指示を受けた場合
- 2 階以上への避難命令の院内放送を指示【班員】（資料 14）
- 防潮堤設置を指示【施設整備班長】
- 屋上での津波状況調査を指示（安全確認ができるまで）【班員】

・発災約 5 分後に気象庁から「震度等」が発表された後

- 震度 5 弱以上の場合、震度等を報告（資料 15 を記載し渡す）【本部長】
- 災害レベルの確認【本部長】
- 本部設営を指示【班員】（資料 5）
- ビブスを着用
- 本部員（別表 2）参集の院内放送（時間内）又は連絡（時間外）を指示【班員】（資料 9・14）
- 情報収集、通信のための機器設置及び災害情報の収集を指示【班員】（様式 51）
- EMIS（緊急）の入力指示【班員】

・本部員参集後

- 本部長が、参集できない本部員の代理班長を決定（資料 3）
- ・津波到達予測時刻が近づいた場合又は情報通信班の屋上観測で避難が必要な場合で本部長の指示後
- 2 階以上への避難命令の院内放送（複数回）を指示【班員】（資料 14）
- 施設整備班からトランシーバーを受け取り、各班長に配布

- ・(津波到達の恐れがある場合) 津波収束後 又は
(津波到達の恐れがない場合) 災害備蓄品搬送終了後 に本部長の指示後
- レベルに応じた職員参集命令の院内放送を指示【班員】(資料 14)

・レベル 3 の場合

- 北棟講堂に(ネームプレート貼付け用) ホワイトボードの設置及び
資料 10 (大判印刷) の掲示を指示【班員】

～職員参集(災害診療準備命令)～

- 職員参集後の流れについて説明を行う(資料 15-2)

・災害診療準備命令後

- 各班代表者連絡先の作成・配布【班員】(様式 56)
- 本部長の決定した診療内容の院内放送、院内掲示及び院外周知を指示【班員】(資料 14・16)
- 道路状況の確認(愛媛県 HP→愛媛県道路情報に関するリンク)
→確認できない場合は、病院局本部に依頼(病院局本部が市災害対策本部に確認)

・施設整備班長より可能検査リストを受け取った後

- 放射線科及び臨床検査科の可能検査リストの配布を指示【班員】(様式 55)

・本部長からの災害診療開始命令後

- 災害診療開始の院内放送を指示【班員】(資料 14)

随時すること

- ・職員安否確認→本部及び病院局本部へ報告(様式 21~34 を確認し、様式 52 を作成・報告)
- ・入院患者被害状況の確認→本部及び病院局本部へ報告(様式 53)
- ・職員参集・配置情報の確認→本部へ報告(様式 57)
- ・他病院の被害状況の確認→本部へ報告(様式 58)
- ・災害診療受付患者の確認→本部へ報告(様式 59)
- ・市内全域の被害状況の確認→本部へ報告
- ・EMIS(詳細)の入力(様式 21~34 を確認し入力)
- ・人材の確保(DMAT の要請等)、域外搬送依頼
- ・施設整備班の依頼で、ライフライン等故障時・復旧時の周知(院内放送等)(資料 14)
(2 階への避難が無く防災センターが使用できる場合は、防災センターが放送)
- ・本部内ミーティングに参加【班長のみ】

外来班長チェックリスト

・地震の揺れが収まった後

本部へ移動（エネルギーセンター2階災害対策本部室）

・大津波警報発令の場合（院内放送あり） ※発災約3分後

2階以上へ避難（1階、地下1階にいる来院者を2階以上へ誘導）

・本部参集後

ビブスを着用

・外来診療中止の場合

通常の外来患者の対応（必要な患者のみ診療・処方）を指示

～職員参集（災害診療準備命令）～

・災害診療準備命令後

入院班長と共に医局員の配置を決定（資料11）

立体駐車場屋上に駐車している車移動の担当者を指名

立体駐車場屋上倉庫の鍵担当者を指名（鍵の場所：津波避難時は本部、津波避難していない場合は防災センター）

外来班各エリア責任者に、物品調達及びエリア設営を指示【各エリア】（資料6～8）

→設置完了エリア（ ポスト 赤 黄 緑 黒 ）

→ 全エリア設置完了後、本部長に報告

・津波の心配がなくなった後

本部長の命令で通常の外来患者に帰宅いただくよう指示【外来待機職員】

・情報通信班より可能検査リストを受け取った後

可能検査の周知【各エリア】（様式55）

・災害診療開始命令後

随時すること

・災害診療

・ボランティア受付（ポストのみ）（様式60）→本部で配置決定→ポストへ配置連絡

・本部内ミーティングに参加【班長のみ】

外来班（エリア責任者）チェックリスト

・災害診療準備命令後

- 調達班員と外来班員に、物品調達及びエリア設営を指示
 - エリア組織図の作成（資料 4）
 - 物品がすべて揃っているか確認（物品一覧）
 - エリア図のとおり設営できているか確認（資料 6～8）
 - ⇒□ エリア設置完了後、外来班長に報告

・外来班の全エリア設営完了後

- 災害診療開始命令 → 災害診療開始

・災害診療開始命令後

随時すること

- ・災害診療
- ・ボランティア受付（ポストのみ）（様式 60）→本部で配置決定→ポストへ配置連絡
- ・入院先・域外搬送調整依頼（赤・黄のみ）【外来班長】

入院班長チェックリスト【津波浸水なし】

・地震の揺れが収まった後

- 本部へ移動（エネルギーセンター2階災害対策本部室）

・大津波警報発令の場合（院内放送あり） ※発災約3分後

- 2階以上へ避難（1階、地下1階にいる来院者を2階以上へ誘導）

・本部参集後

- ビブスを着用
- 大津波警報発令時、ライフライン停止に備え、生命維持に必要な医療機器の確認（ポータブル発電機の準備）を指示【班員】（資料 23）

～職員参集（災害診療準備命令）～

・災害診療準備命令後

- 外来班長と共に医局員の配置を決定（入院班員は基本的に病棟責任医師）（資料 11）
- 空床確認【各病棟】（資料 19）

・津波の心配がなくなった後

- 本部長の命令で、退院可能患者に退院を指示（空床確保のため）【各病棟】

・情報通信班より可能検査リストを受け取った後

- 可能検査の周知【各病棟】（様式 55）

・災害診療開始命令後

随時すること

- ・空床情報の確認、報告【本部長】
- ・空床の確保（退院、転院、転棟）
- ・入院患者の受け入れ（外来班長より入院の連絡があった場合は、搬送先（病棟名）を決定し外来班長へ連絡する）
- ・本部内ミーティングに参加【班長のみ】

入院班長チェックリスト【津波浸水・ライフライン停止時】

・地震の揺れが収まった後

本部へ移動（エネルギーセンター2階災害対策本部室）

・大津波警報発令の場合（院内放送あり） ※発災約3分後

2階以上へ避難（1階、地下1階にいる来院者を2階以上へ誘導）

・本部参集後

ビブスを着用

大津波警報発令時、ライフライン停止に備え、生命維持に必要な医療機器の確認（ポータブル発電機の準備）を指示【班員】（資料 23）

～職員参集（災害診療準備命令及び入院患者避難準備命令）～

・災害診療準備命令及び入院患者避難準備命令後

外来班長と共に医局員の配置を決定（入院班員は基本的に病棟責任医師）（資料 11）

入院患者の避難優先順位決定を指示【各病棟】

・情報通信班より可能検査リストを受け取った後

可能検査の周知【各病棟】（様式 55）

・災害診療開始命令及び入院患者避難開始命令後

随時すること

・各病棟の入院患者の避難優先順位の報告を受け、院内の入院患者の避難優先順位を決定し域外搬送依頼【情報通信班長】

・本部内ミーティングに参加【班長のみ】

施設整備班長チェックリスト

・地震の揺れが収まった後

- エレベーター2階 DMAT 室へ DMAT 用トランシーバーを取りに行くよう指示【班員】
- ライフラインの稼働状況確認を指示【防災センター（設備）】
 - 電気（○・非常用）、水道（○・×）、ガス（○・×）、
医療ガス（○・×） →本部設置後、本部及び病院局本部に報告
- 本部へ移動（エレベーター2階災害対策本部室）

・発災約3分後に気象庁から「大津波警報」が発表された場合

（本部長から防潮堤設置の指示があるはず。指示がない場合は確認する。）

- 防災センターに参集後、トランシーバーを渡し、施設、設備の稼働状況の確認を指示【班員】（様式 32・55）
- 放射線科及び清掃委託職員から避難誘導完了報告
- 避難誘導完了を確認し、防潮堤設置を指示【防災センター（警備）】

・本部参集後

- ビブスを着用

・津波到達予測時刻が近づいた場合又は情報通信班の屋上観測で避難が必要な場合で本部の指示後

- 2階以上への避難指示【班員】
- トランシーバーを回収し、情報通信班へ渡す

～職員参集（災害診療準備命令）～

・災害診療準備命令後

- 未確認のものがあれば、設備稼働状況の確認を指示【班員】（様式 32・55）
- 病棟チェックリストの回収を指示【班員】（様式 21）
- 放射線科及び臨床検査科の可能検査リストを作成し、情報通信班に配布依頼（様式 55）
- 各部署より受け取ったチェックリストを情報通信班・入院班と共有（様式 21～34）（様式 40 で揃っているか確認）
 - ⇒ 各部署から提出されたチェックリストの中で利用制限がある施設・設備について本部長及び病院局本部に報告（様式 54）

・津波の心配がなくなり、本部長より防潮堤撤去の指示を受けた場合

防潮堤の撤去を指示【防災センター（警備）】

・災害診療開始命令後

（津波未浸水時）放射線エリアの放射線量の測定及び管理区域の決定を指示【班員】

→ 本部長へ報告

（津波未浸水時）放射線エリア管理区域決定後、進入不可の場所について必要な措置を指示【班員】

→ 本部長へ報告

院内周辺の放射線量の測定を指示【班員】

→ 本部長へ報告

随時すること

・ライフライン等故障時・復旧時の周知（院内放送等）【班員】（資料14）

（2階への避難等で防災センターが使用できない場合は、情報通信班に依頼）

・本部内ミーティングに参加【班長のみ】

記録班長チェックリスト

班員の配置

- ・ 病院局本部担当（1名） ・ 病院本部担当（3名） ・ 外来班担当（2名）
- ・ 入院班担当（2名） ・ 電子入力担当（2名）

・ 地震の揺れが収まった後

- 本部へ移動（エネルギーセンター2階災害対策本部室）

・ 大津波警報発令の場合（院内放送あり） ※発災約3分後

- 2階以上へ避難（1階、地下1階にいる来院者を2階以上へ誘導）

・ 本部参集後

- ビブスを着用
- 記録班に参集可能な人数に応じ、医事課職員の記録班配置を決定
- 備忘録への記録開始を指示【班員】（資料17）

・ 本部設営後

- 班員の配置を決定
- クロノロシートへの記録開始を指示【班員】（資料17・18）

・ 災害備蓄品の2階への搬送を決定した場合

- 調達班の指示に従い、医薬品等の2階への搬送補助を指示【医事課職員】

・ 災害レベル3の場合



二手に分かれる

- 北棟講堂の机、椅子撤去指示【医事課職員】

・ 災害診療準備命令後

- （医事課長として）医事課及び医事業務委託職員の配置を決定（資料12）

随時すること

- ・ 災害情報に関する記録
- ・ 本部内ミーティングに参加【班長のみ】

調達班長チェックリスト

・地震の揺れが収まった後

本部へ移動（エネルギーセンター2階災害対策本部室）

・大津波警報発令の場合（院内放送あり） ※発災約3分後

2階以上へ避難（1階、地下1階にいる来院者を2階以上へ誘導）

→ 食養科職員から避難誘導完了報告

・本部参集後

ビブスを着用

・災害備蓄品の2階への搬送を決定した場合

医薬品等の2階への搬送を指示【班員】

内科待合患者が少なくなった場合、整形外科と脳神経外科の間のエリアに内科外来のイスと患者を移動するよう指示【内科外来職員】

・津波到達予測時刻が近づいた場合又は情報通信班の屋上観測で避難が必要な場合で本部の指示後

2階以上への避難指示【班員】

～職員参集～

・災害診療準備命令後

各エリアに物品調達を指示【班員】（資料20）

内科待合に「入院薬局」設営を指示【班員】

立体駐車場屋上に「外来薬局」設営を指示【班員】

・災害診療開始命令後

備蓄食品数の確認を指示【班員】

入院患者、職員の9食分の献立作成を指示【班員】

→ 9食分の献立を報告【本部長】

随時すること

- ・ 依頼があった場合の物品調達
- ・ 医師からオーダーされた薬品の調剤、搬送
- ・ 入院患者、職員の食事の調理、提供
- ・ 提携業者に対し、食料品の提供依頼
→ 提供を受けた食料品リストを本部へ提出
- ・ 本部内ミーティングに参加【班長のみ】

(病棟・外来以外) 各部署チェックリスト

《発災後、各部署で行うこと》

- トランシーバー起動 (チャンネル 10)
- 職員、患者等の安否確認、施設被害状況の確認 (様式 21~34 のうち該当する様式)

- ・ 大津波警報発令の場合 (院内放送あり) ※発災約 3 分後
- 2 階以上へ避難 (1 階、地下 1 階にいる来院者を 2 階以上へ誘導)
 - 食養科、放射線科、清掃委託職員は各班長に避難誘導完了報告
- 施設整備班員は防災センターへ参集→トランシーバーを受け取り各所へ (様式 32・55)

- ・ 震度 5 弱以上の場合 (院内放送又は連絡あり) ※発災約 5 分後
- 本部員参集 (資料 9)

- ・ 津波到達予測時間まで余裕がある場合 (調達班長の指示あり)
- 医薬品等を 1 階から 2 階に搬送
- 内科外来職員は、内科待合患者を整形外科と脳神経外科の間のエリアに誘導し、内科外来のイスを整形外科と脳神経外科の間のエリアに移動する。

- ・ (津波到達の恐れがある場合) 津波収束後 又は
(津波到達の恐れがない場合) 医薬品搬送終了後
- 職員参集命令 (院内放送又は連絡あり)

- ・ 災害レベル 3 で職員が概ね参集後
- 災害診療準備命令 → 災害診療の準備開始
(津波浸水の場合は、入院患者の避難優先順位決定開始)
- (事前に所属する班が決まっていない職員は) 所属班の決定 (資料 11・12)

- ・ 外来班の全エリア設営完了後
- 災害診療開始命令 → 災害診療開始
(津波浸水の場合は、入院患者の避難開始命令も併せて発令)

※この用紙は提出不要

病棟チェックリスト

時間	看護師長（夜間時リーダー）	スタッフ
直後	<input type="checkbox"/> 自身の安全確保 ※アクションカードに準ずる <input type="checkbox"/> 職員へ自身の安全確保を指示 <input type="checkbox"/> 患者・家族へ説明と待機指示をスタッフへ行う <input type="checkbox"/> 患者の安全確保と被害状況を報告するよう指示する <input type="checkbox"/> トランシーバーON <input type="checkbox"/> 病棟マップとフリーシート（病名）を準備 <input type="checkbox"/> 「災害時病棟チェックリスト」、クロノロ準備・記載開始する <input type="checkbox"/> 被災状況についてスタッフより報告を受ける	<input type="checkbox"/> 自身の安全確保 ※アクションカードに準ずる <input type="checkbox"/> 職員の安全確認 <input type="checkbox"/> 患者・家族の安全確認、待機説明 <input type="checkbox"/> 設備の被害状況確認 <input type="checkbox"/> 患者・設備の状況を看護師長へ報告 <input type="checkbox"/> 酸素使用・輸液ポンプ等確認
災害診療開始 放送	<input type="checkbox"/> 入院患者数（外泊・外出、手術・検査・リハビリ中、不在者数）家族の把握	<input type="checkbox"/> 放送を受け、患者への説明
	<input type="checkbox"/> 重傷者及び透析患者、酸素使用者の把握 <input type="checkbox"/> 第1報 本部（入院班長）からの連絡にて「災害時病棟チェックリスト」の報告を行う <input type="checkbox"/> 退院可能者の把握 <input type="checkbox"/> 新規受け入れ可能者の人数把握 <input type="checkbox"/> ベッド空床の場所確保のため、ベッド移動をスタッフへ指示する <input type="checkbox"/> 転棟患者の連絡があれば、準備し、スタッフへ指示する <input type="checkbox"/> 本部の指示を受ける（電気使用続行の可否などや周辺道路状況等） <input type="checkbox"/> スタッフと情報共有、場合により発電機準備の指示をする <input type="checkbox"/> 第2報 本部（入院班長）からの連絡にて退院可能者・受け入れ人数の報告を行う <input type="checkbox"/> 経路の問題がなければ、退院の手続き、及び退院実施 （状況によっては、転院、避難所、院内待機も考える）	<input type="checkbox"/> 入院患者の状態を観察しながら、看護師長の指示を待つ ※トイレに関しては使用をせずに待つ ※電気使用の続行可否、ガスの使用可否、水道使用の可否、災害用トイレ使用の可否 ※電気使用禁止時は、輸液ポンプなど外す <input type="checkbox"/> 指示にてベッド移動を行い新規入院に備える <input type="checkbox"/> 転棟患者に対応する <input type="checkbox"/> 指示を受け、発電機準備を行う <input type="checkbox"/> 入院患者に対応しながら、看護師長の指示を待つ

時間	看護師長（夜間時リーダー）	スタッフ
	<input type="checkbox"/> 入院患者急変時は、入院班長へ報告、指示を受ける（病棟責任者医師と対応）	
	※電子カルテ使用不可時を考え、患者の連絡先がわかるものを印刷（入院誓約書があれば代用可）	
	※電子カルテ使用不可時は、紙カルテ運用となるため、スタッフへ指示する	※紙カルテ準備し、記載取り決め事項の確認
	※酸素使用患者の酸素量や点滴施行患者について、病棟責任医師とともに相談し、方針を確認する	※酸素、点滴など方針が決定すれば、必ず記載する
	<input type="checkbox"/> 本部との情報共有 <input type="checkbox"/> 勤務調整を行う（スタッフとの連絡調整）	<input type="checkbox"/> 情報共有を行う

外来チェックリスト

時間	外来統括看護師長	外来担当医師	各科外来責任者	看護スタッフ 医療事務
直後	<input type="checkbox"/> 自身の安全確保	<input type="checkbox"/> 自身の安全確保	<input type="checkbox"/> 自身の安全確保	<input type="checkbox"/> 自身の安全確保
	<input type="checkbox"/> 看護師当直室へ行き、トランシーバーを持つ 2階プロムナードで情報を得る		<input type="checkbox"/> 職員の安全確認 ※アクションカードに準ずる <input type="checkbox"/> 患者へ説明、協力依頼 <input type="checkbox"/> 「災害時情報収集メモ①」の準備、記載を開始する	<input type="checkbox"/> 職員の安全確認 <input type="checkbox"/> 設備の被害状況確認後、外来責任者へ報告 <input type="checkbox"/> 医療事務は患者一覧表を印刷する
災害診療開始放送	<input type="checkbox"/> 被災状況について外来責任者へ連絡し情報を得る	<input type="checkbox"/> 外来スタッフと共に、外来患者のトリアージを開始する <input type="checkbox"/> 帰宅（処方の必要性有無）処置待ち、入院など、必要性に応じて、外来責任者と対応する	<input type="checkbox"/> 外来統括師長へPHSにて職員・患者・設備状況の報告をする <input type="checkbox"/> 放送後、再度患者へ説明	<input type="checkbox"/> 取り残された患者がいないかトイレなども患者一覧表からチェックする <input type="checkbox"/> 外来患者のトリアージを実施し、「基本スケジュール」に色別シールを貼付する 処方希・処置有りなど記載する
			<input type="checkbox"/> 外来患者状況及び帰宅可能な患者の情報を看護スタッフへ依頼する	<input type="checkbox"/> 帰宅可能有無の情報収集を行う
	<input type="checkbox"/> 各科外来を回り、「災害時情報収集メモ」から情報を得て、報告書を作成し外来班長へ提出する		<input type="checkbox"/> 「災害時情報収集メモ」記載し外来統括師長へ報告する	<input type="checkbox"/> 患者情報を外来責任者へ報告する
	<input type="checkbox"/> 外来班班長より検査・画像診断・手術可否の情報を得る			
	<input type="checkbox"/> 入院の必要性のある赤トリアージ患者について、外来班長へ報告、指示を待つ		<input type="checkbox"/> 医師より入院の必要性のある患者の指示を受けた場合は、外来統括師長へ連絡する	<input type="checkbox"/> 赤患者の対応や急変時は、外来責任者へ報告。

時間	外来統括看護師長	外来担当医師	各科外来責任者	看護スタッフ 医療事務
	<input type="checkbox"/> 入院先病棟決定後、外来責任者へ連絡する		<input type="checkbox"/> 入院先病棟決定後は、病棟と連絡調整を行う	
	<input type="checkbox"/> 臨時薬局の設置可否の情報を各科外来責任者へ伝達する			
	<input type="checkbox"/> 帰宅可能な患者の情報を外来責任者へ依頼する	<input type="checkbox"/> 一般外来患者の対応が落ち着き次第、各科科長の指示に従う		
	<input type="checkbox"/> 本部より病院周辺のインフラを確認し、帰宅可能か外来班長と共有する		<input type="checkbox"/> 外来統括師長より帰宅可能な患者の指示を受け、帰宅させる	<input type="checkbox"/> 外来責任者の指示を受け、帰宅出来る外来患者は帰宅。その際、「基本スケジュール」には、処方有無・後日診察など記載し、回収する
	<input type="checkbox"/> 帰宅可能な患者の帰宅を外来責任者へ指示する		<input type="checkbox"/> 外来統括師長の指示にて、帰宅困難者の誘導を看護スタッフへ指示する	<input type="checkbox"/> 転院・入院待ちなど待機場所へ誘導する
	<input type="checkbox"/> 外来班長より帰宅困難者の今後の対応について指示を受ける。			<input type="checkbox"/> 臨時薬局稼働後は、患者を誘導する
	・転院、入院、避難所、院内待機に振り分け待機するように外来責任者へ指示する		<input type="checkbox"/> 看護スタッフ及び医療事務は、災害診療エリアへ応援の指示をだす。（外来の状況で）	<input type="checkbox"/> 看護スタッフ及び医療事務は、災害診療エリアへ応援に行く。（外来の状況で）
1時間後	<input type="checkbox"/> 「災害時情報収集メモ②」の報告を受け、外来班長へ報告する。		<input type="checkbox"/> 「災害時情報収集メモ②」を記載し、外来統括師長へ報告	
	<input type="checkbox"/> 看護部長とともに、災害診療エリア看護師の勤務調整を行う		<input type="checkbox"/> 外来が落ち着けば災害診療エリアで診療介助	

災害時情報収集メモ(当直師長用)

記載日時 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分

記載者 所属(_____) 氏名(_____)

1. 施設の倒壊の有無

- ① 病棟: 有・無 備考(_____)
- ② ER: 有・無 備考(_____)
- ③ 外来: 有・無 備考(_____)
- ④ オペ室: 有・無 備考(_____)
- ⑤ その他: 有・無 備考(_____)

2. ライフライン

- ① 電気:(正常・発電機使用中・停電中) → 燃料はどのくらいもつか確認 (_____ 日)
- ② 水道:(正常・貯水対応・枯渇) → 貯水がどのくらいもつか確認 (_____ 日)
- ③ 医療ガス:(供給の見込みあり・なし・枯渇) → 配管の破損も確認 (破損有・無)
- ④ 食糧:(通常・備蓄で対応・枯渇) → 備蓄がどのくらいもつか確認 (_____ 日)
- ⑤ 医薬品:(通常・備蓄で対応・枯渇) → 備蓄がどのくらいもつか確認 (_____ 日)
- ⑥ エレベーター稼働: (不可・可)

3. 医療機関の機能

- ① 手術:可・否
- ② 透析:可・否

4. 現在の患者状況

- ① 在院患者: 赤 _____ 人、黄 _____ 人
- ② 発災後受け入れた患者: 赤 _____ 人、黄 _____ 人
- ③ 転送が必要な患者: 赤 _____ 人、黄 _____ 人(人工呼吸器 _____ 人、酸素 _____ 人、担送 _____ 人、護送 _____ 人)

5. 今後の患者状況

受け入れ可能人数: 赤 _____ 人、黄 _____ 人(人工呼吸器 _____ 人、酸素 _____ 人、担送 _____ 人、護送 _____ 人)

6. 外来の受付状況

受付不可

救急のみ

受付可能 (_____ 時から _____ 時まで可能)

救急当直責任看護師 レベル3(震度6弱)

災害対策本部長: _____ PHS()

救命救急センター当直医師: _____ ()

連絡先:管理当直医師: _____ ()

連絡先:当直医師: _____ ()

災害時アクションカード

担当	活動場所	活動内容
看護師長 救急外来 応援 PHS →検査科 ; 50305 放射線科 : 50345 薬局 : 51001 ソラスト : 50358		救急患者・スタッフの安全管理 災害状況の把握と共有 津波対策の早期対応 既存患者の転棟調整と指示 新規入院患者の受け入れ準備(赤トリアージ) 災害対策本部設置

1. 自分の身の安全を確保

:

- 机の下で安全確保・当直控室でテレビをつけ、必ず各自の携帯を保持する。
 - 当直控室内にあるヘルメットとビブス着用・トランシーバー・ランタン・リュック(笛)・災害時チェックリスト(当直師長用)を持ち、救急外来へ → 上記の医師名・PHS 番号を控える
- ※リュック内常備品:水 500ml(4本) エネルギーゼリー(3個)

2. 救命救急センター当直医に PHS(通信確認含む)で救急外来へ参集の旨連絡。第一報を出す

- 防災センターより、管理当直医師以下当直者に対して **全館放送!**(なければ指示) _____ :
 「地震が発生しました。入院患者様は病棟看護師の指示に従ってください。病棟看護師はトランシーバーONにし、CH10の確認をしてください、当直医師及び技師は救急外来へ集まって下さい!」(2回)

3. 救急外来集合後、災害情報を共有する → 「CSCA」

:

災害の種類() 災害場所() 発災時刻(:)

- 災害対策本部立ち上げまでの被害情報の把握と共有(災害時外来チェックリスト記入)
- 救外看護師リーダー・防災センターに依頼できることは指示を出す。
「〇〇が発生しました。スタッフが誘導します。指示があるまでその場で落ち着いてお待ちください」
- 被害状況の把握:入院患者状況の確認・ライフラインを確認
- 災害時チェックリスト(当直師長用)に沿って、各病棟・部門の状況を収集開始。 _____ :
 当直師長より、病棟リーダーに連絡を行い、災害時病棟チェックリスト(病棟用)の内容の報告を受け、災害時情報収集メモ(当直師長用)に記入する。(倒壊・ライフライン・患者状況)

- 災害対策本部での情報共有と **EMIS 入力**

P137

<関係者ログイン>

機関コード: 1386300270

パスワード: Qn3XYZ96

津波なし

「CSCA」

- 防災センターに、**北棟の安全確認**を指示！ [] :
安全確認後・・・
 - ⇒防災センターに、**北棟シャッターと北棟講堂の解錠**を指示！
 - ⇒2階北棟医事課前へ行き、トランシーバーON・北棟パソコンにてEMIS 立ち上げ入力を行う。
- **災害対策本部設置準備開始**
- 連絡手段を確保する。PHS 使用不可の場合、有線電話や携帯電話の使用が可能か確認する。
- 白板の準備(参集した人員に指示)→組織図掲示→クロノロ(係を決める)
- 病院長・看護部長・副看護部長到着した段階で被災状況を報告し、今後の方針を確認する。

●新規患者受け入れの準備 [] :

原則: 当院では災害による新規入院重症患者は優先的に救命センターに入る。

既存の救命センター入院患者は可能な限り一般病棟に転棟し、新規入院患者の病床をあける。

- 救急外来での多数傷病者処置に備える。
 - ⇒受診中の患者は速やかに処置を終わらせる。入院する患者は、4階以上に入院させる。
- 各病棟リーダーに対して、転棟・退院可能と思われる患者の選定を行い、必要な情報を災害対策本部へ報告できるよう準備を指示する。
- エレベーター使用可となれば、各病棟よりストレッチャーを1台ずつ降ろし、2階プロムナードへ設置。

津波あり 避難開始！ [] :

◎人・物全て2階へ移動

- ソラストへ指示を出す！
 - ⇒防災より**シャッターKEY**を受け、**1階階段前のシャッターを開け**、2階への通路を確保する。そして総務課にある、**トランシーバー3台・PC(充電器共に)とグランドマスターキー**を取り、救外へ戻る。
- (救命救急センター当直医師の指示にて)防災センターに指示を出す！**一斉放送にて情報を流す。**
「津波が〇〇分後に来ます。患者様・ご家族様・職員は至急2階以上に避難して下さい。患者様・ご家族様はスタッフの指示のもと避難して下さい。」(2回) [] :
- グランドマスターキーで、**脳外科外来処置室の鍵を開ける**。(パソコン等、ソラストと共に2階へ)
脳外科外来前を救急外来患者収容のため椅子を移動させ空間の確保(放射線科・ソラストなど)
- 救急外来看護師とともに、**救外患者、2階へ移動する**。 [] :
(搬送時、人員不足の場合は病棟看護師へ応援を要請)
- **災害対策本部設置準備開始・・・以後「津波なし」に準じる** ↑ [] :

Free Memo

EMIS 入力

連絡先:事務上位
連絡先:災害対策本部

アクションカード

担当	活動場所	活動内容
当直医 当直・日直師長	救急外来当直	院内の被災状況を EMIS に上げる

1. 大規模災害が発生！以下の事項を確認してください。

記入者() 災害の種類() 災害場所() 時刻()

今からすることは、「当院の被災状況を把握する」「その情報を速やかに EMIS 上へアップする」ことです

2. 以下の物品を準備し、パソコンをインターネットに接続します。

必要物品	保管場所
パソコン(インターネット接続可能) ポケット Wi-Fi(必要時) 災害時情報収集メモ(2ページ目) 衛星電話	1F 総務課

3. 市立宇和島病院の被災状況を把握します。

- 院内管理設備担当(防災センター)と協力し、病院の被災状況を確認、災害時情報収集メモに記載
※全てを完璧に集める必要はなく、できるところから行う。
- 判明した情報を、判明した順からインターネット上にアップする。

4. 被災状況を EMIS へアップします。(EMIS 参考画面)

- パソコンで EMIS にアクセスする。(https://www.emis.mhlw.go.jp/public/s/)
- 「医療機関、都道府県、市区町村、保健所、消防、その他組織はこちら」をクリックする。
- ユーザー名、パスワードを入力し、「ログイン」をクリックする。
ユーザー名【……………】 パスワード【……………】 大文字小文字の区別あり
- 「EMIS」をクリックする。
- 市立宇和島病院の状況をそれぞれ選択し、「更新」をクリックする。
- 次の画面で「詳細入力へ」をクリックする。
- 先ほど記入した災害時情報収集メモをもとにわかる範囲で入力し、更新する。
- 情報は速やかに、そして随時更新する。

5. その他

- 他施設の情報も入手し、外部交渉担当と情報を共有する。
- 一時避難場所や避難経路を確認しておくこと。

災害時情報収集メモ

記載日時 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分

記載者 所属(_____) 氏名(_____)

1. 施設の倒壊の有無

- ① 病棟: 有・無 備考(_____)
- ② ER: 有・無 備考(_____)
- ③ 外来: 有・無 備考(_____)
- ④ オペ室: 有・無 備考(_____)
- ⑤ その他: 有・無 備考(_____)

2. ライフライン

- ① 電気:(正常・発電機使用中・停電中) → 燃料はどのくらいもつか確認 (_____ 日)
- ② 水道:(正常・貯水対応・枯渇) → 貯水がどのくらいもつか確認 (_____ 日)
- ③ 医療ガス:(供給の見込みあり・なし・枯渇) → 配管の破損も確認 (破損有・無)
- ④ 食糧:(通常・備蓄で対応・枯渇) → 備蓄がどのくらいもつか確認 (_____ 日)
- ⑤ 医薬品:(通常・備蓄で対応・枯渇) → 備蓄がどのくらいもつか確認 (_____ 日)

3. 医療機関の機能

- ① 手術: 可・否
- ② 透析: 可・否

4. 現在の患者状況

- ① 在院患者: 赤 _____ 人、黄 _____ 人
- ② 発災後受け入れた患者: 赤 _____ 人、黄 _____ 人
- ③ 転送が必要な患者: 赤 _____ 人、黄 _____ 人(人工呼吸器 _____ 人、酸素 _____ 人、担送 _____ 人、護送 _____ 人)

5. 今後の患者状況

受け入れ可能人数: 赤 _____ 人、黄 _____ 人(人工呼吸器 _____ 人、酸素 _____ 人、担送 _____ 人、護送 _____ 人)

6. 外来の受付状況

受付不可
救急のみ
受付可能 (_____ 時から _____ 時まで可能)

EMIS 参考画面

EMIS 初期画面

EMIS Emergency Medical Information System
 広域災害時医療情報システム

警戒運用中

最新情報検索
 お知らせ
 運用状況
 関係者ログイン
 災害発生リンク集
 災害発生リンク集

2016/03/29 14:15:44
 現在の情報です。

最新情報表示

災害中
 警戒中
 災害支援中
 訓練中

関係者ログイン

ログイン画面

EMIS Emergency Medical Information System

Home > ログイン/ログアウト

● ログイン情報を入力してください。

<<注意>>
 1. 機関コード、パスワードは半角英数字で入力してください。
 2. パスワードの大文字、小文字は区別されます。
 3. ログインした場合は、機関コードおよびパスワードを再入力する必要があります。
 4. [ログイン(SSU)] ボタンをクリックした場合は、SSL(https)で通信を行います。
 5. [ログイン(標準)] ボタンをクリックした場合は、SSL(http)にて通信を行います。

機関コード
 パスワード

ログイン(SSU) ※推奨
 ログイン(標準)

機関コード、パスワードを入力

EMIS 画面

EMIS Emergency Medical Information System

Home > 最新情報

最新情報

現在、緊急情報はありません。	2014年3月緊急時対応のDMAT運用体制について (緊急時)
2016/03/04 10:20	NEWS
2016/02/25 11:31	東海地区の災害時医療支援体制の整備について
2015/11/17 19:30	11月17日 緊急時情報リリースのお知らせ
2015/10/03 07:30	11月17日 緊急時情報リリースのお知らせ (災害時医療支援体制)
2015/09/29 13:42	災害時医療支援体制の整備について

緊急時入力
 標準入力

ここから緊急時入力

災害情報収集メモ(病棟用)

様式21

記載日時 年 月 日 時 分

記載者 所属() 氏名()

1. 職員の状況

スタッフの被害

Dr 名・Ns 名・他 名

有・無 被害概要

2. 施設の状況

① 病棟建物被害:

有・無 被害概要

壁・天井・床・窓ガラス・処置室・薬品・冷蔵庫など 火災や浸水の有無

3. ライフラインの状況

① 電気:(正常・発電機使用中・停電中)

② 水道:(断水 有・無)(濁り 有・無)(漏れ 有・無)(下水の異常 有・無)

③ 医療ガス:(供給 有・無)(破損 有・無)(漏れ 有・無)

④ 通信設備:(内線 可・不可)(PHS 可・不可)(ナースコール 可・不可)(館内放送 可・不可)

(電子カルテ 可・不可)(トランシーバー 可・不可)

4. 患者状況

① 入院患者: 赤 ()人、黄 ()人、緑 ()人

② 家族・来院者 有・無 被害概要

5. 災害診療開始以後の状況

① 職員の不足の有無 有・無

② 代替え職員の要求 有・無 ()人 必要スキル

③ 患者数 ()

④ 空床 4人床: 男性() 女性()

個室: ()

特室: ()

回復室: ()

その他

※退院が可能な患者を問われた場合人数: 男性 () 女性 ()

この項目は、災害診療開始以降のチェック時に記入

2025.1月 改訂

災害時情報収集メモ(外来用) ①

様式22-1

記載日時 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分

記載者 所属(_____) 氏名(_____)

1. 職員の状況

スタッフの被害

有・無

被害概要

Dr 名・Ns 名・事務 名

--

2. 施設の状況

① 外来建物被害:

有・無

被害概要

壁・天井・床・窓ガラス・処置室・薬品・冷蔵庫など 火災や浸水の有無

② 避難経路の被害:

有・無

被害概要

非常口開閉・非常階段・中央階段・障害物の有無など

3. ライフラインの状況

① 電気:(正常・発電機使用中・停電中)

② 水道:(断水 有・無)(濁り 有・無)(漏れ 有・無)

③ 医療ガス:(供給 有・無)(破損 有・無)

④ 通信設備:(内線 可・不可)(PHS 可・不可)(館内放送 可・不可)

(電子カルテ 可・不可)

4. 患者状況

① 外来患者: 赤 (_____)人、

報告事項

--

うち 酸素使用(_____)人

担送(_____)人

護送(_____)人

報告事項

② 外来患者: 黄 (_____)人、

--

うち 酸素使用(_____)人

担送(_____)人

護送(_____)人

報告事項

③ 外来患者: 緑 (_____)人、

--

うち 酸素使用(_____)人

④ 家族・来院者 (_____)人

特記事項

--

災害時情報収集メモ(外来待機用)②

記載日時 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分

記載者 所属(_____) 氏名(_____)

★ 院内統一した処方に関する取り決め事項 有 無

内容 (_____)

1 患者情報

① 赤で待機中 (_____)人

(入院)

詳細

② 黄で待機中 (_____)人

(転院など)

詳細

③ 自力で帰宅不能 (担送 _____ 人 護送 _____ 人) 家族と連絡が取れないなど
避難場所(_____)へ誘導 院内待機(_____)人

詳細

④ 自力で帰宅可能 (_____)人

詳細

⑤ その他(処方関連など)

災害時情報収集メモ(手術室用)

様式23

記載日時 年 月 日 時 分 記載者 氏名()

1. 職員の状況

Dr 名・Ns 名・他 名

スタッフの被害 有・無 被害概要

--

2. 施設の状況

① 病棟建物被害: 有・無 被害概要

壁・天井・床・窓ガラス・処置室・薬品・冷蔵庫など 火災や浸水の有無

② 避難経路の被害: 有・無 被害概要

非常口開閉・非常階段・中央階段・障害物の有無など

3. ライフラインの状況

① 電気:(正常・発電機使用中・停電中)

② 水道:(断水 有・無)(濁り 有・無)(漏れ 有・無)(下水の異常 有・無)

③ 医療ガス:(供給 有・無)(破損 有・無)

④ 通信設備:(内線 可・不可)(PHS 可・不可)(ナースコール 可・不可)(館内放送 可・不可)
(電子カルテ 可・不可)(トランシーバー 可・不可)

⑤ 大型医療機器:(麻酔器 使用可・一部不可・不可)
(ME器機 使用可・一部不可・不可)

ME器機の種類・破損状況の概要など

4. 患者状況

Room	氏名	年齢	術式	(状況)	備考	(家族状況)
						()
						()
						()
						()
						()
						()
						()

5. 災害診療開始以後の状況 (手術の可否)

頭部手術	可・否	整形外科手術	可・否
胸部手術	可・否	産婦人科手術	可・否
腹部手術	可・否		可・否
心血管手術	可・否	可能手術件数	件

その他

※使用可能な手術器械セットは、別紙使用

この項目は、災害診療開始以降のチェック時に記入

2024.1月 改訂

透析室チェックリスト 災害診療開始直後
記入後速やかに → 災害対策本部へ提出

点検結果 問題点

なし・あり

記録者

点検日時

年 月 日 時 分

透析患者状況

透析治療中(名)

それ以外の患者数(名)

透析室機器

使用数/全台数 (使用可能台数)

血液透析装置 / 15 ()

個人用透析装置 / 2 ()

多用途血液浄化装置 / 1 ()

モニター損傷 なし・あり()

備考

機械室

使用の可否(復帰見通し)

RO装置 可・否()

透析液供給装置 可・否()

A剤溶解装置 可・否()

B剤供給装置 可・否()

備考

設備

建物損傷 なし・あり()

電気・設備損傷 なし・あり()

物・棚損傷 なし・あり()

電子機器損傷 なし・あり()

備考

出勤職員数

看護師

ME

ME 機器チェックリスト 災害診療開始直後
 記入後速やかに → 災害対策本部へ提出

点検結果 問題点
なし ・ あり

記録者 _____ 点検日時 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分

新生児・小児 (6F) 使用数/全台数 (使用可能台数)		使用不可・故障機器
保育器	/ ()	
搬送用保育器	/ ()	
人工呼吸器	/ ()	
N H F	/ ()	

MEセンター (6F)	備考
建物損傷 なし ・ あり()	
電気・設備損傷 なし ・ あり()	
物・棚損傷 なし ・ あり()	
電子機器損傷 なし ・ あり()	

ICU (3F) 使用数/全台数 (使用可能台数)	使用不可・故障機器
人工呼吸器 / ()	
マスク換気 / ()	
N H F / ()	
C H D F / ()	
Arcticsun 使用可 ・ 使用中 ・ 故障中	

循環器 (3F,1F) 使用数/全台数 (使用可能台数)	使用不可・故障機器
I A B P / ()	
E C M O / ()	
人工心肺 / ()	
自己血回収器 使用可 ・ 使用中 ・ 故障中	

MEセンター (B1F 津波被害なし)	備考
建物損傷 なし ・ あり()	
電気・設備損傷 なし ・ あり()	
物・棚損傷 なし ・ あり()	
電子機器損傷 なし ・ あり()	

出勤職員数(出勤職員/全職員)

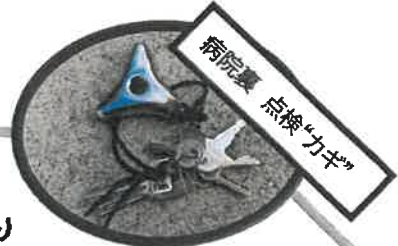
施設設備チェックリスト ② 災害診療開始
 ＊安全確認後(津波未到達・津波引いた後)

点検結果 問題点
なし・あり

液化酸素→ボンベ庫→吸引・空気 → 提出先 施設整備班 班長

記録者 _____ 点検日時 _____ 年 月 日 時 分

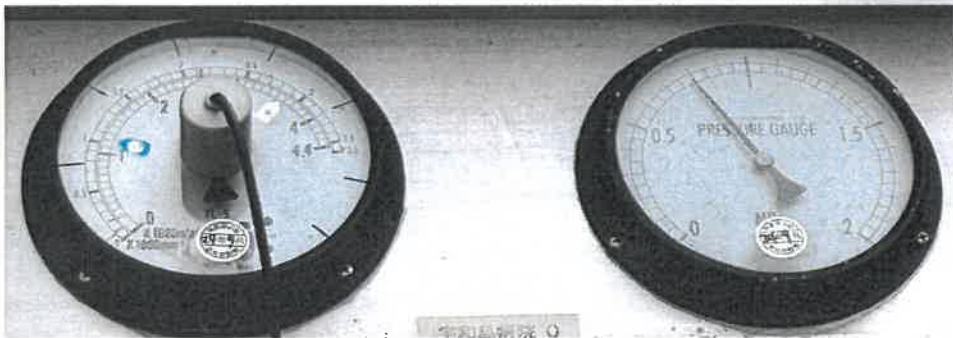
ボンベ庫のカギ・トランシーバーを持参してチェックする事
 (情報収集を密にして・適時連絡を)



病院裏

液化酸素

- 液化酸素ボンベ・配管 (目視・漏れ音) なし ・ あり
- 残量の確認 (下図に印を記入 左メーター“1.28”を切ると中央監視室アラーム発生)



(新)マニホールド庫(非常電源設備 あり 自動シャッターの“カギ”を開けて点検)

- 各種ボンベ・配管 (目視・漏れ音) なし ・ あり (酸素・窒素・炭酸ガス 配管)

(旧)マニホールド庫

- 酸素配管・バルブ (目視・漏れ音) なし ・ あり (配管()・バルブ())

異常あり 災害対策本部に連絡し、対応方法を仰ぐ(長谷川酸素 TEL0895-22-5432)

エネルギーセンター 4F

医療ガス機械室

- 医療用圧縮空気設備 コンプレッサー・配管 (目視・漏れ音) なし ・ あり
- 中央吸引設備 コンプレッサー・配管(目視・漏れ音) なし ・ あり

異常あり 災害対策本部に連絡し、対応方法を仰ぐ(エフエスユニ TEL087-837-7220)

リハビリチェックリスト

部門名 リハビリテーション科

報告者名

報告日時 年 月 日 午前 ・ 午後 時 分

職員状況 在院職員数 名	死亡 名 重症 名 中等症 名 軽症 名 被害無 名 未確認 名	報告事項（死亡者氏名・受傷程度等）
------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------

破壊状況：		
理学療法室	壁・天井の破壊：	有 ・ 無
	避難経路確保：	困難 ・ 可能
作業療法室	電気使用状況：	使用不能・一部使用不能・使用可能
	電話通話状況：	不 通・一部不通・通話可能
言語療法室	水道使用状況：	使用不能・一部使用不能・使用可能
	医療ガス：	使用不能・一部使用不能・使用可能

その他報告事項

※ 報告者は直ちに災害対策本部（施設整備班長）へ提出すること。

放射線科チェックリスト

報告者名 放射線科

報告日時 年 月 日 午前 ・ 午後 時 分

職員状況	死亡	名
	重症	名
在院職員数	中等症	名
名	軽症	名
	被害無	名
	未確認	名

報告事項：（死亡者氏名等）

破壊状況： 壁・天井の破壊	：	有	・	無
避難経路確保	：	困難	・	可能
電気使用状況	：	使用不能・一部使用不能・使用可能		
電話通話状況	：	不 通・一部不通・通話可能		
水道使用状況	：	使用不能・一部使用不能・使用可能		

機械類の状況

撮影装置等 (検査内容)	可	否	破損状況 (破損、問題等あれば+)				
			本体	撮影室	操作室	汚染状況	その他
一般撮影 1							
一般撮影 2							
一般撮影 3							
一般撮影 4							
一般撮影 (その他)							
ポータブル 1							
ポータブル 2							
ポータブル 3							
ポータブル 4							
DSA 1							
DSA 2							
CT (1)							
CT (2)							
MRI 1							
MRI 2							
MRI 3							
TV (1)							
TV (2)							
TV (3)							
RI							
リニアック							

その他報告事項 (RI検査室および放射性同意元素の状況等)

※ 報告者は直ちに災害対策本部 (施設整備課) へ提出すること。

チェックシート No.1

臨床検査科チェックリスト(初動)

災害時・臨床検査科使用機器 状況調査票(1) 職員・破壊・使用機器状況調査
輸血用血液製剤在庫状況

提出先:施設整備班 災害対策本部

報告者名: _____

報告日時: 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 午前・午後 _____ 時 _____ 分

①職員状況

在院職員数 名	死亡
	重症
	中等症
	軽症
	被害無
	未確認

②報告事項:死亡者氏名等

--

③破壊状況

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (_____ : _____)現在

確認事項	状況	報告事項(その他):
壁・天井の破壊	有 ・ 無	
避難経路確保	困難 ・ 可能	
電気使用状況	使用不能 ・ 一部使用不能 ・ 使用可能	
電話使用状況	不通 ・ 一部不通 ・ 通話可能	
水道使用状況	使用不能 ・ 一部使用不能 ・ 使用可能	
水漏れ	有 ・ 無	

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (_____ : _____)現在

④使用機器状況調査		
血液ガス分析機		
機種名	動作確認	備考
RAPIDPoint500e (ガス分析装置)	可 ・ 不可	1号機
RAPIDPoint500e (ガス分析装置)	可 ・ 不可	2号機
検体検査システム	可・確認中・不可	CLINILAN GL3 生化学・血液・輸血
輸血管理システム	可・確認中・不可	BTD X2
生理検査システム	可・確認中・不可	AstroStage Prime Vita Plus
細菌検査システム	可・確認中・不可	CLINILAN MB3

⑤輸血用血液製剤在庫状況			
保冷库温度・動作確認	未検査	℃	可・不可
	予約済	℃	可・不可
	自己血	℃	可・不可
	感染性自己血	℃	可・不可
	FFP	℃	可・不可
Ir-RBC-LR2		バック数	
O			
A			
B			
AB			
FFP-LR240		バック数	
O			
A			
B			
AB			

報告事項(その他)

チェックシートNo.2

臨床検査科チェックリスト(災害診療対応)

災害時・臨床検査科使用機器 状況調査票(2)緊急検査機器

提出先:災害対策本部

報告者名: _____

報告日時: 令和 年 月 日 午前・午後 時 分

②使用機器 状況調査(2) (緊急検査機器)

令和 年 月 日(:)現在

分野	機種名	検査実施状況	備考
検体検査システム	CLINILAN GL3	可・確認中/未確認・不可	生化学・血液・輸血(災害診療時の各機器端末機含む)
	RAPIDcomm	可・確認中/未確認・不可	ガス分析サーバー
輸血管理システム	BTDX2	可・確認中/未確認・不可	
生理システム	AstroStage / PrimeVita	可・確認中/未確認・不可	
細菌システム	CLINILAN MB3	可・確認中/未確認・不可	
病理診断支援システム	Dr.ヘルパー	可・確認中/未確認・不可	
ガス分析装置	RAPIDPoint500e	可・確認中/未確認・不可	
生化学免疫	cobas8000①②	可・確認中/未確認・不可	
	cobas6000	可・確認中/未確認・不可	
血糖血漿	GA09-II①②	可・確認中/未確認・不可	
自動HbA1c分析	G11①②	可・確認中/未確認・不可	
尿一般	US-1000	可・確認中/未確認・不可	
浸透圧分析装置	OM-6060	可・確認中/未確認・不可	
血算	XN-1000	可・確認中/未確認・不可	
凝固線溶	CN-3000(1号機)(2号機)	可・確認中/未確認・不可	
血液型・SCR	オーソ ビジョン Swift	可・確認中/未確認・不可	
心電図	ECG-2450(救外)	可・確認中/未確認・不可	
	ECG-2450(出張メイン)	可・確認中/未確認・不可	
	ECG-1450(出張用サブ)	可・確認中/未確認・不可	
	ECG-1551(出張用サブサブ)	可・確認中/未確認・不可	
付帯機器	冷蔵庫・遠心器など	可・確認中/未確認・不可	
純水製造装置	TRO-150RC①②	可・確認中/未確認・不可	cobas8000用
純水製造装置	TRO-60RXC	可・確認中/未確認・不可	cobas6000用

報告事項(その他):

チェックシートNo.3 臨床検査科チェックリスト(一般診療前)

災害時・臨床検査科使用機器 状況調査票(3)その他 保有機器

提出先:災害対策本部(医事課)

報告者名: _____

報告日時: 令和 年 月 日 午前・午後 時 分

⑤使用機器 状況調査表(2)(その他 保有機器・等)

令和 年 月 日 (:)現在

分類	機種名	検査実施状況	
検体検査部門 (生化学・一般・免疫)	一般(尿・便)	全自动尿分析装置AX-4061 尿沈渣分析装置 AI-4510①② 便潜血分析装置 OCセンサーio 顕微鏡	可・確認中・不可 可・確認中・不可 可・確認中・不可 可・確認中・不可
	親検体保存分注機	iMS、MPAM	可・確認中・不可
	免疫	HISCL-800	可・確認中・不可
	血沈	Quick eye-8①② 迅速血沈計用 転倒混和器	可・確認中・不可 可・確認中・不可
	β-Dグルカシ-エンドトキシン	LIMUSAVE MT-7500	可・確認中・不可
		前処理用恒温槽	可・確認中・不可
		遠心機③④⑤⑥⑦⑧⑨	可・確認中・不可
		冷蔵庫④⑤⑦	可・確認中・不可
		受付端末	可・確認中・不可
検体検査部門 (血液)	血算	ADVIA2120i	可・確認中・不可
	新生児ビリルビン	ビリルビンメーターB-105N	可・確認中・不可
	塗抹標本	SP-50 その他:	可・確認中・不可
採血室	採血管準備	BC・ROBO-8001 その他:	可・確認中・不可
	システム		可・確認中・不可
輸血	FCM	DxFLEX	可・確認中・不可
	PBSC	液体塗薬タンク その他:	可・確認中・不可
病理検査部門	システム	Dr.ヘルパー BeginS	可・確認中・不可
	薄切	トラストーム TTM-200	可・確認中・不可
	固定包埋	ASP6025	可・確認中・不可
	固定包埋	Tissue-Tek VIP5Jr	可・確認中・不可
	自動ガラス封入装置	Tissue-Tek Glas	可・確認中・不可
	包埋	ティッシュ・テック TECプラスシステム	可・確認中・不可
	凍結切片作製装置	CM1950	可・確認中・不可
	凍結装置	Hito-Tek PINO	可・確認中・不可
	自動染色装置	Tissue-Tek PrismaPlus	可・確認中・不可
	自動免疫染色装置	Autostainer Link48	可・確認中・不可
	免疫染色	PT Link	可・確認中・不可
	細胞塗抹	AutoSmear CF-12D	可・確認中・不可
	薬用冷蔵ショーケース	2台	可・確認中・不可
	ディープフリーザー	MDF-U33V	可・確認中・不可

分類	機種名	検査実施状況		
生理検査部門	心電図	ECG-2450①/ECG-2550-01②/ECG-2450③	可・確認中・不可	
	ホルター	ホルター心電図解析装置(記録器4台含) ABPM(24時間血圧ホルター)	可・確認中・不可 可・確認中・不可	
	ABI	ABI	可・確認中・不可	
	SPP	PAD3000	可・確認中・不可	
	呼吸機能	CHESTAC-8900①(ガスあり)	可・確認中・不可	
	呼吸機能	CHESTAC-8900②(ガスなし)	可・確認中・不可	
	呼吸機能	呼気NO	可・確認中・不可	
	呼吸機能	PSG	可・確認中・不可	
	眼底	眼底カメラDRS Plus	可・確認中・不可	
	脳波	脳波装置(予備も含)	可・確認中・不可	
	FMD	FMD	可・確認中・不可	
	トレッド	STM-2000 / STS-2100	可・確認中・不可	
	心機図	心機図検査装置	可・確認中・不可	
	ABR	ABR	可・確認中・不可	
	腹US	HI VISION Preirus	可・確認中・不可	
	腹US	Aprio i800	可・確認中・不可	
	腹US	ARIETTA 850	可・確認中・不可	
	肝治療	Arfa RF ABLATION SYSTEM	可・確認中・不可	
	心US	Aprio i800	可・確認中・不可	
	心US	ACUSON SC2000(ワークステーション含)	可・確認中・不可	
	心US	Vivid E9(Echo PAC含)	可・確認中・不可	
	心電図	ECG-2450(ICU)	可・確認中・不可	
	心電図	ECG-2450(HCU)	可・確認中・不可	
	心電図	ECG-2450(RI)	可・確認中・不可	
	心電図	ECG-2450(7東)	可・確認中・不可	
	心電図	ECG-2550(感染病用専用[5東])	可・確認中・不可	
	細菌検査部門	SCOPE 21	ゲル撮影装置	可・確認中・不可
		Mupid-one	電気泳動装置	可・確認中・不可
		MRSA遺伝子	Gene Atlas E02	可・確認中・不可
血液培養		BACT/ALERT 3D	可・確認中・不可	
感受性		VITEK 2	可・確認中・不可	
システム		myla	可・確認中・不可	
抗酸菌/コロナPCR		TRCReady-80	可・確認中・不可	
コロナPCR		Smart Gene	可・確認中・不可	
迅速検査		Filmarray	可・確認中・不可	
同定検査		VITEK MS キャビネット	可・確認中・不可 可・確認中・不可	
培養検査		クリーンベンチSC-13MAC	可・確認中・不可	
感染性廃棄物滅菌処理用		ハイクレープHVE-50 II	可・確認中・不可	
コロナPCR		LoopamEXIA	可・確認中・不可	

報告事項(その他):

チェックシート

臨床検査科 施設・設備・環境 破壊状況 調査票

No.

部門:

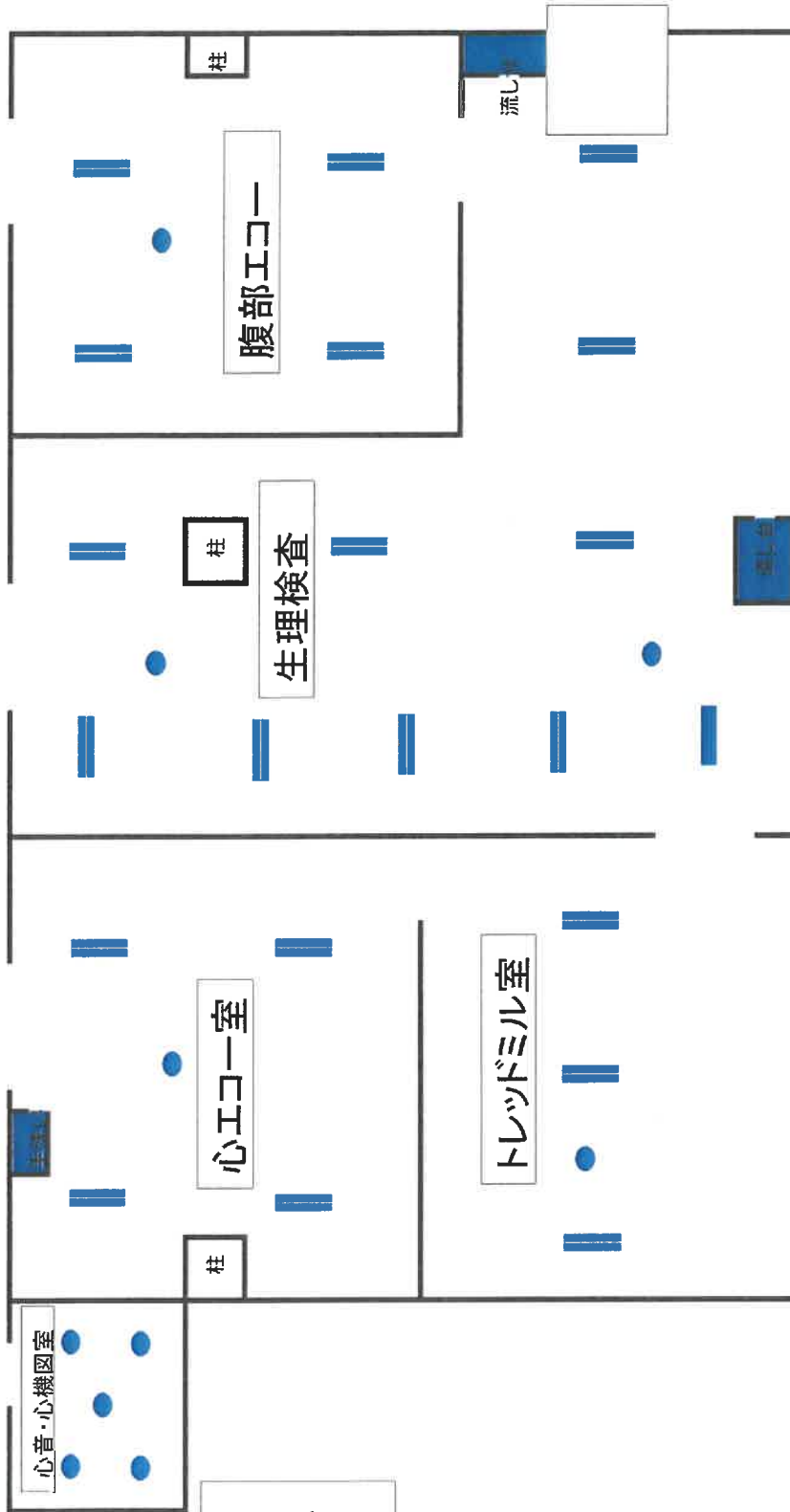
日時: 月 日 時 分

		備 考
壁・天井の破壊	有 ・ 無	
避難経路確保	困難 ・ 可能	
電気使用状況	使用不能・一部使用不能・使用可能	
電話通話状況	不通 ・ 一部不通・通話可能	
水道使用状況	使用不能・一部使用不能・使用可能	
水漏れ	有 ・ 無	

(使用方法)

- 1、各部門担当者は破壊状況を調査する。有害事象ありの場合は備考欄に記入、責任者に提出する。
- 2、責任者は災害時・臨床検査科チェックリスト(初動)に転記する。

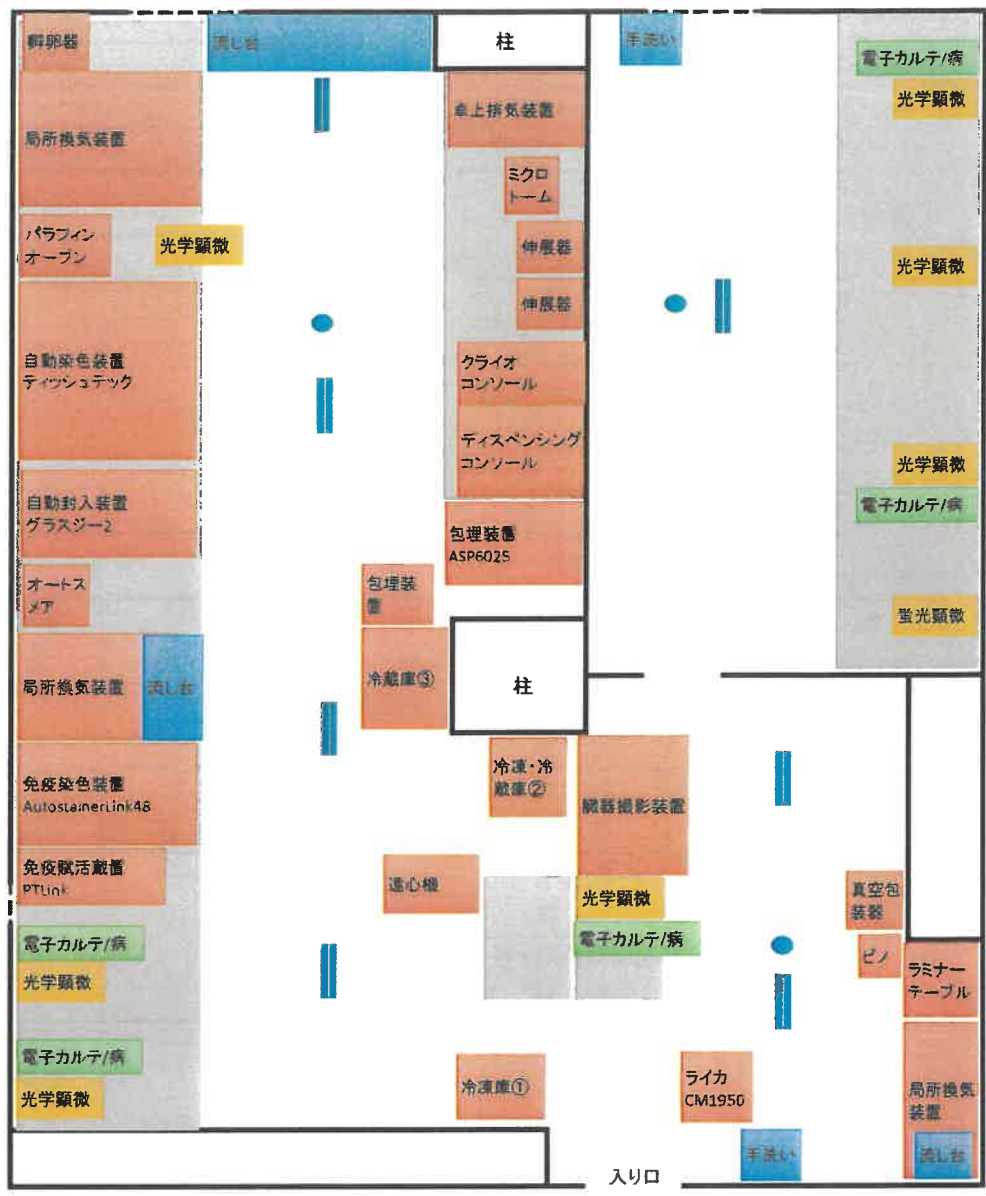
※見取り図に有害事項を赤字で記入する。(水漏れあり、壁に亀裂あり、など)



生理検査室見取り図
 (一般生理・腹部エコー・
 心エコー・トレッドミル・心
 音心機図室)

地震直後は壁の亀裂や建物の破損、漏水、等がないか記入。
 夜間はむやみやたらに電気をつけたり、水道水の確認をしない。

病理検査
室見取り図



地震直後は壁の亀裂や建物の破損、漏水、等がないか記入。
夜間はむやみやたらに電気をつけたり、水道水の確認をしない。

食養科チェックリスト

部門名 食養科

報告者名 _____

報告日時 年 月 日 午前 ・ 午後 時 分

人員の状況

在院職員数	名
死亡	名
重症	名
中等症	名
軽症	名
被害無	名
未確認	名

報告事項：（死亡者氏名など）

施設の状況

建物の損傷	壁 有・無	天井 有・無	床 有・無	窓ガラス 有・無	照明器具 有・無
電気	停電 有・無	非常用電源装置 可・不可			
上水道	断水 有・無	断水無しの場合		断水有りの場合	
		濁り；有・無	水漏れ；有・無	つまり；有・無	匂い；有・無
下水道	排水 可・非	排水不可の場合			
		逆流；有・無			
ガス	警報器作動音 有・無	ガス遮断装置の作動 実施・未実施			
調理用備品	蒸気釜（回転釜） 可・不可	ライスプロ 可・不可	スチコン 可・不可	食器洗浄機 （食器洗浄室） 可・不可	
	冷蔵庫・冷凍庫 可・不可	ガスコンロ 可・不可			
その他設備	電話 可・不可	コンピューター 可・不可		トランシーバー 可・不可	

調理の可否

可 能 ・ 一部可能 ・ 不可能

一部使用可能な設備 → _____

設備使用不可能な場合の主要な原因 → _____

その他報告事項（給茶機のバルブの状況等）

	4西	5西	5東	6西	6東	7西	7東	8西	8東
バルブ	開・閉	開・閉	開・閉	開・閉	開・閉	開・閉	開・閉	開・閉	開・閉

※ 報告者は直ちに災害対策本部（施設整備班長）へ提出すること。

情報管理チェックリスト	第 版
--------------------	------------

部門名	医事課情報管理係
報告者名	
報告日時	年 月 日 午前 ・ 午後 時 分

職員状況 在院職員数 名	死亡	名
	重症	名
	中等症	名
	軽症	名
	被害無	名
	未確認	名

報告事項：（死亡者氏名など）

施設及び設備の被害状況

サーバ室の損傷	壁	天井	床フロア	照明器具	空調
	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
情報管理室の損傷	壁	天井	床フロア	照明器具	
	有・無	有・無	有・無	有・無	
カルテ庫の損傷	壁	天井	床フロア	照明器具	避難経路
	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
各ネットワーク	診療系	インターネット(STN)		インターネット(NTT)	行政系
	有・無	有・無		有・無	有・無
無線ネットワーク	無線LAN				
	利用可 ・ 利用不可				
基幹系システム	電子カルテシステム	医事システム		オンライン資格確認	
	有・無	有・無		有・無	
	放射線系システム	生理検査システム		検体検査システム	
	有・無	有・無		有・無	
その他					

その他報告事項（各フロアのカルテ端末状況等）

※ 報告者は直ちに災害対策本部（施設整備班長）へ提出すること。

設備委託チェックリスト

所属名	防災センター（設備業務委託）						
報告者名							
報告日時	年	月	日	午前	午後	時	分

患者状況	死亡	名	職員状況	死亡	名	
	重症	名		重症	名	
	中等症	名		在院職員数	名	
	軽症	名		名	軽症	名
	被害無	名		被害無	名	
	未確認	名		未確認	名	

被害状況

電	気	停電 有・無	非常用電源装置 有・無	照明器具破損 有・無		
上	水道	断水 有・無	濁り 有・無	水漏れ 有・無		
下	水道	排水 可・非	天井漏れ 有・無	床漏れ 有・無		
ガ	ス	漏れ 有・無	元栓締め 可・非			
室内の損傷		壁 有・無	天井 有・無	床漏れ 有・無	窓ガラス 有・無	
経路の確保		非常口開放 可・不可	非常階段 可・不可	屋内階段 可・不可	障害物撤去 可・不可	防火戸 可・不可
医療用酸素		供給 有・無	漏れ 有・無	漏れの程度 大量・中等・少	シャットオフバルブ 可・不可	
コンプレッサー		供給 有・無	漏れ 有・無	漏れの程度 大量・中等・少	シャットオフバルブ 可・不可	
その他設備		電話 可・不可	非常放送 可・不可			
その他報告事項：（死亡者名等）						

総合判定	被害無し			
	被害有り	使用可	修繕にて使用可	使用不可

※ 報告者は直ちに災害対策本部（施設整備班長）へ提出すること。

その他部門チェックリスト

部 門 名 _____

報告者名 _____

報告日時 年 月 日 午前 ・ 午後 時 分

職員状況	死亡	名
	重症	名
在院職員数	中等症	名
名	軽症	名
	被害無	名
	未確認	名

報告事項：（死亡者氏名など）

破壊状況： 壁・天井の破壊：	有 ・ 無
避難経路確保：	困難 ・ 可能
電気使用状況：	使用不能・一部使用不能・使用可能
電話通話状況：	不 通・一部不通・通話可能
水道使用状況：	使用不能・一部使用不能・使用可能
コンピューター：	使用不能・一部使用不能・使用可能

その他報告事項

※ 報告者は直ちに災害対策本部（施設整備班長）へ提出すること。

災害時部署別チェックリスト提出確認リスト

	部門	様式	部署名	提出確認	
災害診療準備命令後に回収	病棟	21	ICU		
			HCU		
			4西		
			5東		
			5西		
			6東(NICU含む)		
			7東		
			7西		
			8東		
			8西		
			各部署より提出	外来	22
内科					
内視鏡室					
中央処置室					
外科					
整形外科					
脳神経外科					
小児科					
産婦人科					
眼科					
耳鼻いんこう科					
皮膚科					
泌尿器科					
歯科口腔外科					
部門	23	手術室			
		24		中央材料室	
		25		透析室	
		26		MEセンター	
		27		リハビリ	
		28		放射線科	
		29		臨床検査科	
		30		食養科	
		31		医事課情報管理係	
		32		設備委託	
	33	警備・清掃委託			
	34	看護部長室			
		医療安全管理部・感染管理部			
		薬局			
		総務管理課			
		医事課医事係			
		医事課地域連携係			
		医事委託			
		SPDセンター			
		リネン			

※ すべてのチェックリストについて、情報通信班と共有すること(EMIS入力・本部報告書作成のため)

通信機器使用チェックリスト

通信機器等	使用可	使用不可	備考
衛星携帯電話			
通常電話回線			
防災無線			
携帯電話			
パソコン通信			
トランシーバー			

- ※1 災害発生時直ちに使用の可否をチェックすること。
- ※2 テレビ、ラジオなどのメディアはオープンにすること。

職員被害状況集計表 (外来)

部署名	死亡	重症	中等症	軽症	午後・午前	時	分	現在
救急外来								未確認
内科								
内視鏡室								
中央処置室								
外科								
整形外科								
脳神経外科								
小児科								
産婦人科								
眼科								
耳鼻いんこう科								
皮膚科								
泌尿器科								
歯科口腔外科								

※医師はチェックリストがないため、参集していない医師に電話で被害状況を確認すること

職員被害状況集計表 (病棟・外来以外)

年 月 日 午前・午後 時 分 現在

部署名	死亡	重症	中等症	軽症	被害無	未確認
看護部長室						
医療安全管理部・感染管理部						
手術室						
中央材料室						
リハビリ						
放射線科						
臨床検査科						
MEセンター						
食養科						
薬局						
総務管理課						
医事課(情報管理係は別)						
医事課情報管理係						
医事委託						
設備委託						
警備委託						
SPDセンター						
リネン						

※医師はチエックリストがないため、参集していない医師に電話で被害状況を確認すること

施設・設備被害状況集計表 (外来)

年 月 日 午前・午後 時 分 現在

部署名	壁・天井破損		避難経路確保		電気使用状況			電話通話状況			水道使用状況			その他	
	有	無	困難	可能	不能	一部可能	可能	不通	一部不通	可能	不能	一部可能	可能	使用不能設備名	状況
救急外来															
内科															
内視鏡室															
中央処置室															
外科															
整形外科															
脳神経外科															
小児科															
産婦人科															
眼科															
耳鼻いんこう科															
皮膚科															
泌尿器科															
歯科口腔外科															

施設・設備被害状況集計表 (病棟・外来以外)

年 月 日 午前・午後 時 分 現在

所屬	壁・天井破損		避難経路確保		電気使用状況			電話通話状況			水道使用状況			その他	
	有	無	困難	可能	不能	一部可能	可能	不通	一部不通	可能	不能	一部可能	可能	使用不能設備名	状況
看護部長室															
医療安全管理部・感染管理部															
手術室															
中央材料室															
リハビリ															
放射線科															
臨床検査科															
MEセンター															
食養科															
薬局															
総務管理課															
医事課(情報管理係は別)															
医事課情報管理係															
医事委託															
設備委託															
警備委託															
SPDセンター															
リネン															

No.() 時間(:) 災害時チェックリスト(外来師長用) サイン()

	異常なし	職員被害	1.施設状況		2.ライフライン				3.患者状況			帰宅困難者			
			建物	避難経路	①電気	②水道	③医療ガス	④通信設備	赤	黄	緑		処方希望		
小児科															
50237															
耳鼻科															
50239															
皮膚科															
50242															
泌尿器科															
50243															
眼科															
50241															
整形外科															
50236															
脳外科															
50240															
外科															
50331															
産婦人科															
50238															
内科															
50234															
内視鏡室															
50233															
中央処置室															
50245															
歯科															
50244															
透析室															
50230															
救急外来															
50225															
放射線科															
50232															
中央材料室															
50231															
人間ドック															
50088															

災害診療準備命令後
 施設整備班員(検・放)から本部(施設整備班長)へ提出
 情報通信班員が各所に配布

災害時オーダー可能検査チェックリスト（速報）

臨床検査

検体検査システム
 血液ガス分析
 血算
 凝固線溶
 生化学
 尿一般
 血液型・SCR
 心電図

輸血システム
 生理検査システム

放射線

一般撮影 1
 一般撮影 2
 一般撮影 3
 一般撮影 4
 ポータブル 1
 ポータブル 2
 ポータブル 3
 ポータブル 4
 DSA 1
 DSA 2
 CT (1)
 CT (2)
 MRI 1
 MRI 2
 MRI 3
 DR (1)
 DR (2)
 RI
 リニアック

放射能汚染 有・無

※使用不可について消去すること

各班代表者連絡先一覧

班名	役職	従事場所	氏名	内線番号	備考	
病院局本部	病院局本部長	エネルギーセン ター2階災害対 策本部室				
	病院局副本部長					
病院本部	病院本部長					トランシーバー所有
	入院班長					トランシーバー所有
	入院副班長					
	入院副班長					
	外来班長					トランシーバー所有
	外来副班長					
	外来副班長					
	調達班長					トランシーバー所有
	情報通信班長					トランシーバー所有
	記録班長					
施設整備班長					トランシーバー所有	
情報通信班						トランシーバー所有
外来班(トリアージポスト)	責任者	立体駐車場屋上			トランシーバー所有	
	看護師リーダー 事務リーダー					
外来班(トリアージ赤)	責任者	中央処置室			トランシーバー所有	
	看護師リーダー 事務リーダー					
外来班(トリアージ黄)	責任者	北棟講堂			トランシーバー所有	
	看護師リーダー 事務リーダー					
外来班(トリアージ緑)	責任者	立体駐車場屋上			トランシーバー所有	
	看護師リーダー 事務リーダー					
外来班(トリアージ黒)	責任者	内科処置室			トランシーバー所有	
	事務リーダー					
入院班	ICU担当医師	ICU			トランシーバー所有	
	ICU看護師			23023		
	HCU担当医師	HCU			トランシーバー所有	
	HCU看護師			23021		
	4西担当医師	4西			トランシーバー所有	
	4西看護師			24000		
	5東担当医師	5東			トランシーバー所有	
	5東看護師			25000		
	5西担当医師	5西			トランシーバー所有	
	5西看護師			25002		
	6東担当医師	6東			トランシーバー所有	
	6東看護師			26000		
	NICU看護師	NICU		26016		
	7東担当医師	7東			トランシーバー所有	
	7東看護師			27000		
	7西担当医師	7西			トランシーバー所有	
7西看護師			27002			
8東担当医師	8東			トランシーバー所有		
8東看護師			28000			
8西担当医師	8西			トランシーバー所有		
8西看護師			28002			
施設整備班	機器担当責任者					
	情報管理責任者					
	臨床検査責任者					
	放射線責任者					
調達班	給食担当責任者					
DMAT		P178				

診療技術部門連絡先一覧

場所	内線番号	備考
臨床検査科(代表)		
臨床検査科(緊急検査)	22008	
臨床検査科(輸血)	22007	
臨床検査科(心電図)	22018	
放射線科(代表)		
放射線科(CT)	21017	
放射線科(MRI)	21002	
臨時薬局		
調剤室	21035	

患者応受チェックリスト

医療機関名	外来受入状況		入院受入状況		当院への転送	人的派遣		被害状況
	可	不可	可	不可		医師	看護師	
JCHO宇和島病院 TEL 22-5616 FAX 24-5838								
宇和島市立津島病院 TEL 32-2011 FAX 32-2493								
宇和島市立吉田病院 TEL 52-0611 FAX 52-3000								
愛媛県立中央病院 TEL 089-947-1111								
愛媛大学医学部附属病院 TEL 089-964-5111								
松山赤十字病院 TEL 089-924-1111								
TEL FAX								
TEL FAX								
TEL FAX								
TEL FAX								
TEL FAX								

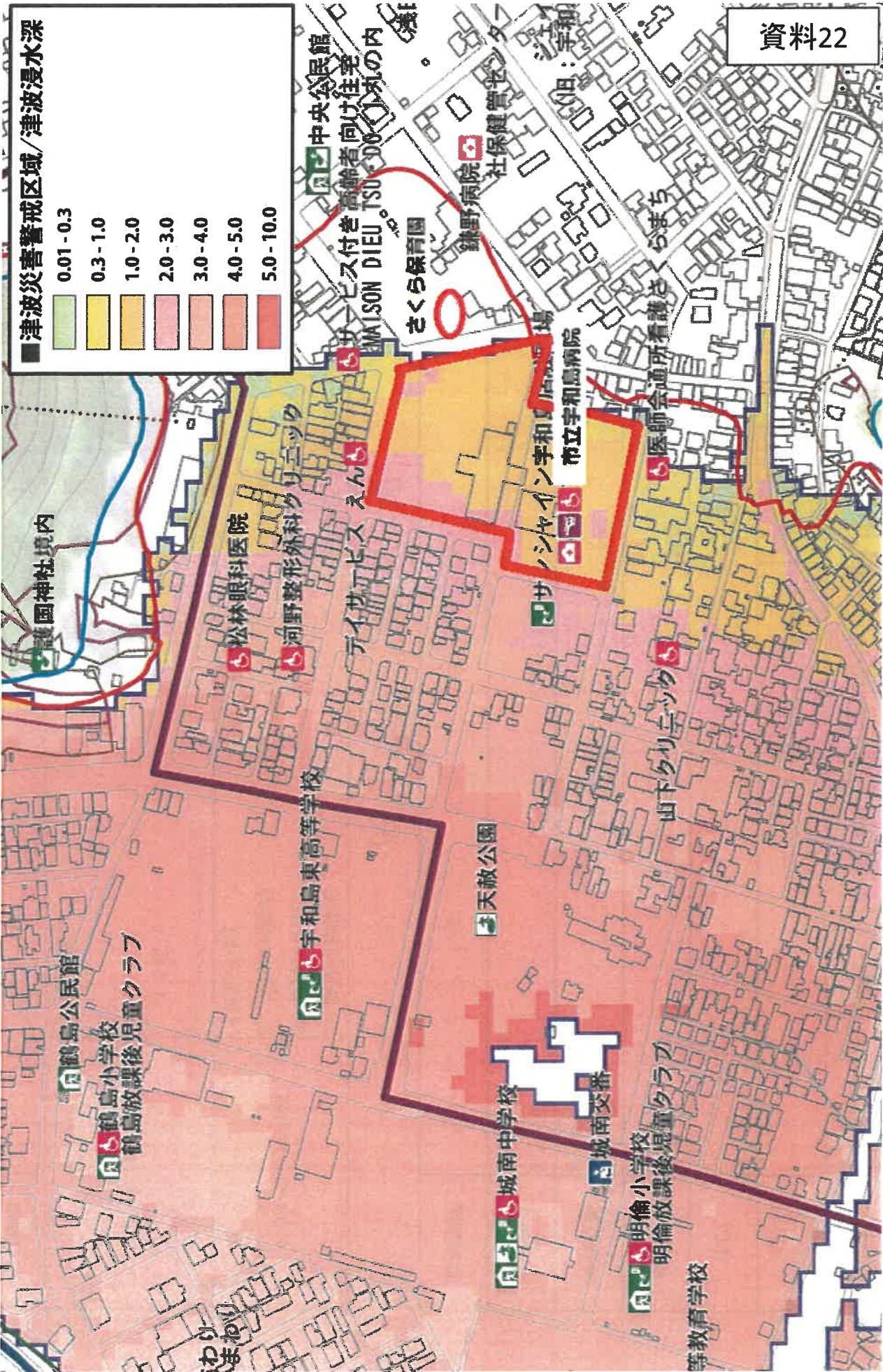
ボランティア申込書・登録用紙

No. _____

フリガナ 氏名		性別	男・女	生年月日 (年齢)	年 月 日 () 歳
住所	〒				
電話番号	自宅 () - ()	携帯 () - ()			
特殊技能	1: 医師 ()	2: 看護師	3: 歯科医師	4: 薬剤師	5: コメディカル
所属団体	6: その他 () 1: なし 2: あり ()				
活動期間	年 月 日	～	年 月 日		

決 定 事 項

ボランティア内容	1: 医療活動援助 () 3: 食料炊き出し 5: 道路交通整理 【特記事項】	2: 患者の付き添い・搬送支援 4: 援助物品整理 6: その他 ()
活動場所	1: トリアージエリア () 3: その他 ()	2: 病棟 ()
活動期間	年 月 日	～ 年 月 日



【宇和島】明倫地区、鶴島地区、宇和津地区、番城地区

津波災害警戒区域/津波浸水深

0.01 - 0.3
0.3 - 1.0
1.0 - 2.0
2.0 - 3.0
3.0 - 4.0
4.0 - 5.0
5.0 - 10.0

■土砂災害

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害警戒区域

■避難場所等

- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 津波緊急避難場所
- 津波緊急避難所
- 津波避難目標地点
- 津波避難ビル

■公共施設

- 市役所関係機関
- 県庁関係機関
- 警察関係機関
- 消防関係機関
- 医療関係機関
- ヘリコプター着陸帯

■防災関連施設

- 防災倉庫
- 水防倉庫
- 危機管理水位計
- 河川監視カメラ

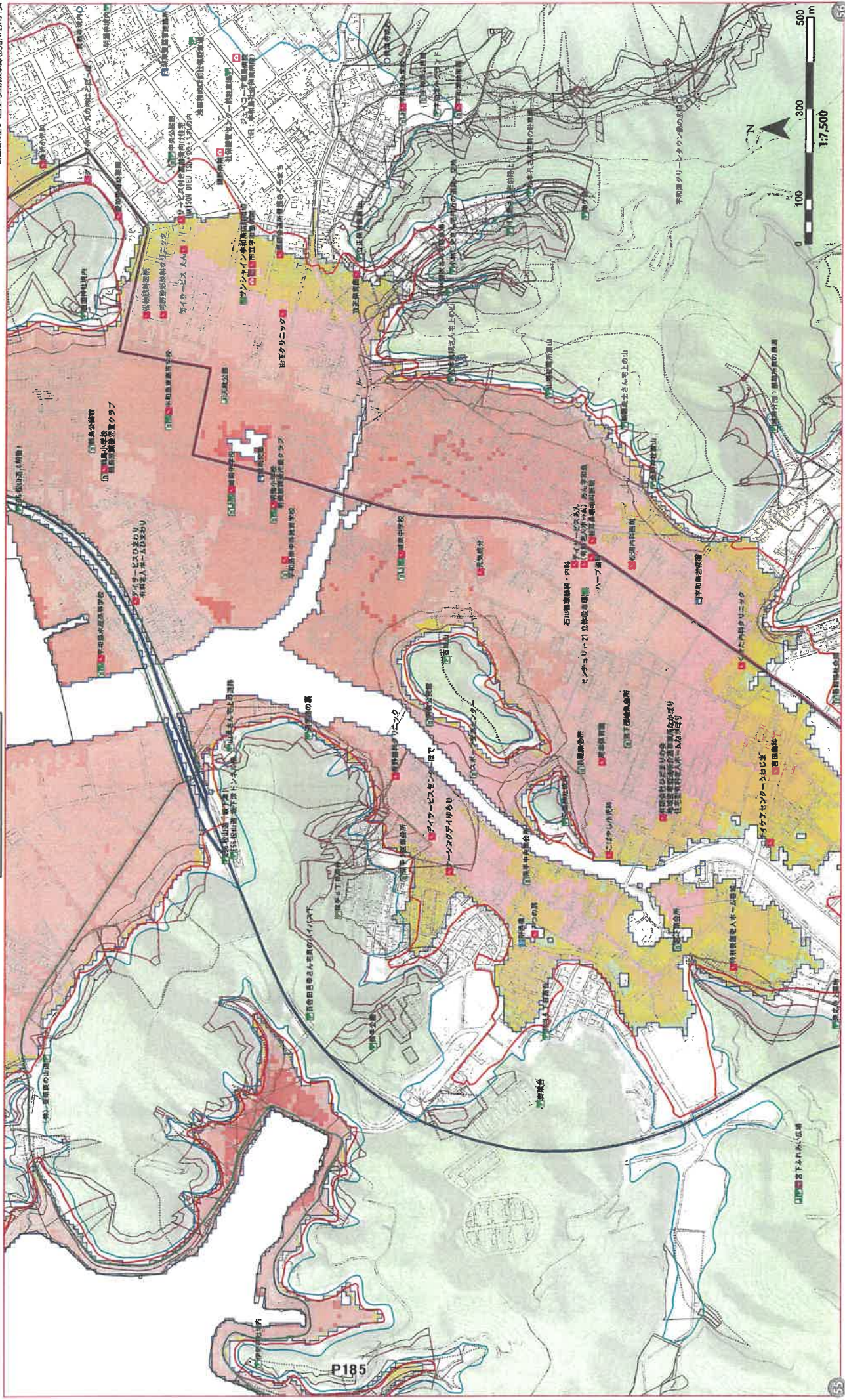
■道路

- 高速道路
- 国道
- 県道

■標高

- 10m
- 20m

河津川に基づき国土地理院長換算(標高R 2Hs 154)



[別図4-1] 発電機作動方法 (ICU・手術室・外来用)

<準備>

*ガスボンベはOP室の家族待合室の外にある庭園の木造建物内にある

- ① ガスボンベを部署の発電場所まで運ぶ (運搬用台車は一緒に置いてある)
- ② ガスボンベにホースを接続する

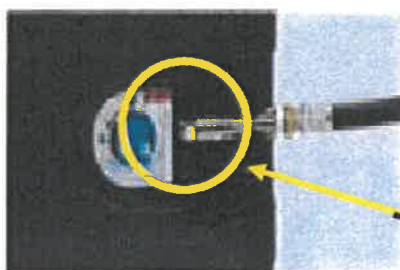
②グレーのマニホールを接続する
(反時計回し)



- ③ 発電機にホースを接続する



反時計回し!

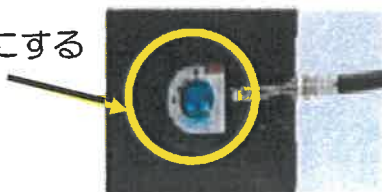


カチッというまで差し込む

- ④ ガスボンベのバルブを「開」にする
(ミドリのバルブ)

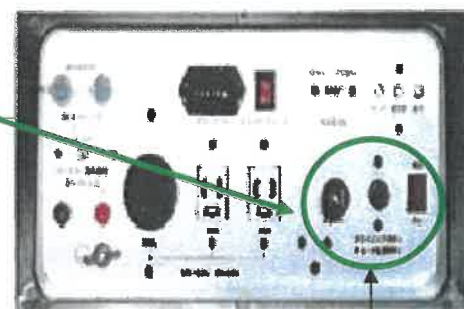
<発電機始動>

- ⑤ 発電機のコックを「開」にする



- ⑥ 発電機の始動準備 (スリーステップで!)
 - ⑥-1 右 スイッチを「運転」にする
 - ⑥-2 左 チョークレバーを引く
 - ⑥-3 中 ボタンを3秒以上押す

*⑥-2 と⑥-3 は逆になっても始動可



本体に手順①②③と
書いてある

- ⑦ 始動レバーを引く
- ⑧ 発電機が始動し、ランプが光ったら作動開始なのですぐにチョークレバーを押し戻す
- ⑨ 電気器具等を接続する



キャスター付き
ストッパーで固定

<停止方法>

- ① ガスポンペを閉める
- ② 発電機が止まったら、発電機のコックを「閉」にする
- ③ スイッチを停止位置にし、接続しているホースをはずす

<一時停止し再始動する場合>

- ① スイッチを停止位置にしたら停止する
- ② 再始動は手順⑥～⑧で行う

<ガスボンベ交換方法>

- ① ガスポンペを閉め、発電機のコックを「閉」にしてスイッチを停止にして発電機を止める
- ② ガスボンペを交換する
- ③ 手順②～⑧で始動する

2018. 7 改訂

[別図4-2] 発電機作動方法 (HCU・病棟用)

<準備>

- * 発電機の保管場所と保管場所の鍵は各部署で確認しておく
- * ガスボンベは、各病棟の非常用外階段踊り場に設置してある
HCUはOP室の家族待合室の外にある庭園の木造建物内にある

- ① ガスボンベの所まで発電機と延長コードを運ぶ
- ② ガスボンベにホースを接続する

反時計回し!



②赤いマニホールドを接続する
(反時計回し)

- ③ 発電機にホースを接続する



③挿し口は裏側にある
カチッというまで差し込む



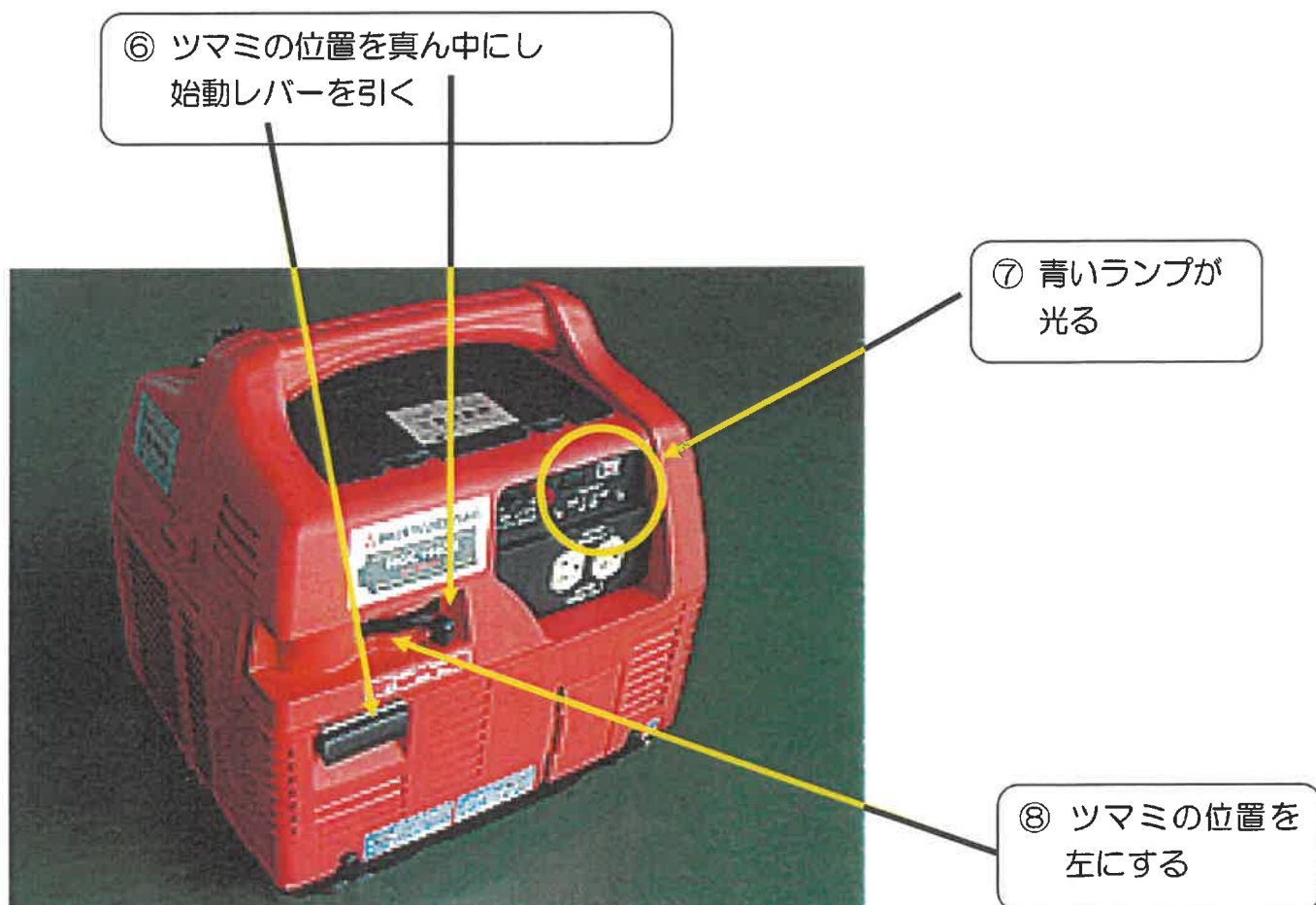
- ④ ガスボンベのバルブを「開」にする
(ミドリのバルブ)

<発電機始動>

- ⑤ 発電機のコックを「開」にする
(本体の後ろにある)



- ⑥ ツマミを始動位置(真ん中)にセットし、始動レバーを引く
- ⑦ 発電機が始動し、青いランプが光ったら作動開始となる
- ⑧ 青いランプが光ったらつまみを運転位置(左)にする
- ⑨ 電気器具等を接続する



<停止方法>

- ① ガスボンベを閉める
- ② 発電機が止まったら、発電機のコックを「閉」にする
- ③ ツマミを停止位置にし、接続しているホースをはずす

<一時停止し再始動する場合>

- ① ツマミを停止位置(右)にしたら停止する
- ② 再始動は手順⑥～⑧で行う

<ガスボンベ交換方法>

- ① ガスボンベを閉め、発電機のコックを「閉」にしてスイッチを停止にして発電機を止める
- ② ガスボンベを交換する
- ③ 作動方法手順②～⑦で始動する

2018. 7 改訂

発電機保管場所一覽

場所	白	赤
医事課 空調機械室 22		2
臨床検査科 空調機械室 23	2	
ICU 空調機械室 33	3	
HCU 空調機械室 33		2
手術室 空調機械室 32	2	
4 西 EPS-41		1
5 東 空調機械室 52		1
5 西 EPS-51		1
6 東 空調機械室 61		1
6 西 EPS-61		1
7 東 空調機械室 71		1
7 西 EPS-71		1
8 東 空調機械室 81		1
8 西 EPS-81		1
中央処置室 空調機械室 25	2	
立体駐車場屋上倉庫（立体駐車場用）	4	
立体駐車場屋上倉庫（講堂用）	2	
小計	15	13
合計		28

来院日： 年 月 日

災害発生時外来対応者情報 <基本スケジュール・受付票・会計受付票未所持者用>

対応者	所属：	対応者名：	
●患者情報			
患者 ID		性別	男性・女性
氏名		カナ氏名	
生年月日	大：昭 平：令	年 月 日	年齢 歳
住所			
電話番号	— —		
●受付状況			
<input type="checkbox"/> ：受付前		<input type="checkbox"/> ：受付確認後、診療科受付前	
<input type="checkbox"/> ：会計支払待ち		<input type="checkbox"/> ：会計後、帰宅前	
<input type="checkbox"/> ：その他（		）	
●確認事項			
【①発災前の保険証の預り】			
<input type="checkbox"/> ：預りあり		<input type="checkbox"/> ：預りなし	
※保険証は、基本、後日の返却となります。			
【②発災前のお薬手帳の預り】			
<input type="checkbox"/> ：預りあり（ <input type="checkbox"/> ：返却済み）		<input type="checkbox"/> ：預りなし	
※受付患者の確認時に返却実施			
●対応後確認			
<input type="checkbox"/> ：帰宅可能 ⇒		<input type="checkbox"/> ：帰宅（ファイル回収）	
		⇒ <input type="checkbox"/> ：帰宅困難（整・脳外来間へ移動）	
		⇒ <input type="checkbox"/> ：帰宅（ファイル回収）	
●その他記載欄			

